

令和3年度
磯子区民意識調査
報告書

令和4年1月

横浜市磯子区役所

調査概要.....	1
I. 回答者の属性.....	2
II. 調査結果.....	12
1. 普段の生活について.....	12
(1) 生活意識.....	12
(2) 生活の心配ごと・困りごと.....	15
(3) 地域の方とのかかわり方.....	20
(4) 情報処理端末の利用.....	32
2. 地域への愛着や、地域での活動について.....	41
(1) 愛着や誇り.....	41
(2) 磯子区の魅力.....	45
(3) 定住意向.....	48
(4) 活動への参加.....	51
3. 生活環境について.....	63
(1) 生活環境(満足度).....	63
(2) 生活環境(以前との比較).....	68
(3) 生活環境(重要度).....	75
(4) 区役所が取り組む課題.....	78
(5) 生活環境の満足度×以前との比較.....	81
(6) 生活環境の満足度×重要度.....	83
(7) 生活環境の重要度×区役所への期待.....	84
4. 災害対策について.....	85
(1) 大地震時に心配なこと.....	85
(2) 大地震に対する準備.....	87
(3) 災害時の避難支援.....	89
(4) 災害時の避難情報.....	91
5. 地域福祉保健について.....	93
(1) 福祉保健に関する取組.....	93
(2) 子どもたちに対する取組.....	96
(3) 誰もがいきいきと暮らすための取組.....	99
6. バスについて.....	101
(1) バス利用の頻度.....	101
(2) バス利用の目的.....	103
(3) バスの利用頻度の変化.....	105
7. 区政運営や住まいの地域を良くするための意見・提案(自由記述).....	108
III. 調査票.....	109

調査概要

◆調査の目的

磯子区の生活環境や地域活動などについて、区民の皆さまの意識やご意見、ご要望を把握することにより、今後も住みよいまちをつくるための基礎資料とする。

◆調査対象

磯子区内に居住する18歳以上の男女3,500人（外国人104人含む）
（住民基本台帳からの無作為抽出）

◆調査方法

郵送配付、郵送・インターネット回収

◆回答方式

無記名、選択式（一部記入式）

◆調査期間

令和3年9月1日（水）～9月30日（木）

◆回収数

1,592件（回収率 45.5 %）

◆調査実施機関

株式会社 地域環境計画

【集計結果の見方】

1. 図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。
2. 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

【参考 地区・町丁目対応表】

本報告書において、地区と町丁目の対応は以下のとおり

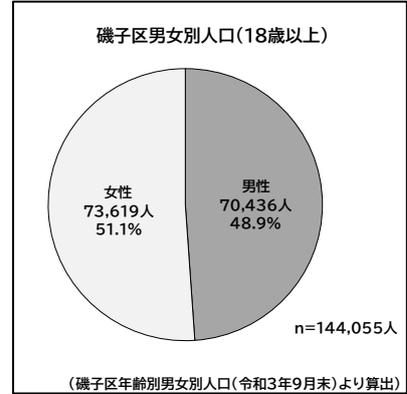
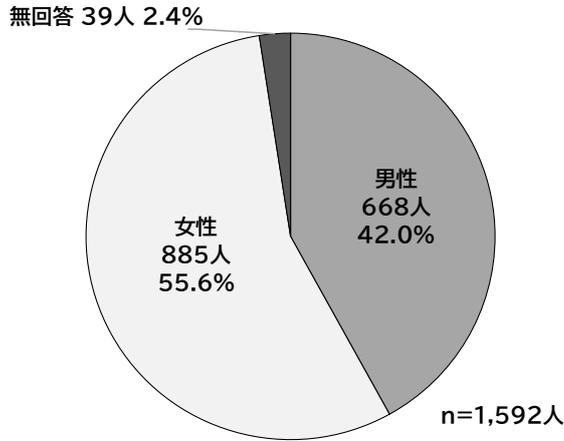
根 岸 地 区	上町、馬場町、坂下町、下町、原町、西町、東町、鳳町
滝 頭 地 区	丸山一・二丁目、滝頭一～三丁目、岡村一丁目、中浜町
岡 村 地 区	岡村二～八丁目
磯 子 地 区	磯子一～八丁目、磯子台、広地町、久木町、新磯子町
汐 見 台 地 区	汐見台1～3丁目
屏 風 ヶ 浦 地 区	森一～六丁目、中原一～四丁目、新中原町、森が丘一・二丁目、新森町
杉 田 地 区	杉田一～九丁目、杉田坪呑、新杉田町
上 笹 下 地 区	田中一・二丁目、栗木一～三丁目、上中里町、峰町、氷取沢町
洋 光 台 地 区	洋光台一～六丁目

I. 回答者の属性

F1 性別

「女性」が「男性」より 13.6 ポイント高い

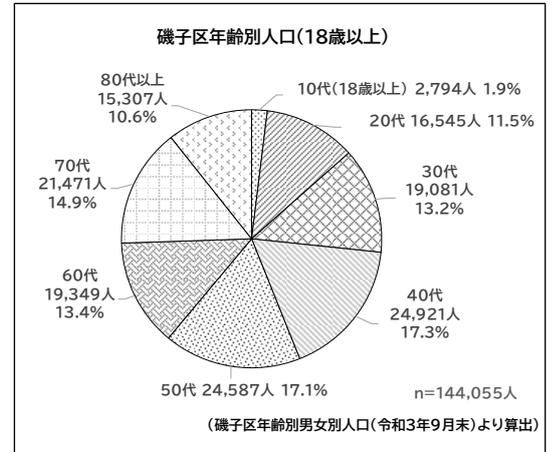
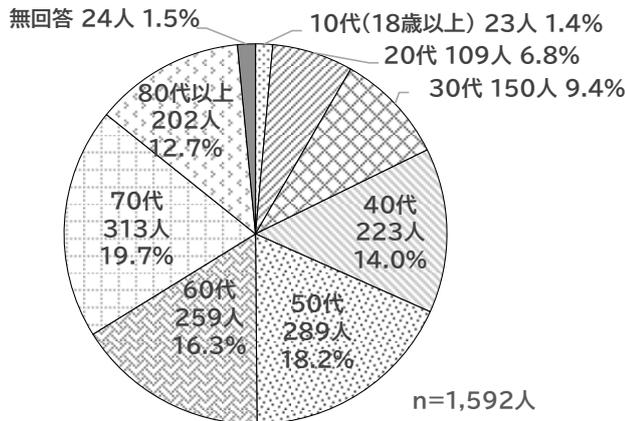
- 「女性」が 55.6% で、「男性」42.0% より 13.6 ポイント高くなっている。



F2 年齢

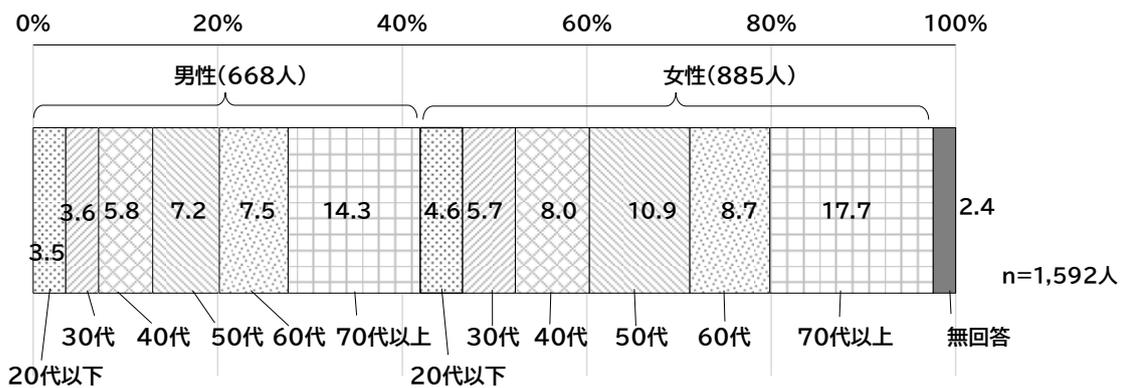
60代以上が 48.7%

- 「70代」が 19.7% で最も多く、次いで「50代」の 18.2% である。60代以上は 48.7% となっている。
- 50代以上では人口比より高く、40代以下では人口比より低い割合となっている。



【性年代別】

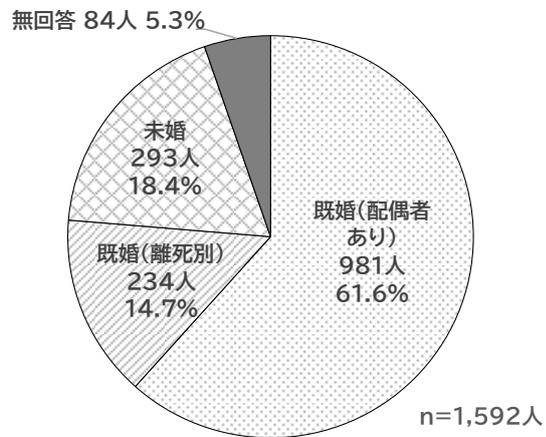
男性、女性ともに「70代以上」が、最も多い



F3 婚姻の有無

「既婚(配偶者あり)」が 61.6%

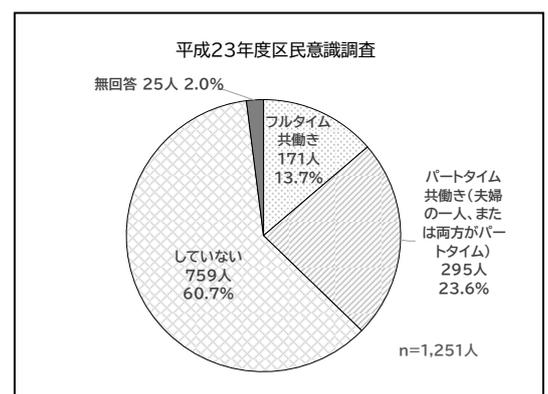
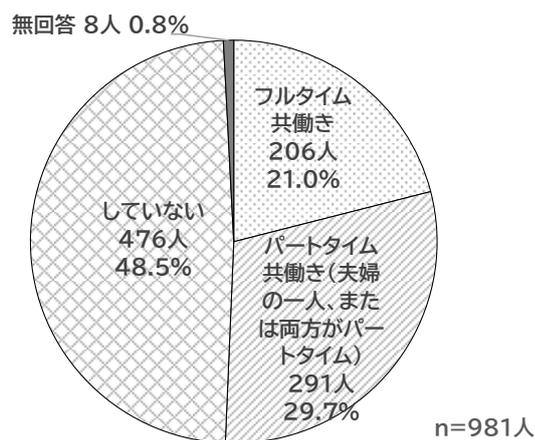
- 最も多いのは「既婚(配偶者あり)」の 61.6%。次いで「未婚」(18.4%)、「既婚(離死別)」(14.7%)の順となっている。



F3-1 共働きか否か(F3で「既婚(配偶者あり)」と回答)

何らかの形で共働きをしているのは 50.7%

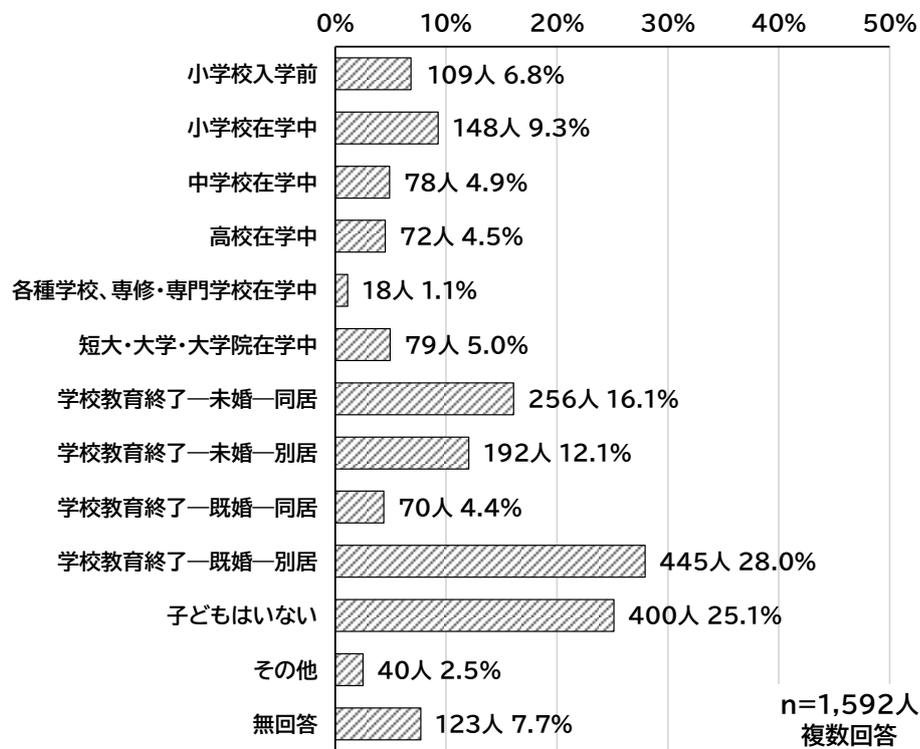
- 「既婚(配偶者あり)」のうち、共働きについては、48.5%が「していない」としている。次いで「パートタイム共働き」(29.7%)、「フルタイム共働き」(21.0%)となっており、何らかの形で共働きをしているのは全体の 50.7%である。
- 10年前の平成23年度調査と比較すると、何らかの形で共働きをしている人が、13.4ポイント高い。



F4 子どもの有無・年齢(複数回答)

「子どもはいない」が 25.1%

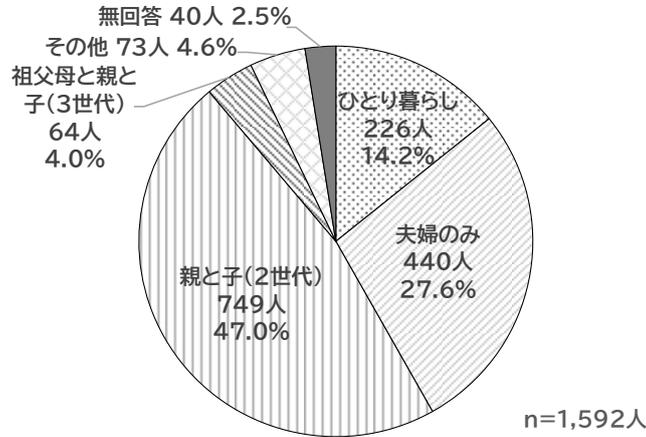
- 最も多いのは「学校教育を終了し、結婚して別居」の 28.0%。次いで「子どもはいない」(25.1%)、「学校教育を終了し、未婚で同居」(16.1%)の順となっている。



F5 家族構成

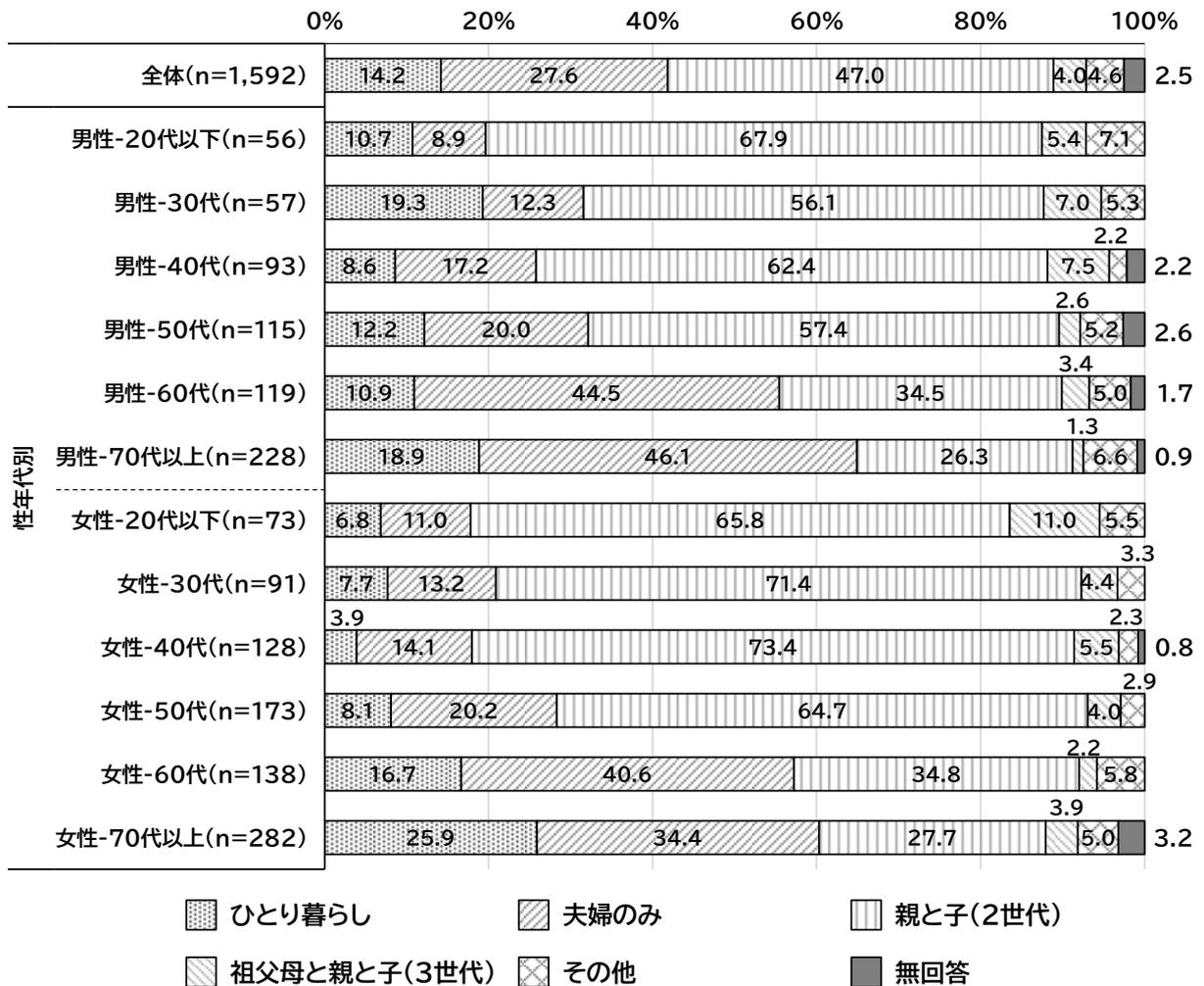
「親と子(2世代)」が 47.0%

- ・「親と子(2世代)」が 47.0%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(27.6%)、「ひとり暮らし」(14.2%)の順となっている。



■ 性年代別 家族構成

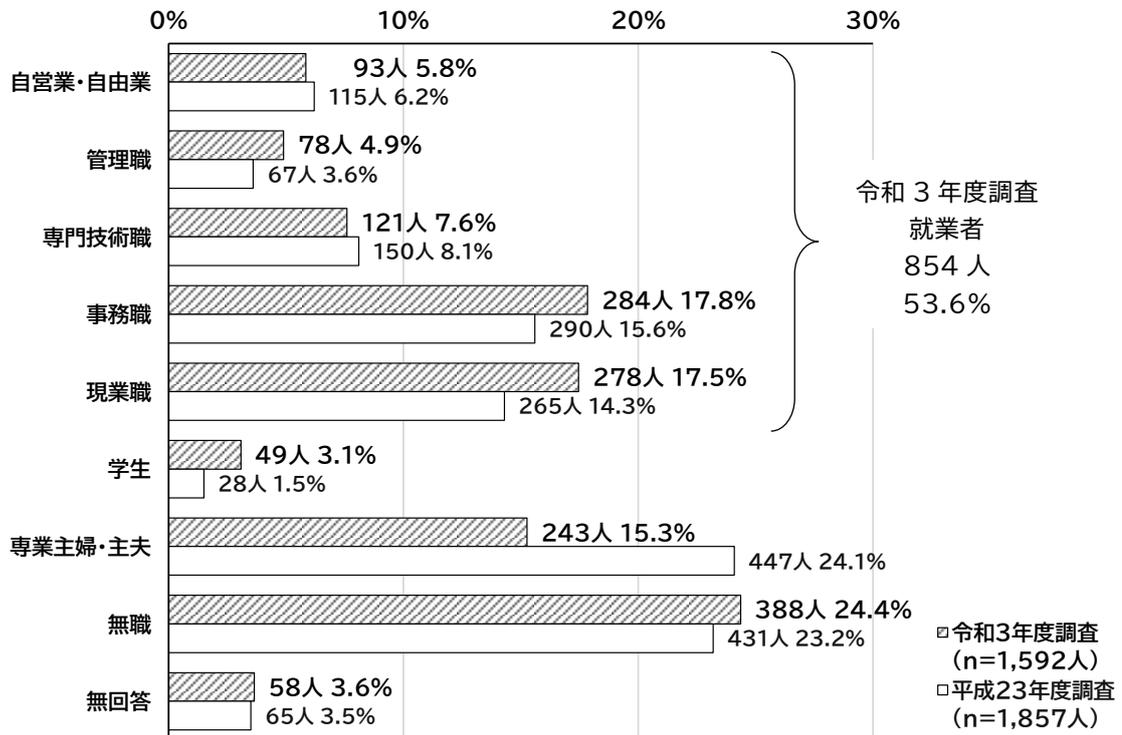
「女性 70 代以上」の 25.9%が「ひとり暮らし」で、「男性 70 代以上」の 18.9%より 7.0 ポイント高い



F6 職業

就業者は53.6%、「無職」は24.4%、「専業主婦・主夫」の割合は10年前に比べて8.8ポイント減

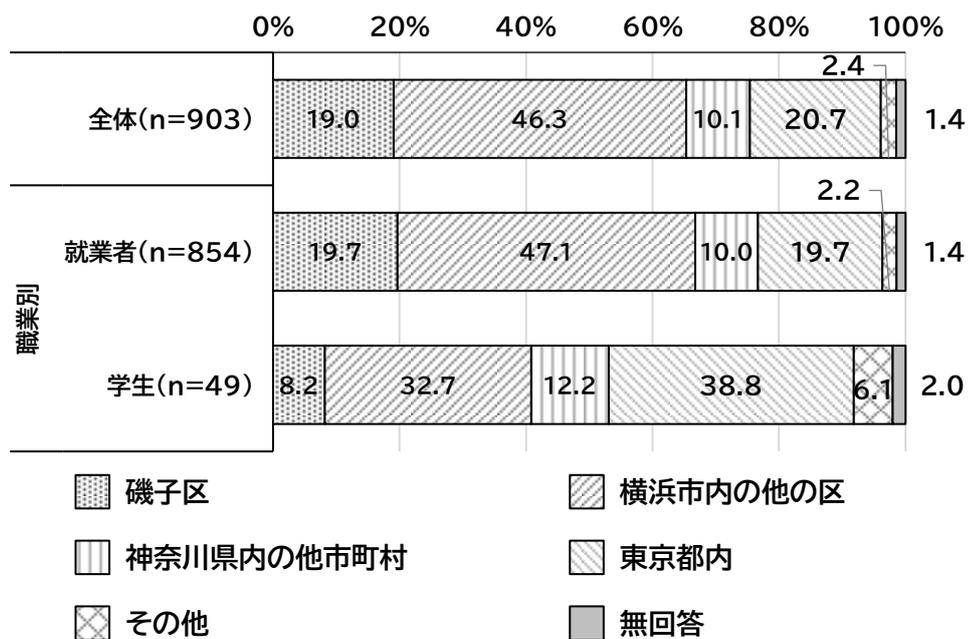
- ・ 全体の53.6%が就業している。一方、「無職」は24.4%となっている。
- ・ 10年前の平成23年度調査と比較すると、「専業主婦・主夫」が、8.8ポイント低い。



F6-1 通勤地や通学している場所 (F6で「就業者」又は「学生」と回答)

■ 職業別 通勤・通学場所

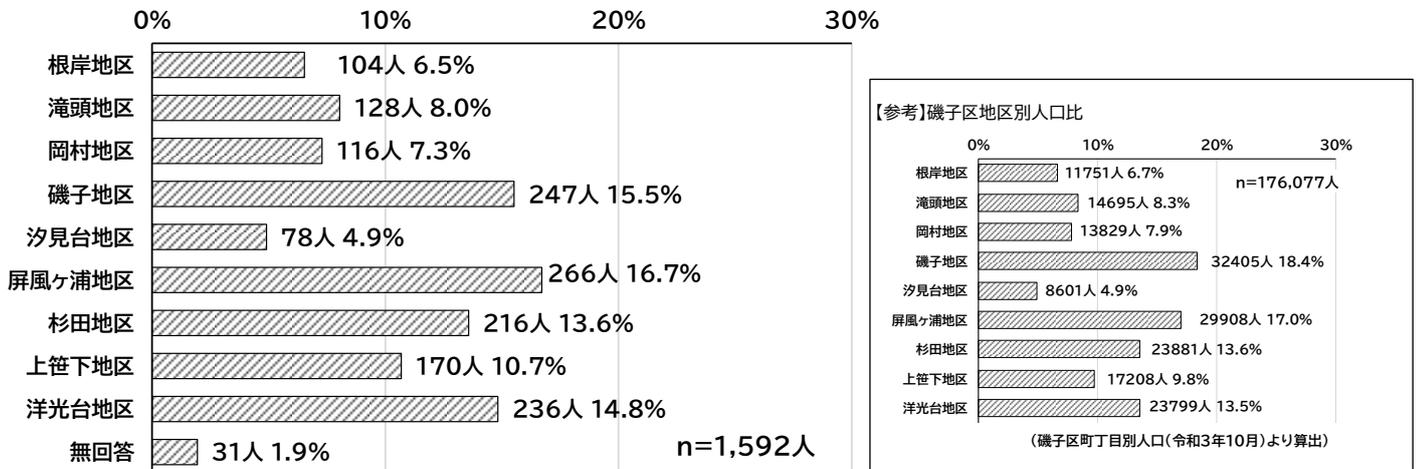
就業者の66.8%が横浜市内で就業、「学生」は38.8%が東京都内への通学



F7 居住地域

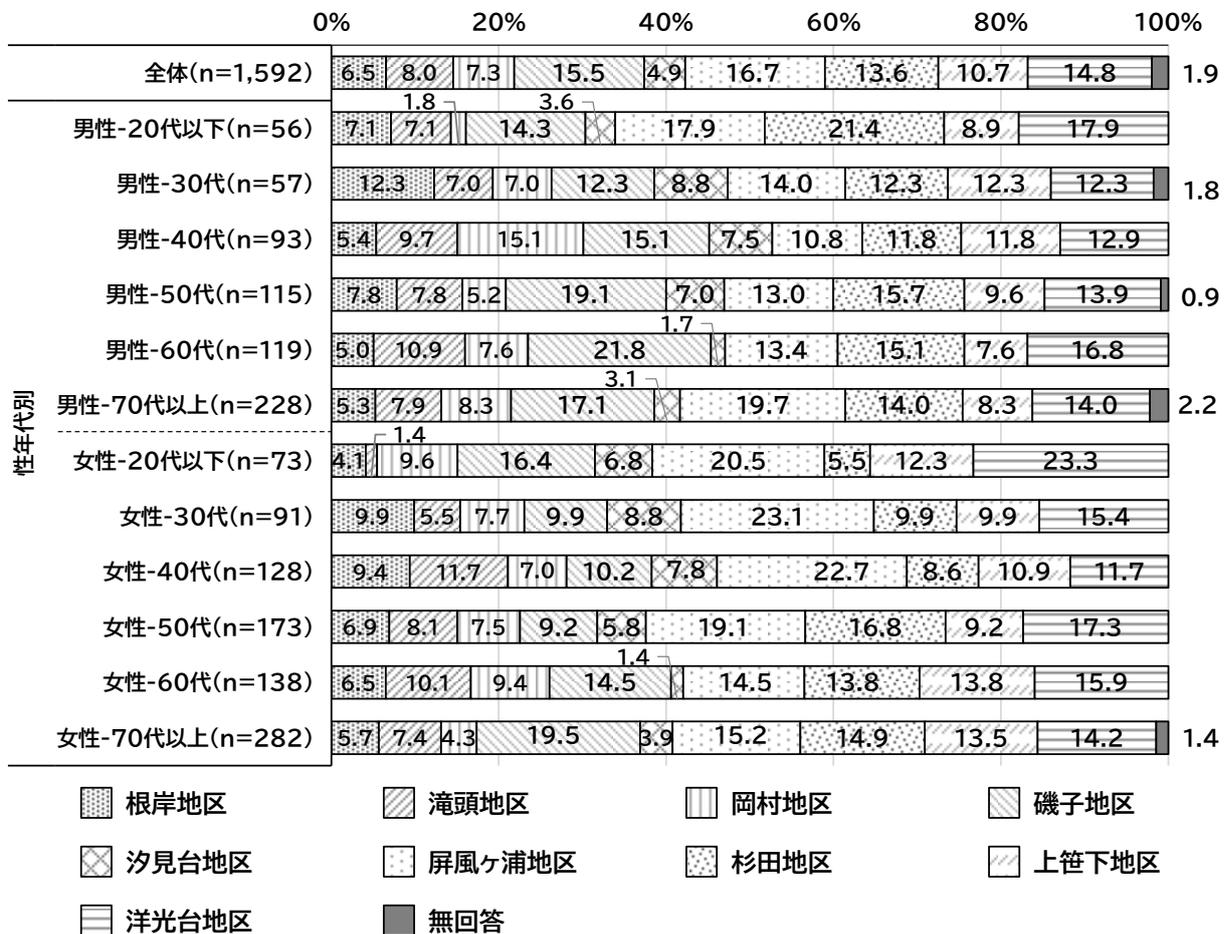
最も多いのは「屏風ヶ浦地区」、次に「磯子地区」で、回答率は人口比にほぼ比例

- 最も多いのは「屏風ヶ浦地区」の16.7%。次いで「磯子地区」(15.5%)、「洋光台地区」(14.8%)の順となっている。



■ 性年代別 居住地域

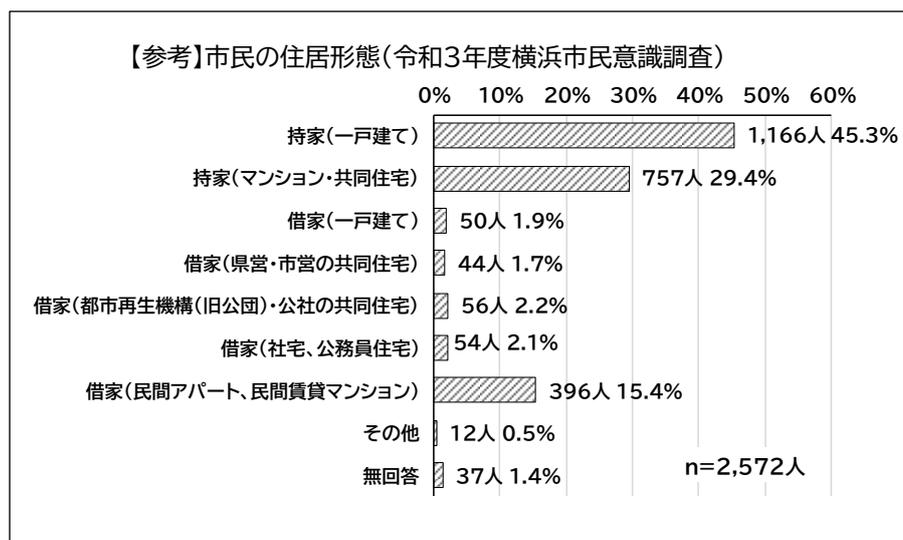
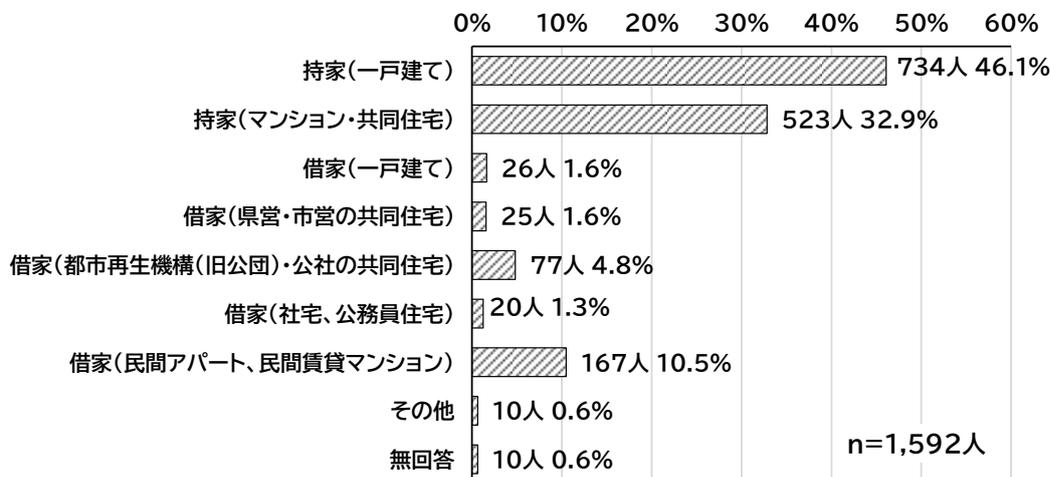
「根岸地区」で「男性30代」、「岡村地区」で「男性40代」、「磯子地区」で「男性60代」、「屏風ヶ浦地区」で「女性30代」と「女性40代」、「杉田地区」で「男性20代以下」、「洋光台地区」で「女性20代以下」が全体より高い



F8 住居形態

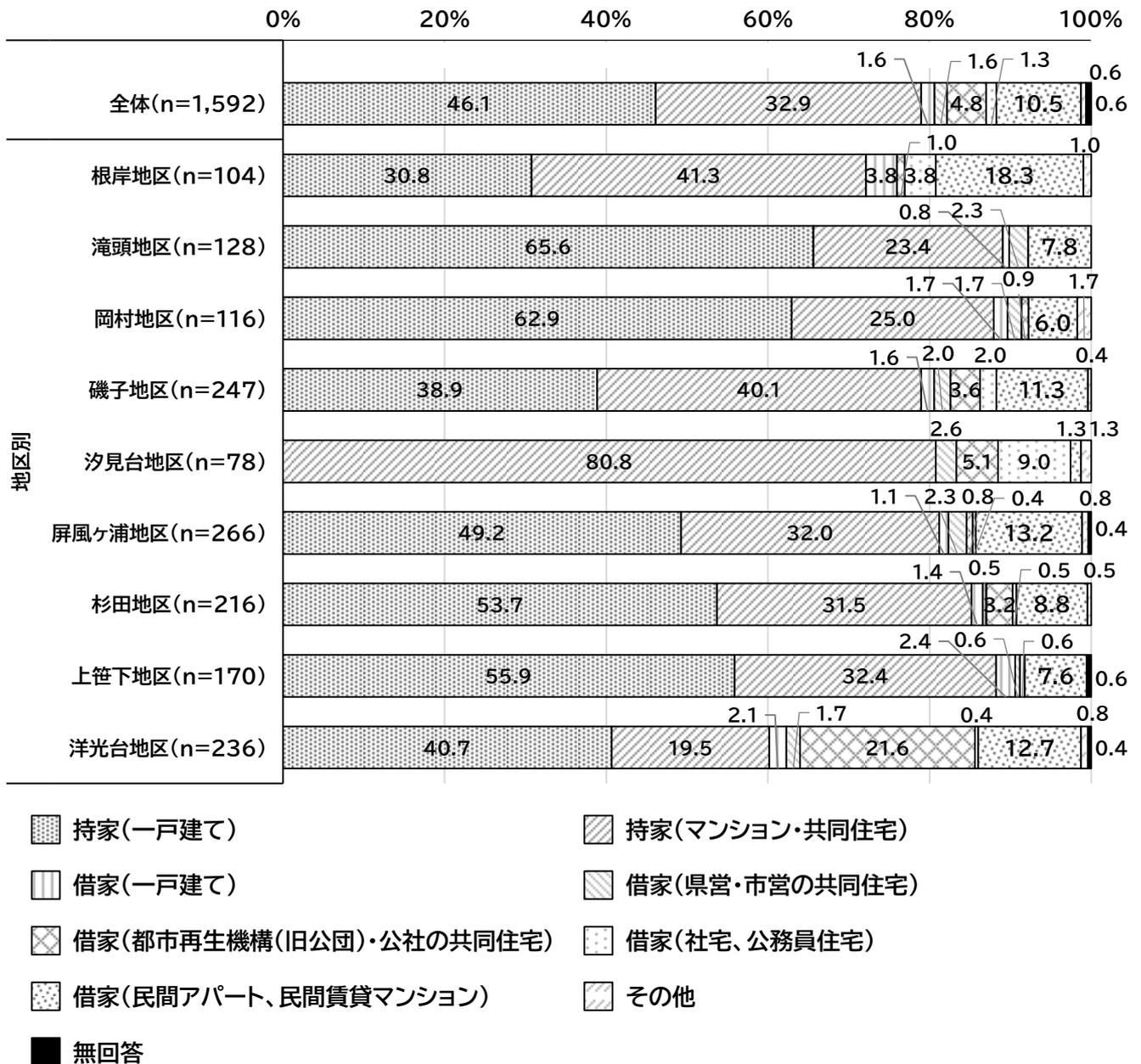
持家率は 79.0%

- 最も多いのは「持家(一戸建て)」の 46.1%。次いで「持家(マンション・共同住宅)」が 32.9%であり、これらを合わせると持ち家率は 79.0%となっている。
- 横浜市民意識調査と比較すると、「持家(マンション・共同住宅)」が 3.5 ポイント高く、「借家(民間アパート、民間賃貸マンション)」が 4.9 ポイント低い。



■ 地区別 住居形態

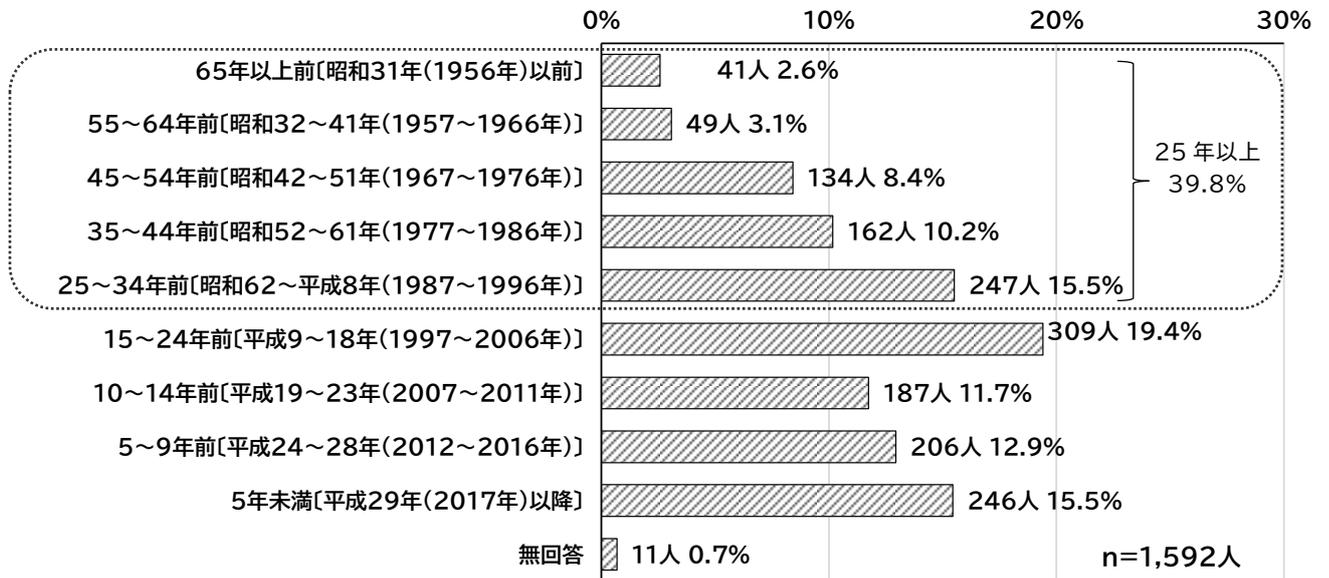
「滝頭地区」と「岡村地区」は「持家(一戸建て)」が、「汐見台地区」は「持家(マンション・共同住宅)」が、「洋光台地区」は「借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)」が全体より高い



F9 居住期間

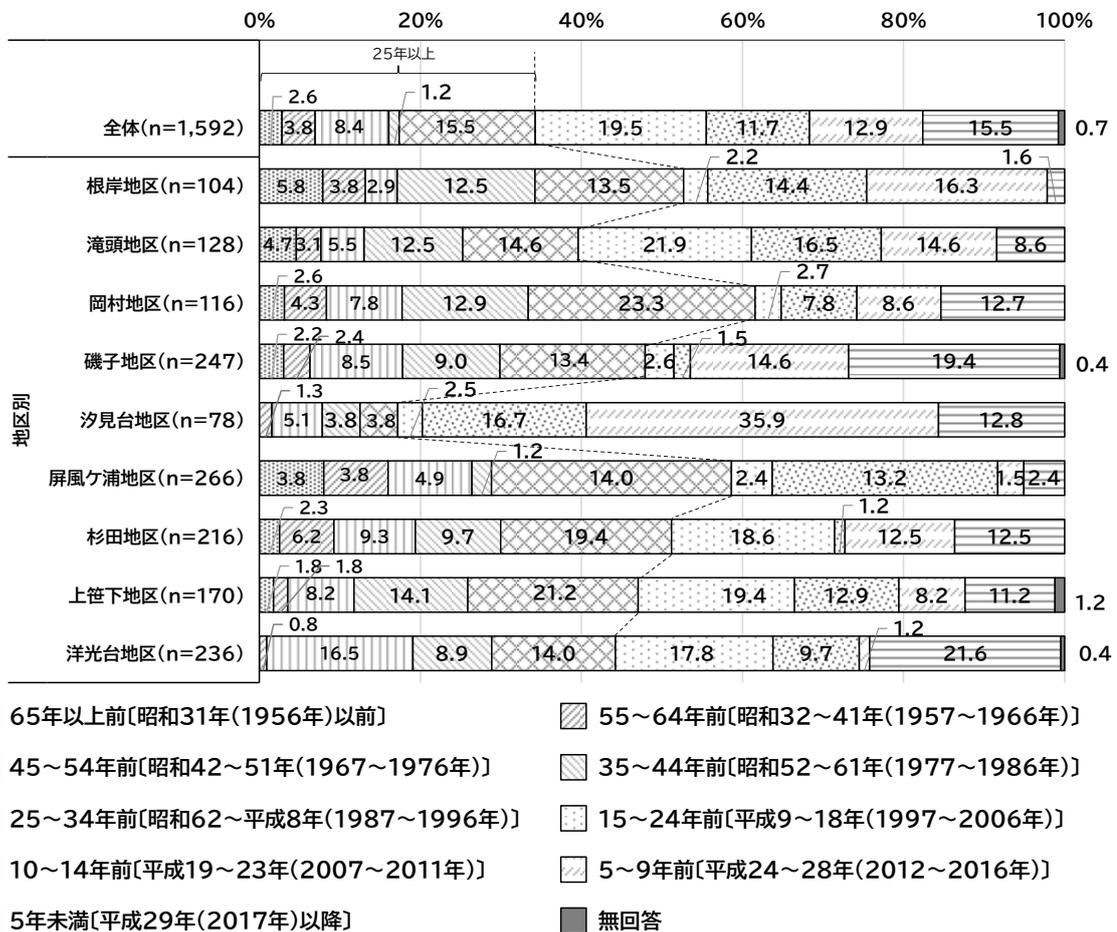
25年以上住んでいる方は 39.8%

- 最も多いのは「15～24年前〔平成9～18年(1997～2006年)〕」の19.4%。次いで「25～34年前〔昭和62～平成8年(1987～1996年)〕」と「5年未満〔平成29年(2017年)以降)〕」が同率で15.5%の順となっている。



■ 地区別 居住期間

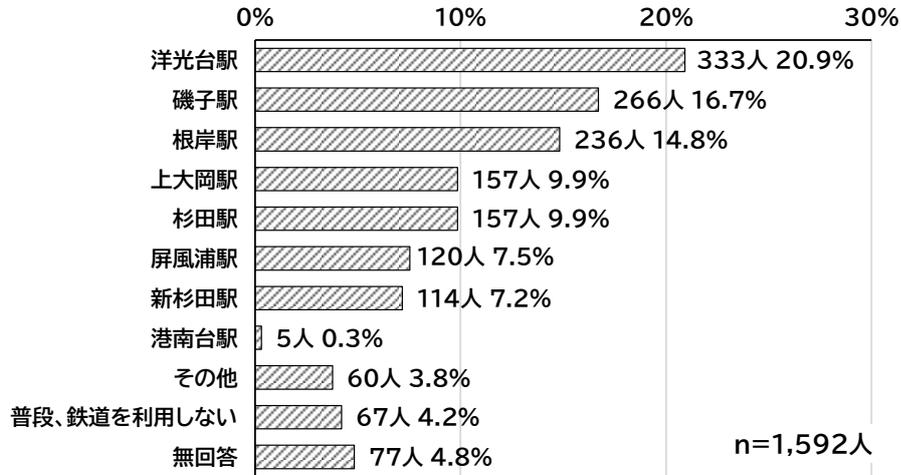
「岡村地区」は 50.9%、「上笹下地区」は 47.1%、「杉田地区」は 46.9%が 25 年以上(平成8年以前から)住んでおり、「汐見台地区」は 48.7%が住み始めて 10 年未満(平成 24 年以降から)



F10 普段利用している鉄道駅

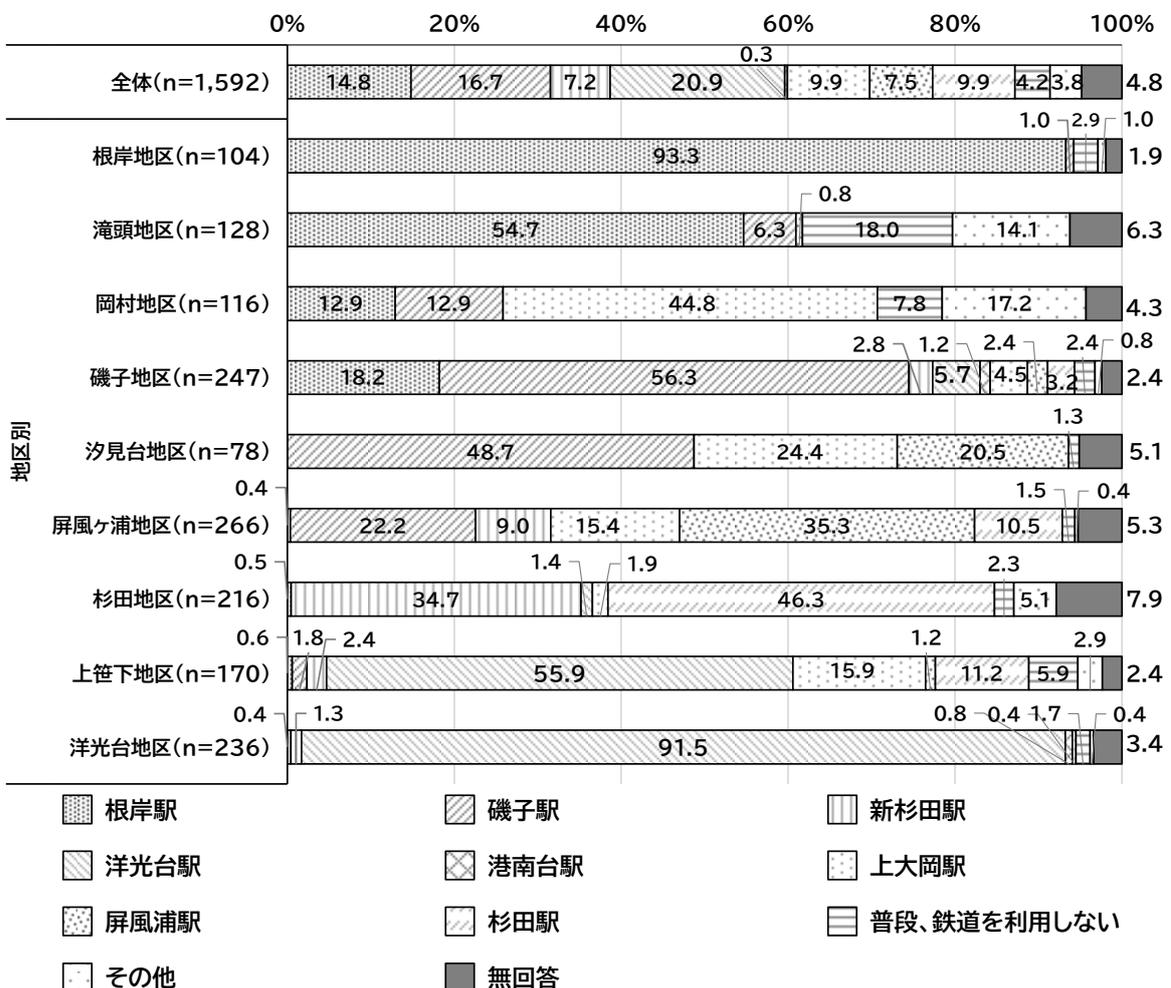
「洋光台駅」、「磯子駅」及び「根岸駅」の3駅で全体の半数以上を占める

- 最も多いのは「洋光台駅」の20.9%。次いで「磯子駅」(16.7%)、「根岸駅」(14.8%)の順となっており、この3駅で52.4%を占めている。



■ 地区別 普段利用している鉄道駅

地区別に最も多く利用している駅は、「根岸地区」は「根岸駅」(93.3%)、「滝頭地区」は「根岸駅」(54.7%)、「岡村地区」は区外の「上大岡駅」(44.8%)、「磯子地区」は「磯子駅」(56.3%)、「汐見台地区」は「磯子駅」(48.7%)、「屏風ヶ浦地区」は「屏風浦駅」(35.3%)、「杉田地区」は「杉田駅」(46.3%)、「上笹下地区」は「洋光台駅」(55.9%)、「洋光台地区」は「洋光台駅」(91.5%)



Ⅱ. 調査結果

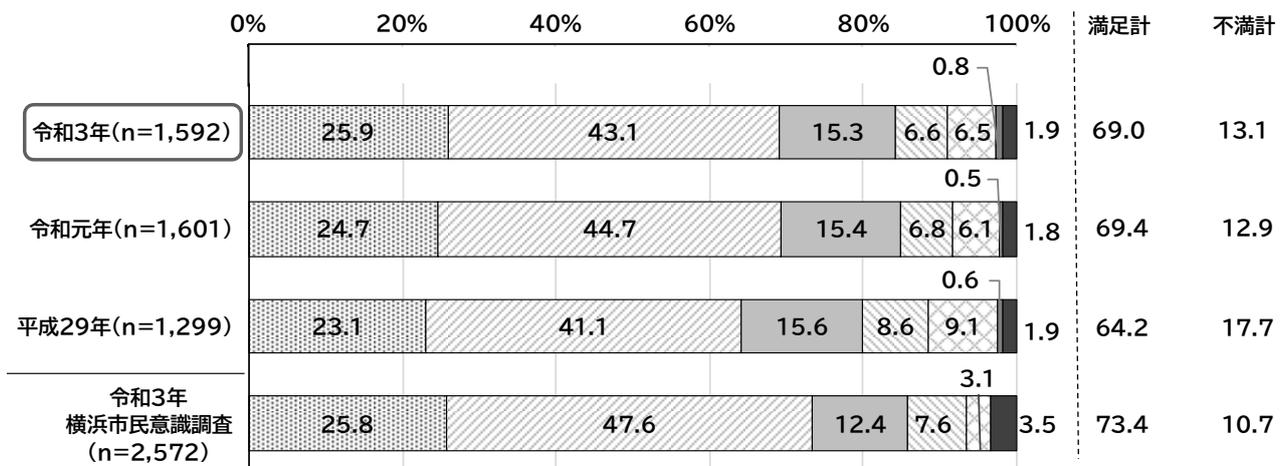
1. 普段の生活について

(1) 生活意識

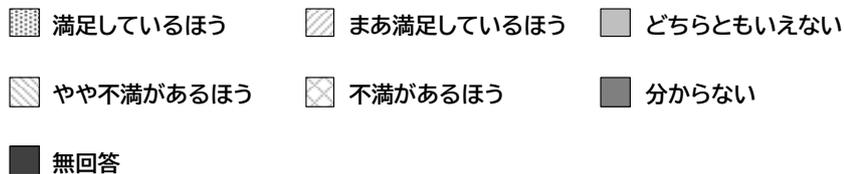
問1 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。

『満足計（「満足しているほう」＋「まあ満足しているほう」）』は69.0%

- ・ 経年で比較すると、「満足しているほう」の割合は、増加傾向にある。
- ・ 横浜市民意識調査と比較すると『満足計』は、4.4ポイント低い。

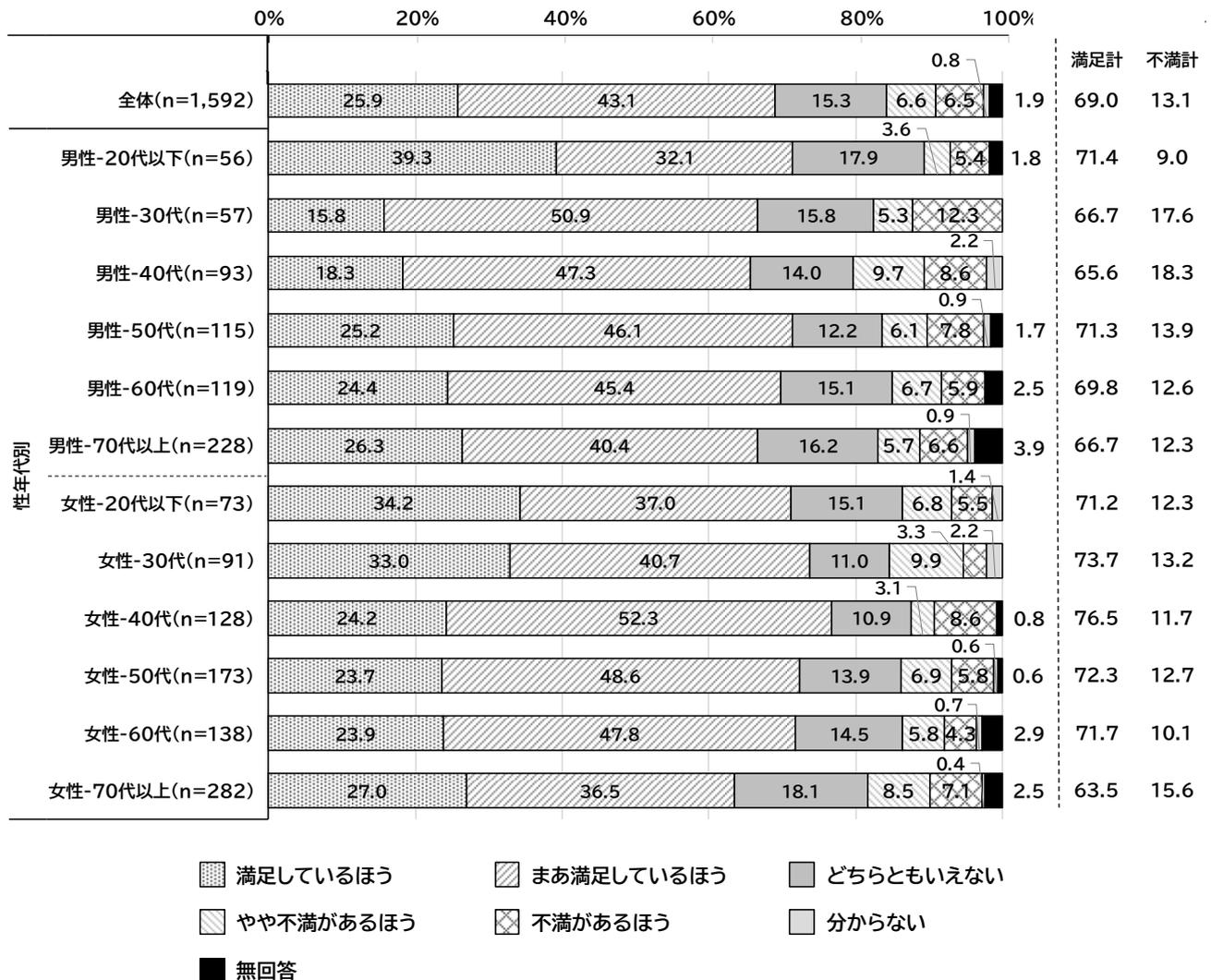


注) 横浜市民意識調査では、選択肢「分からない」はない



■ 性年代別 生活の満足度

- ・ 性年代別では、「満足しているほう」が「男性 20 代以下」、女性の 30 代以下で3割を超え、他の年代より高い。
- ・ 『満足計』は、女性は 70 代以上を除いた各年代で7割を超えている。一方、男性は7割を超える年代は 20 代以下と 50 代のみである。
- ・ 『不満計』は、男性の 30～40 代、「女性 70 代以上」で 15%を超えている。

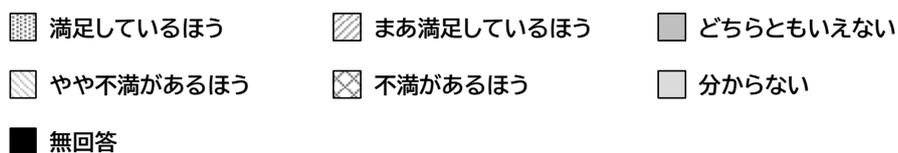
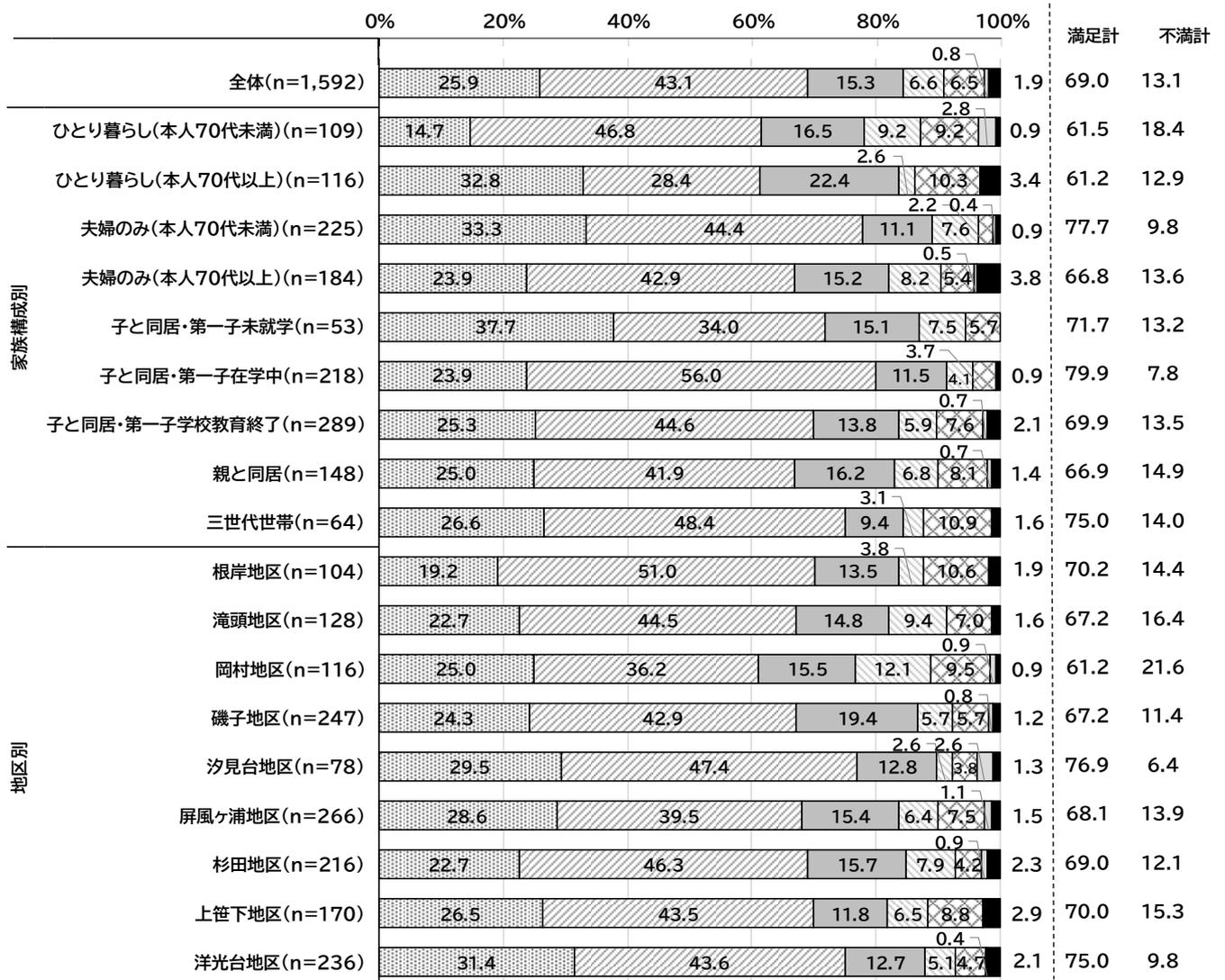


■ 家族構成別 生活の満足度

- ・ 家族構成別では、「子と同居・第一子未就学」の「満足しているほう」が37.7%で、最も高い。
- ・ 「ひとり暮らし(本人70代未満)」の『不満計』は18.4%で、最も高い。

■ 地区別 生活の満足度

- ・ 地区別では、『満足計』は、「汐見台地区」(76.9%)で最も高く、「洋光台地区」(75.0%)、「根岸地区」(70.2%)、「上笹下地区」(70.0%)で7割以上となっている。

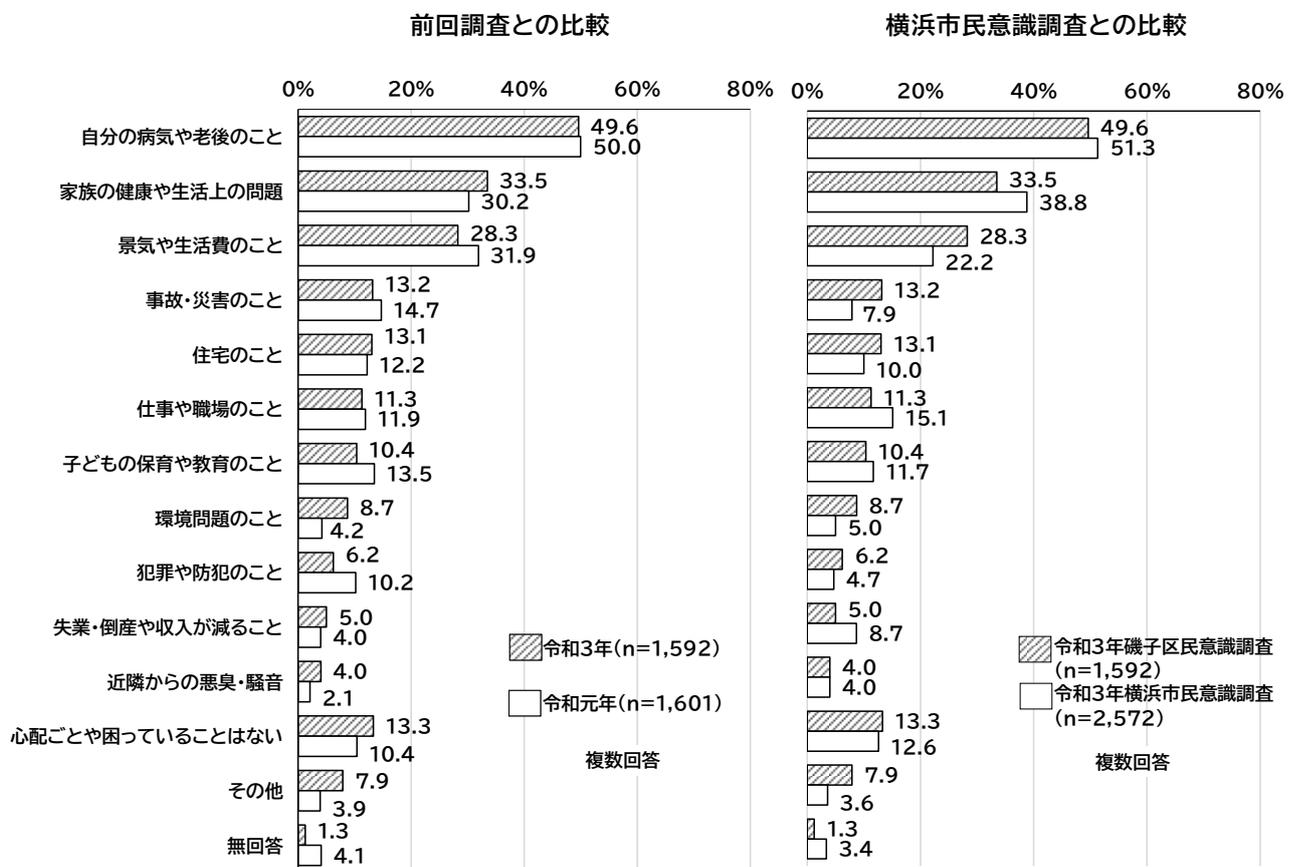


(2) 生活の心配ごと・困りごと

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

全体の49.6%が「自分の病気や老後のこと」を挙げ、「家族の健康や生活上の問題」、「景気や生活費のこと」が上位3項目となっている

- ・ 「自分の病気や老後のこと」が約半数の49.6%と最も多い。次いで「家族の健康や生活上の問題」(33.5%)、「景気や生活費のこと」(28.3%)、「事故・災害のこと」(13.2%)、「住宅のこと」(13.1%)、「仕事や職場のこと」(11.3%)、「子どもの保育や教育のこと」(10.4%)の順である。
- ・ 前回調査と比較すると、大きな差はみられなかった。
- ・ 横浜市民意識調査と比較すると、「家族の健康や生活の問題」では5ポイント以上低く、「景気や生活費のこと」、「事故・災害のこと」では5ポイント以上高い。



※ 横浜市民意識調査では、「子どもの結婚や就職のこと」7.4%の回答あり

■ 性年代別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- ・ 性年代別では、「自分の病気や老後のこと」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より低い。
- ・ 「景気や生活費のこと」は、男性の 30 代以下、「女性 30 代」で高く、「女性 60 代」で全体より低い。
- ・ 「子どもの保育や教育のこと」は、男性、女性ともに 30～40 代で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
自分の病気や老後のこと	49.6	-24.6	-25.1	-14.1	10.4	5.8	11.8	-25.0	-17.8	-9.8	5.3	-1.1	12.1
家族の健康や生活上の問題	33.5	-8.5	-7.2	-5.5	9.1	6.9	-1.5	-0.6	-2.7	0.1	2.4	2.0	-1.6
景気や生活費のこと	28.3	12.8	12.1	8.3	8.0	1.1	-4.1	8.7	10.2	-1.7	1.2	-10.2	-5.2
事故・災害のこと	13.2	-9.6	-0.9	-7.8	-4.5	0.3	5.2	-2.2	-2.2	-7.7	-1.6	5.6	4.9
住宅のこと	13.1	-5.9	2.7	5.2	-1.8	6.3	0.5	-3.5	6.7	0.2	0.2	-5.8	-1.0
仕事や職場のこと	11.3	4.8	9.7	7.0	11.3	-0.4	-9.1	13.4	6.3	4.3	7.2	-4.8	-10.6
子どもの保育や教育のこと	10.4	-6.8	19.5	15.4	2.7	-8.7	-10.4	-0.8	28.1	24.0	-3.4	-8.9	-9.7
環境問題のこと	8.7	-1.6	0.0	0.9	0.0	0.5	0.9	-1.9	-5.4	-1.7	-4.1	3.6	2.3
犯罪や防犯のこと	6.2	-2.6	4.3	2.4	-2.7	-1.2	-1.0	0.6	-0.7	0.0	-1.0	2.5	0.5
失業・倒産や収入が減ること	5.0	-3.2	3.7	6.8	1.1	0.9	-3.3	-3.7	2.7	2.0	3.1	-2.9	-2.5
近隣からの悪臭・騒音	4.0	4.9	-0.5	1.4	-1.4	-0.7	0.4	1.5	0.4	-2.5	1.8	0.3	-1.9
心配ごとや困っていることはない	13.3	13.5	-6.3	-5.8	-4.6	0.1	3.8	5.9	-2.3	1.5	-2.9	-1.0	0.5
その他	7.9	4.6	-4.4	-2.5	-0.1	0.5	-1.8	-2.4	-4.6	3.8	3.1	5.1	-2.2

■ 地区別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- ・ 地区別では、「自分の病気や老後のこと」は、「滝頭地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	地区								
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236
自分の病気や老後のこと	49.6	5.2	10.5	-2.2	3.8	-7.3	-3.4	2.2	-3.2	-5.1
家族の健康や生活上の問題	33.5	-0.8	3.2	-2.4	0.9	2.4	-0.8	0.8	1.8	-4.7
景気や生活費のこと	28.3	3.5	0.6	5.4	3.7	3.8	-0.4	-6.0	0.6	-2.0
事故・災害のこと	13.2	7.0	2.4	-2.8	-0.6	-4.2	-0.4	-2.5	4.5	-1.3
住宅のこと	13.1	-0.6	1.0	4.2	-1.7	-6.7	1.6	0.8	-3.7	2.2
仕事や職場のこと	11.3	-0.7	-1.2	0.8	1.2	0.2	-1.5	1.2	1.6	-0.3
子どもの保育や教育のこと	10.4	0.2	0.6	0.8	-1.9	7.6	-1.0	-0.2	3.2	-1.9
環境問題のこと	8.7	0.9	1.4	0.8	-1.0	1.5	-4.2	2.4	-1.1	3.1
犯罪や防犯のこと	6.2	-1.4	0.8	-1.0	0.3	-1.1	-1.0	1.2	2.6	-0.7
失業・倒産や収入が減ること	5.0	6.5	-0.3	-1.6	1.5	-2.5	-2.0	-0.4	-0.9	0.1
近隣からの悪臭・騒音	4.0	-1.1	3.0	-0.6	-1.6	-0.2	2.0	0.1	0.7	-1.9
心配ごとや困っていることはない	13.3	-4.7	-3.9	-2.1	-2.0	5.9	1.0	-0.4	2.6	2.4
その他	7.9	-2.1	-0.9	1.6	1.0	-0.2	1.5	0.9	-2.0	-1.6

■ 家族構成別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- ・ 家族構成別では、「自分の病気や老後のこと」は、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」で全体より高く、「子と同居・第一子未就学」、「子と同居・第一子在学中」「三世代世帯」で全体より低い。
- ・ 「家族の健康や生活上の問題」は、「三世代世帯」で全体より高く、ひとり暮らしでは年代を問わず低い。
- ・ 「景気や生活費のこと」、「住宅のこと」では、「子と同居・第一子未就学」で全体より高い。
- ・ 「子どもの保育や教育のこと」は、「子と同居・第一子未就学」、「子と同居・第一子在学中」で全体より 30 ポイント以上高い。

※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし(本人 70代未満)	ひとり暮らし(本人 70代以上)	夫婦のみ(本人70代未満)	夫婦のみ(本人70代以上)	子と同居・第一子未就学	子と同居・第一子在学中	子と同居・第一子学校教育終了	親と同居	三世代世帯
n=	1,592	109	116	225	184	53	218	289	148	64
自分の病気や老後のこと	49.6	7.3	15.9	-0.7	9.1	-28.9	-17.5	6.8	-3.7	-12.1
家族の健康や生活上の問題	33.5	-17.9	-27.4	2.5	7.3	-5.2	-2.7	7.7	9.8	11.8
景気や生活費のこと	28.3	6.6	-1.5	-2.5	-3.8	11.4	-0.3	-3.4	2.8	9.2
事故・災害のこと	13.2	-2.2	4.1	2.8	7.5	-7.5	-5.9	0.6	-4.4	-0.7
住宅のこと	13.1	4.4	2.5	-0.2	-2.7	13.3	-2.1	-2.3	-0.9	-2.1
仕事や職場のこと	11.3	10.7	-8.7	-2.9	-10.8	0.0	2.9	-2.3	14.4	7.4
子どもの保育や教育のこと	10.4	-7.6	-10.4	-6.4	-9.8	57.6	32.8	-8.3	-8.3	2.1
環境問題のこと	8.7	-3.2	1.6	-0.7	1.6	-5.0	1.8	3.4	-2.0	-5.6
犯罪や防犯のこと	6.2	-0.7	1.5	0.4	1.4	-0.6	3.0	-1.4	-0.8	-3.1
失業・倒産や収入が減ること	5.0	6.9	-3.3	-1.5	-4.5	4.4	0.9	-0.5	-1.0	-1.9
近隣からの悪臭・騒音	4.0	4.2	-1.4	0.0	0.3	-2.1	0.1	-1.6	1.4	-2.5
心配ごとや困っていることはない	13.3	-2.3	2.2	3.6	0.8	-3.9	-1.8	-2.2	0.9	2.3
その他	7.9	4.0	-4.5	2.3	0.2	-7.9	-2.0	1.8	-3.2	1.5

■ 生活の満足度別 生活の心配ごと・困りごと（〇は3つまで）

- 生活の満足度別では、「自分の病気や老後のこと」、「景気や生活費のこと」で『どちらともいえない・不満がある計』が『満足計』より15ポイント以上高い。

※全体は回答の%、生活の満足度別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

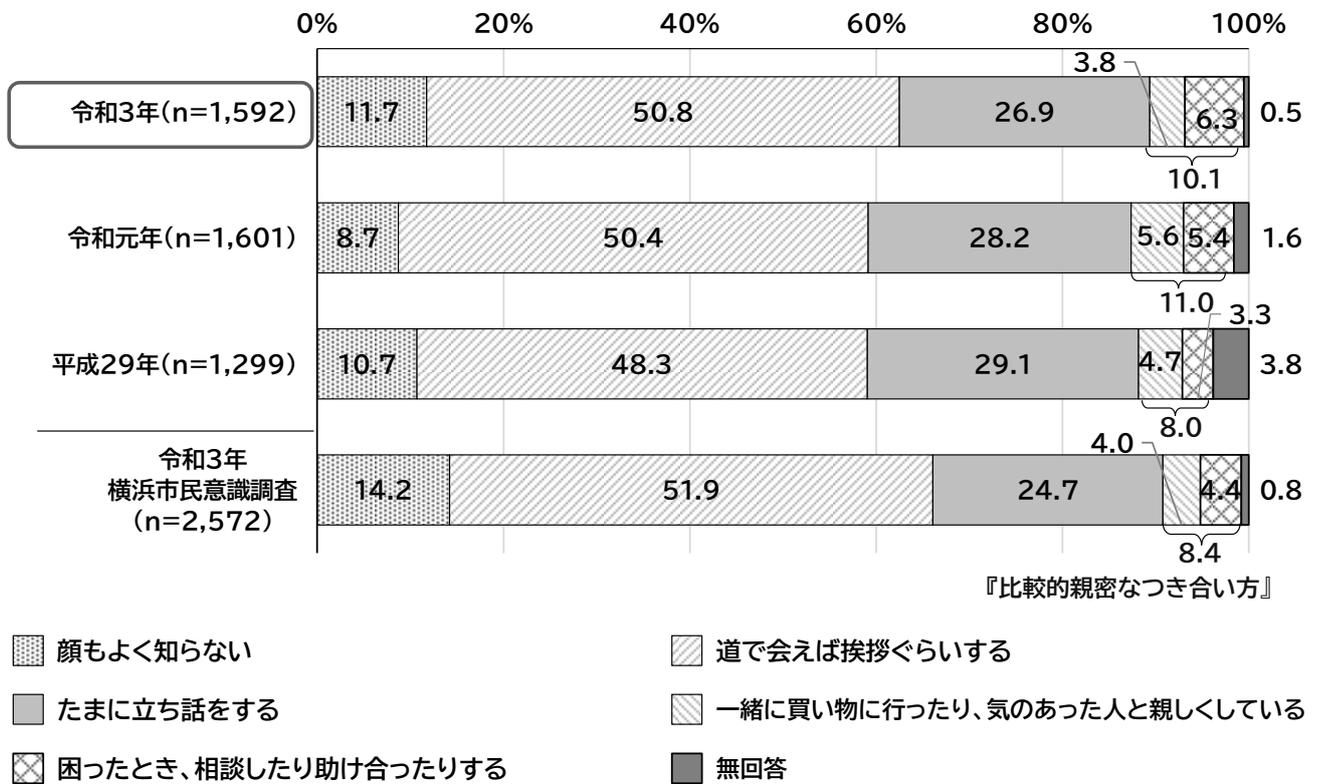
	全体 (%)	生活の満足度						満足計	どちらとも いえない・不満 がある計
		満足して いるほう	まあ満足 している ほう	どちらと もいえない	やや不満 があるほう	不満があ るほう	分らない		
n=	1,592	413	686	243	105	103	12	1,099	451
自分の病気や老後のこと	49.6	-13.3	-1.5	12.5	16.1	14.5	33.7	-5.9	13.8
家族の健康や生活上の問題	33.5	-6.6	3.8	1.9	7.5	-8.2	8.2	-0.1	0.9
景気や生活費のこと	28.3	-14.9	-3.3	12.5	11.7	35.8	38.4	-7.7	17.6
事故・災害のこと	13.2	-1.8	2.6	0.0	-3.7	-3.5	-13.2	0.9	-1.7
住宅のこと	13.1	-3.9	-3.0	1.7	14.6	16.1	-4.7	-3.3	8.0
仕事や職場のこと	11.3	-3.3	-1.8	1.5	5.8	13.9	5.4	-2.4	5.3
子どもの保育や教育のこと	10.4	-2.9	0.9	2.8	0.1	2.3	-10.4	-0.5	2.1
環境問題のこと	8.7	0.5	0.7	-1.7	3.6	-3.9	-8.7	0.6	-1.0
犯罪や防犯のこと	6.2	-1.1	1.4	0.4	-4.3	-3.3	-6.2	0.4	-1.6
失業・倒産や収入が減ること	5.0	-3.8	-0.4	-0.1	3.5	14.4	-5.0	-1.7	4.1
近隣からの悪臭・騒音	4.0	-0.4	-0.5	-1.1	5.5	0.8	4.3	-0.5	0.9
心配ごとや困っていることはない	13.3	14.5	-1.4	-10.0	-10.5	-13.3	-13.3	4.6	-10.9
その他	7.9	-0.2	-0.5	-0.1	0.7	0.8	17.1	-0.4	0.3

(3) 地域の方とのかかわり方

問3 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。

50.8%が「道で会えば挨拶ぐらいする」を挙げ、「顔もよく知らない」は11.7%

- ・「道で会えば挨拶ぐらいする」(50.8%)が最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(26.9%)となっている。
- ・一方、「顔もよく知らない」は11.7%。
- ・「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」(3.8%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(6.3%)を合わせた『比較的親密な付き合い方』は10.1%である。
- ・横浜市民意識調査と比較すると、『比較的親密な付き合い方』が1.7ポイント高く、「顔もよく知らない」が2.5ポイント低い。

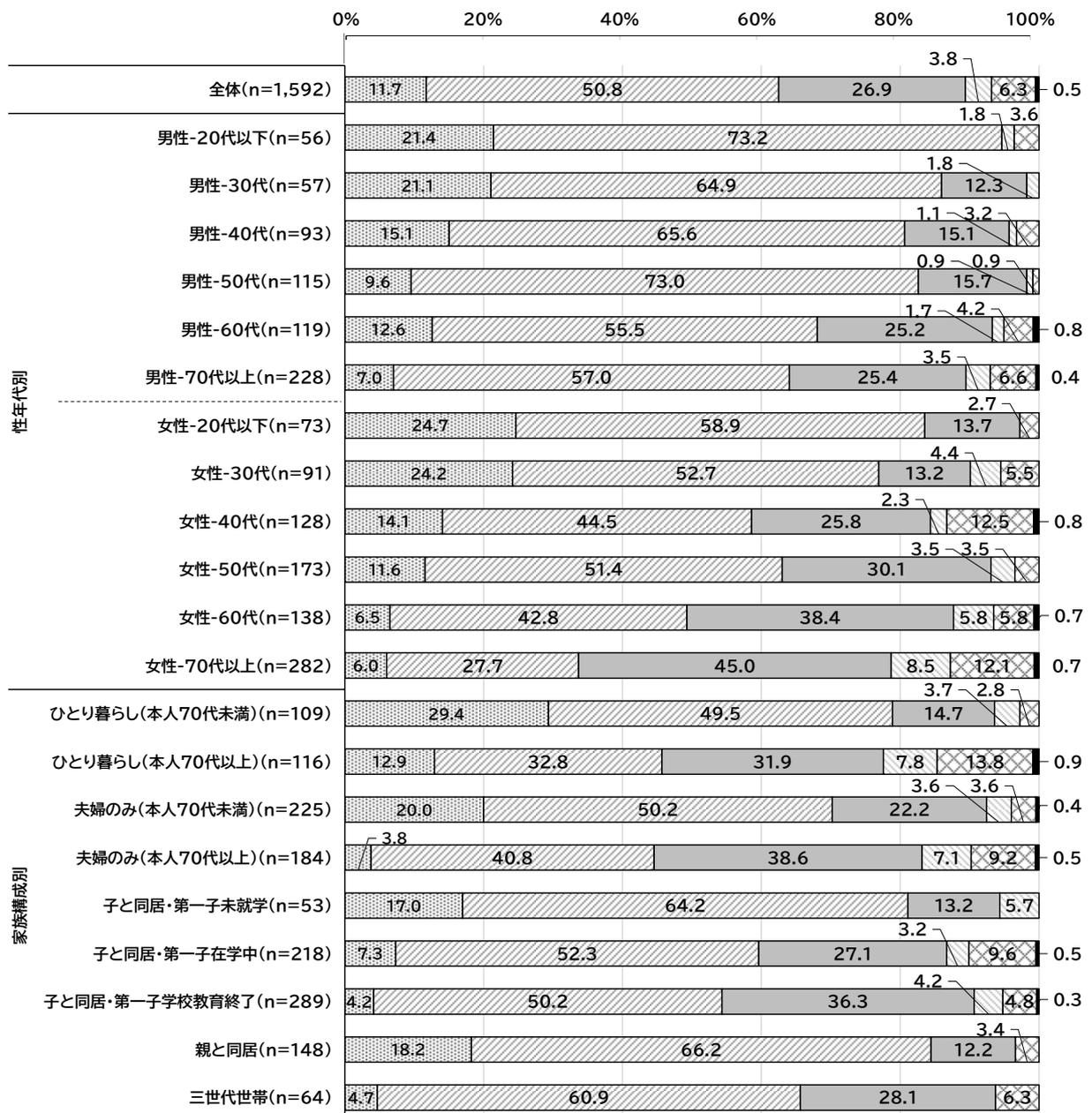


■ 性年代別 隣近所との付き合い方

- ・ 性年代別では、「たまに立ち話をする」は、「女性 70 代以上」で 45.0%と最も多く、他の性年代は「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多い。
- ・ さらに、「たまに立ち話をする」は、男性より女性のほうが、また、男性、女性ともに年代が上がるほど多い傾向がある。
- ・ 「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」を合わせた『比較的親密な付き合い方』は、男性より女性のほうが多い傾向がある。

■ 家族構成別 隣近所との付き合い方

- ・ 家族構成別では、「道で会えば挨拶ぐらいする」は、「親と同居」、「子と同居・第一子未就学」、「三世帯世帯」で6割を超える。
- ・ 「顔もよく知らない」は、「ひとり暮らし(本人 70 代未満)」(29.4%)で全体(11.7%)より 17.7 ポイント高い。



顔もよく知らない

道で会えば挨拶ぐらいする

たまに立ち話をする

一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている

困ったとき、相談したり助け合ったりする

無回答

■ 地区別 隣近所との付き合い方

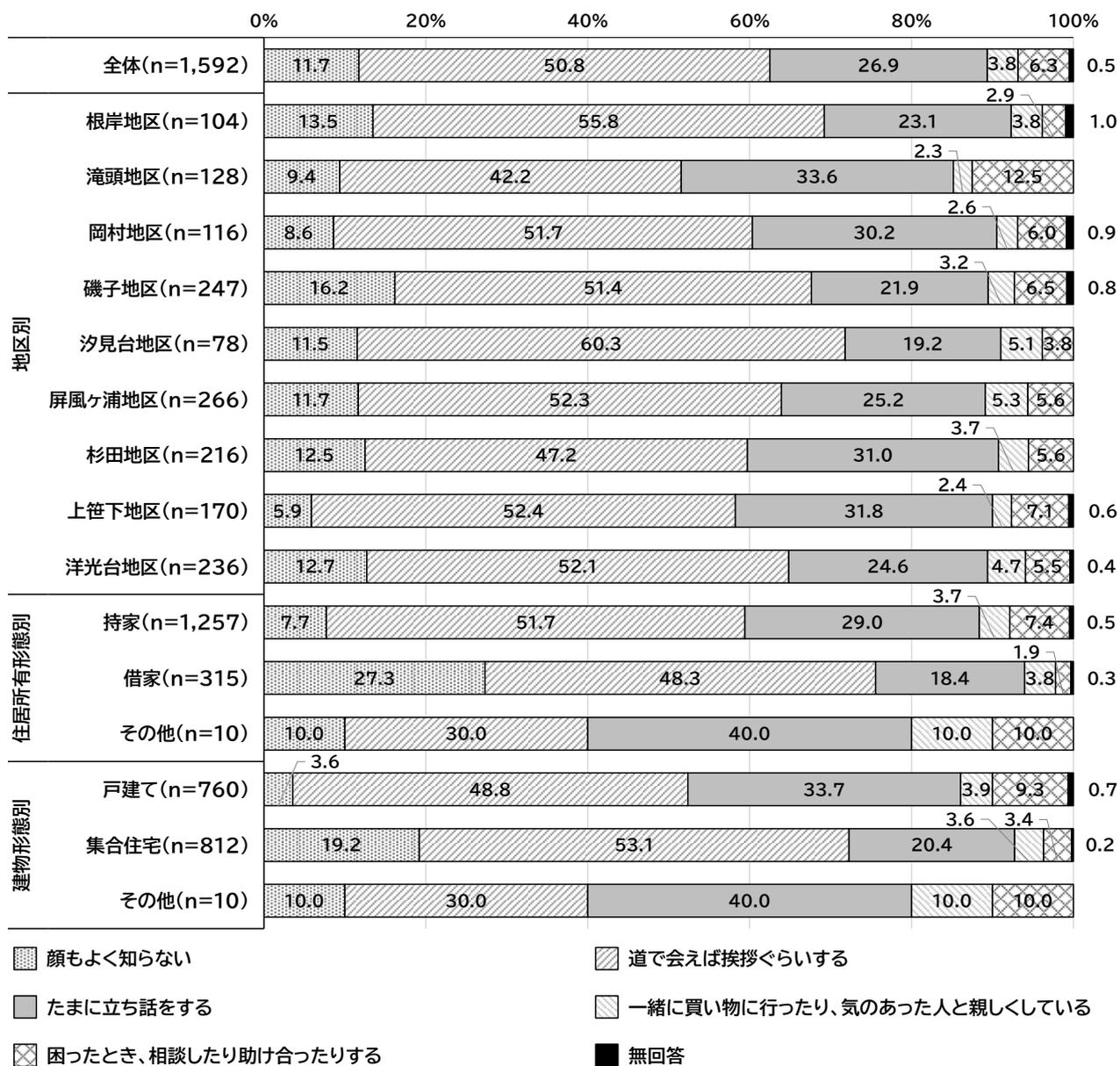
- ・ 地区別では、すべての地区で「道で会えば挨拶ぐらいする」が最も多く、次いで「たまに立ち話をする」となっている。

■ 住居所有形態別 隣近所との付き合い方

- ・ 住居所有形態別では、「顔もよく知らない」では「持家」が7.7%、「借家」が27.3%と、「借家」が19.6ポイント高い。

■ 建物形態別 隣近所との付き合い方

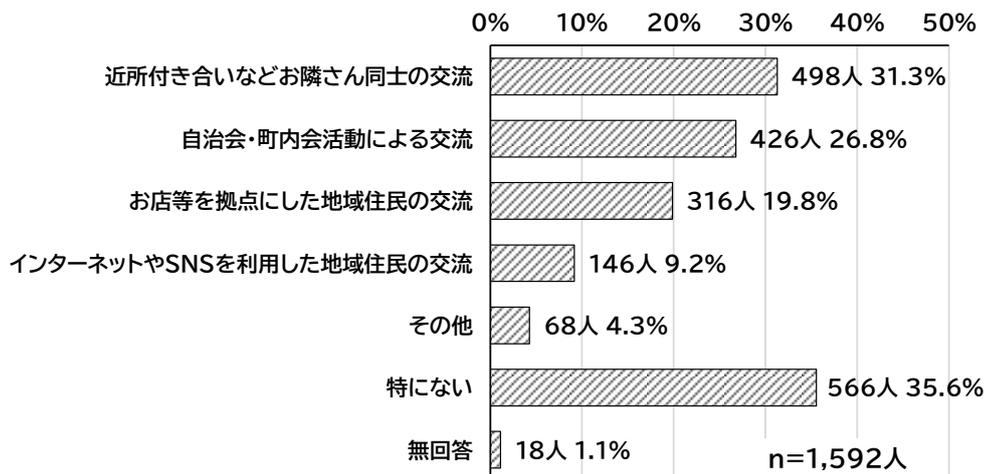
- ・ 建物形態別では、「顔もよく知らない」では「戸建て」が3.6%、「集合住宅」が19.2%と、「集合住宅」が15.6ポイント高い。



問4 あなたの生活が豊かになるために、住んでいる地域でどのような交流が充実すると良いと思いますか。
(複数回答)

「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」(31.3%) が最も多い

- ・ 「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」が 31.3% で最も多く、次いで「自治会・町内会活動による交流」(26.8%)、「お店等を拠点にした地域住民の交流」(19.8%)、「インターネットやSNSを利用した地域住民の交流」(9.2%) の順となっている。



■ 年代別 生活が豊かになるために充実すると良いと思う交流 (複数回答)

- ・ 年代別では、「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」は、「80代以上」で全体より高い。
- ・ 「自治会・町内会活動による交流」は、「20代」で全体より低い。
- ・ 「お店等を拠点にした地域住民の交流」は、「80代以上」で全体より低い。

※全体は回答の%、年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	年代							
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
n=	1,592	23	109	150	223	289	259	313	202
近所付き合いなどお隣さん同士の交流	31.3	-5.2	-5.6	-7.3	-6.6	-6.7	-0.4	5.8	16.7
自治会・町内会活動による交流	26.8	-5.0	-13.9	-8.8	-4.8	-3.9	3.7	6.8	9.9
お店等を拠点にした地域住民の交流	19.8	1.9	9.5	4.2	6.2	4.7	0.6	-7.1	-10.4
インターネットやSNSを利用した地域住民の交流	9.2	16.9	8.3	3.5	5.2	5.4	-3.8	-6.3	-7.2
特になし	35.6	-9.5	3.9	8.4	-0.6	1.1	-1.6	1.2	-6.3
その他	4.3	-4.3	-3.4	-0.3	0.2	-0.8	1.5	0.2	0.7

■ 職業(就労の有無)別 生活が豊かになるために充実すると良いと思う交流 (複数回答)

- ・ 職業(就労の有無)別では、「お店等を拠点にした地域住民の交流」、「インターネットや SNS を利用した地域住民の交流」が、「学生」で全体より高い。

※全体は回答の%、職業(就労の有無)別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	職業(就労の有無)			
		就業者	学生	専業主婦・主夫	無職
n=	1,592	854	49	243	388
近所付き合いなどお隣さん同士の交流	31.3	-3.3	-8.8	4.9	4.8
自治会・町内会活動による交流	26.8	-2.8	-4.3	2.9	4.7
お店等を拠点にした地域住民の交流	19.8	4.4	10.8	-3.4	-7.0
インターネットやSNSを利用した地域住民の交流	9.2	3.2	13.3	-3.0	-6.3
特になし	35.6	0.3	-2.9	0.7	0.3
その他	4.3	-0.3	-4.3	0.3	0.6

■ 居住期間(統合)別 生活が豊かになるために充実すると良いと思う交流 (複数回答)

- ・ 居住期間別では、居住期間が長いほど「近所付き合いなどお隣さん同士の交流」や「自治会・町内会活動による交流」が高い傾向にある。

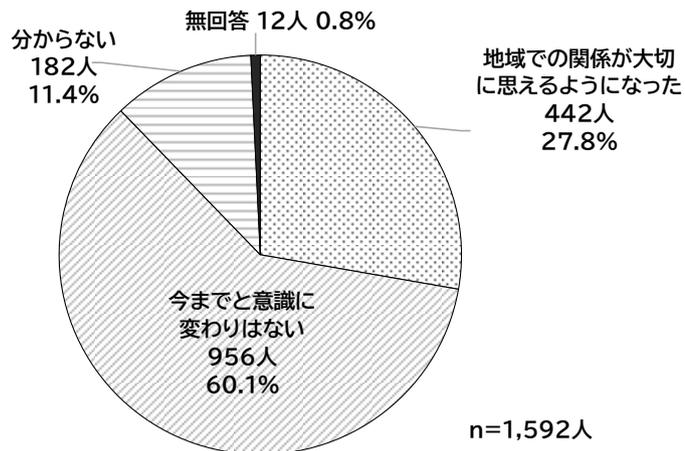
※全体は回答の%、居住期間(統合)別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	居住期間(統合)			
		45年以上前	25~44年前	10~24年前	10年未満
n=	1,592	224	409	496	452
近所付き合いなどお隣さん同士の交流	31.3	13.8	4.4	-3.9	-6.1
自治会・町内会活動による交流	26.8	9.0	5.3	-2.8	-5.5
お店等を拠点にした地域住民の交流	19.8	-8.7	-1.0	3.1	1.8
インターネットやSNSを利用した地域住民の交流	9.2	-6.5	-0.9	1.3	2.8
特になし	35.6	-4.7	-3.3	0.9	4.3
その他	4.3	1.1	-0.6	-0.8	0.8

問5 あなたは、地震・大雨・台風などの災害やコロナ禍で地域住民同士のかかわりに対する意識に変化はありましたか。

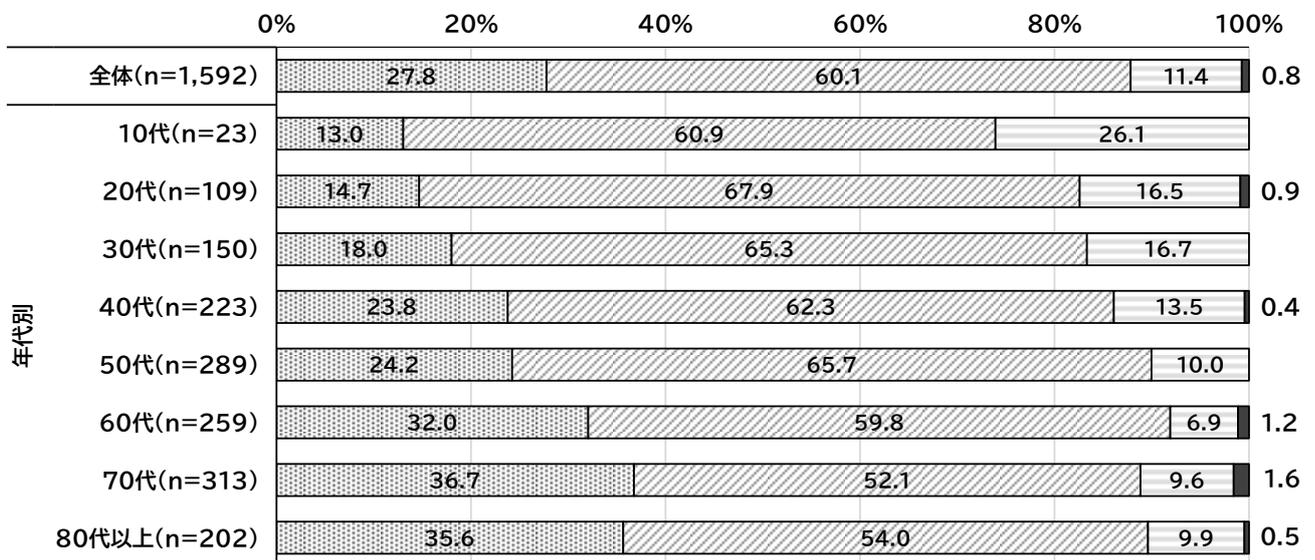
「地域での関係が大切に思えるようになった」は27.8%

- 「今までと意識に変わりはない」が60.1%で最も多く、「地域での関係が大切に思えるようになった」(27.8%)、「分からない」(11.4%)となっている。



■ 年代別 災害やコロナ禍での意識変化

- 年代別では、年代が上がるほど「地域での関係が大切に思えるようになった」の割合が高い傾向がある。



- 地域での関係が大切に思えるようになった
- 今までと意識に変わりはない
- 分からない
- 無回答

■ 家族構成別 災害やコロナ禍での意識変化

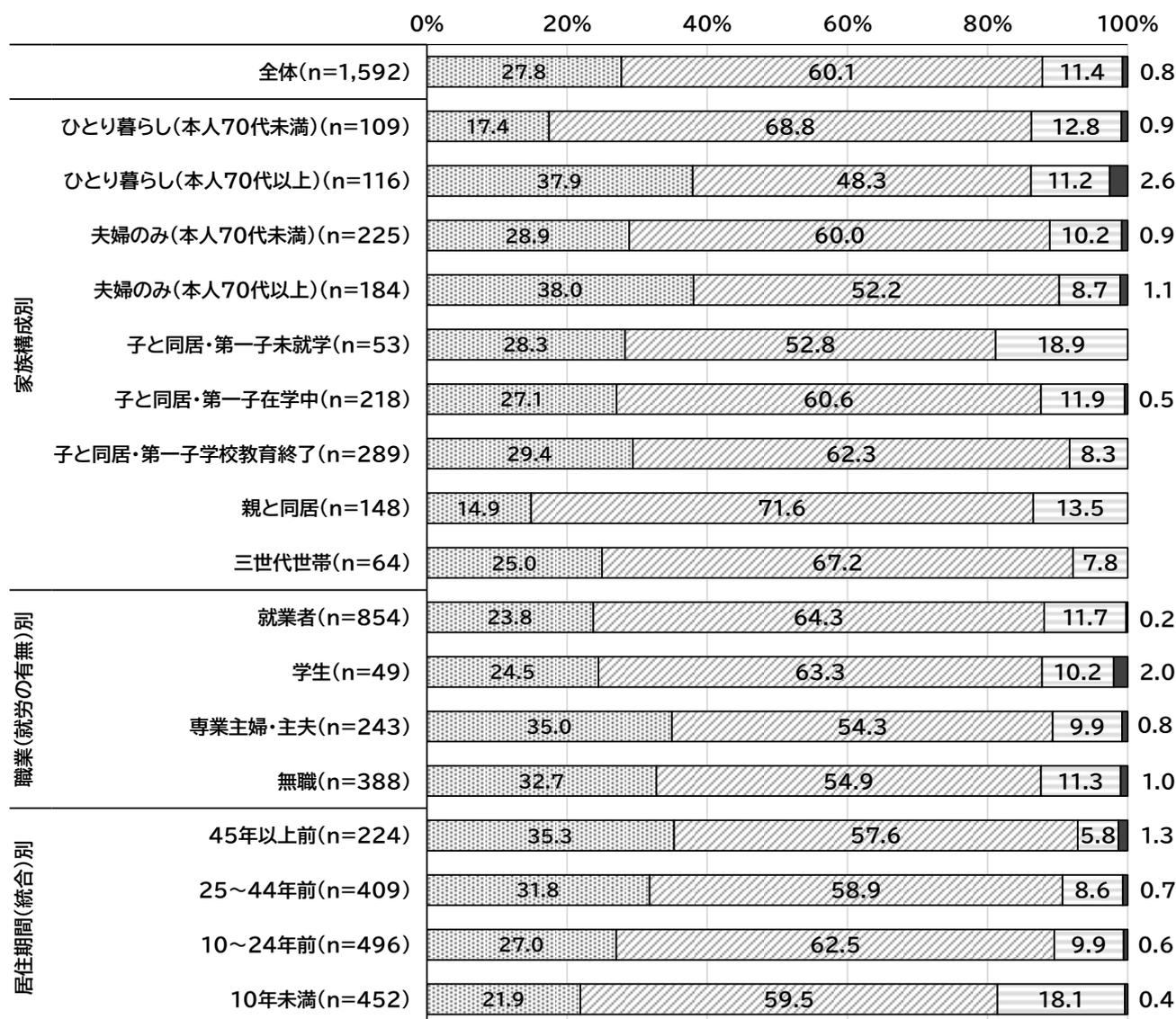
- ・ 家族構成別では、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」と「夫婦のみ(本人 70 代以上)」で「地域での関係が大切に思えるようになった」が全体より 10 ポイント以上高く、「親と同居」では「今までと意識に変わりはない」が全体より 10 ポイント以上高い。

■ 職業(就労の有無)別 災害やコロナ禍での意識変化

- ・ 職業(就労の有無)別では、「専業主婦・主夫」と「無職」で「地域での関係が大切に思えるようになった」が3割を超えている。

■ 居住期間(統合)別 災害やコロナ禍での意識変化

- ・ 居住期間(統合)別では、居住期間が長いほど「地域での関係が大切に思えるようになった」が高くなる傾向がある。

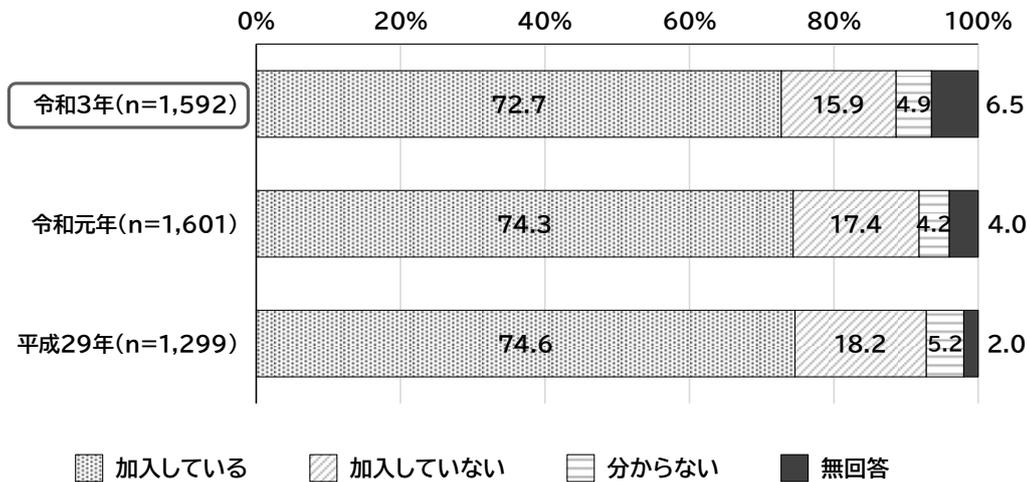


- 地域での関係が大切に思えるようになった
- 今までと意識に変わりはない
- 分からない
- 無回答

問6 あなたは自治会・町内会に加入していますか。

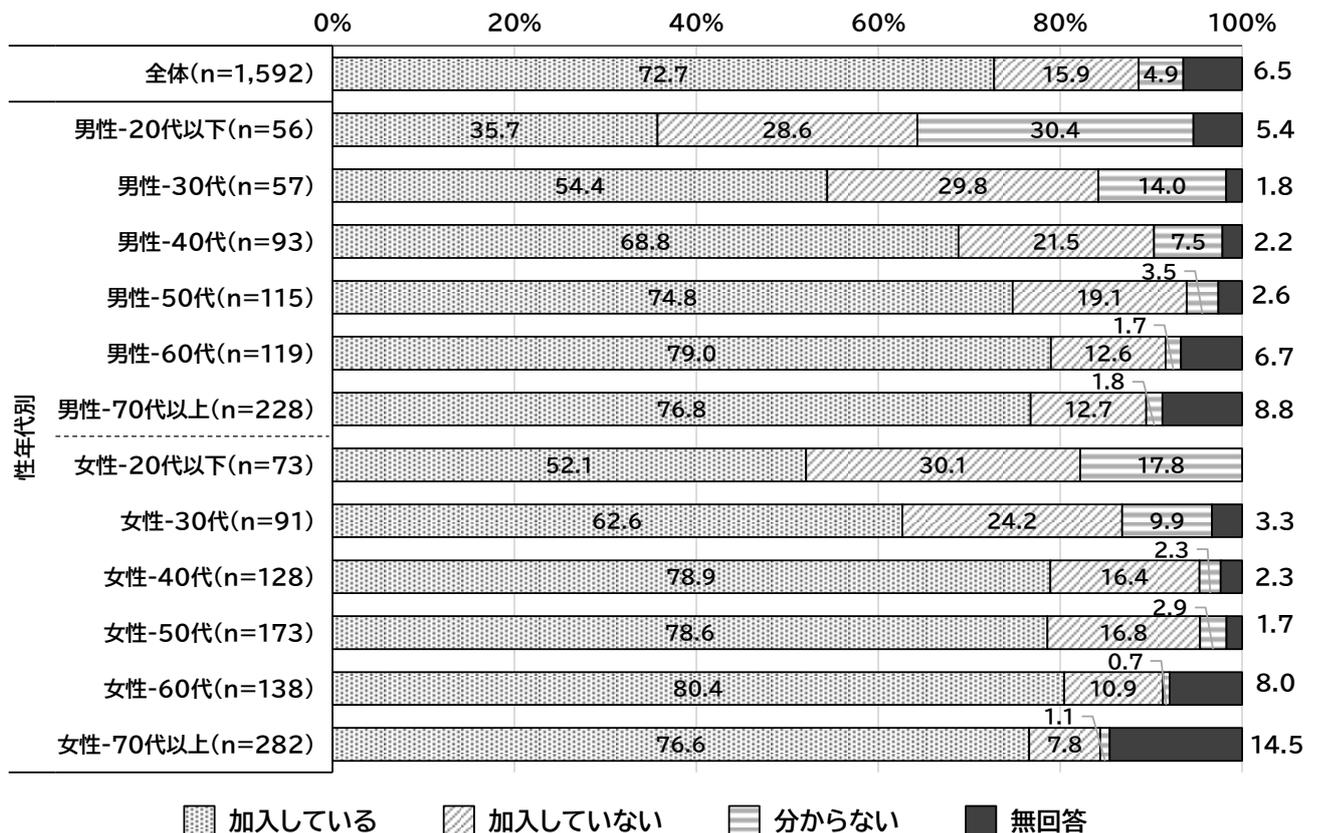
72.7%が自治会・町内会に「加入している」

- ・ 「加入している」が72.7%、「加入していない」は15.9%、「分からない」は4.9%となっている。
- ・ 経年で比較すると、「加入している」、「加入していない」はともに減少傾向にあり、「無回答」が増加傾向にある。



■ 性年代別 自治会・町内会の加入率

- ・ 性年代別では、男性、女性ともに60代までは年代が上がるほど「加入している」が高くなる傾向にある。
- ・ 70代以上を除いて、女性の方が男性よりも加入しており、年代が上がるほどその差は小さくなる傾向にある。

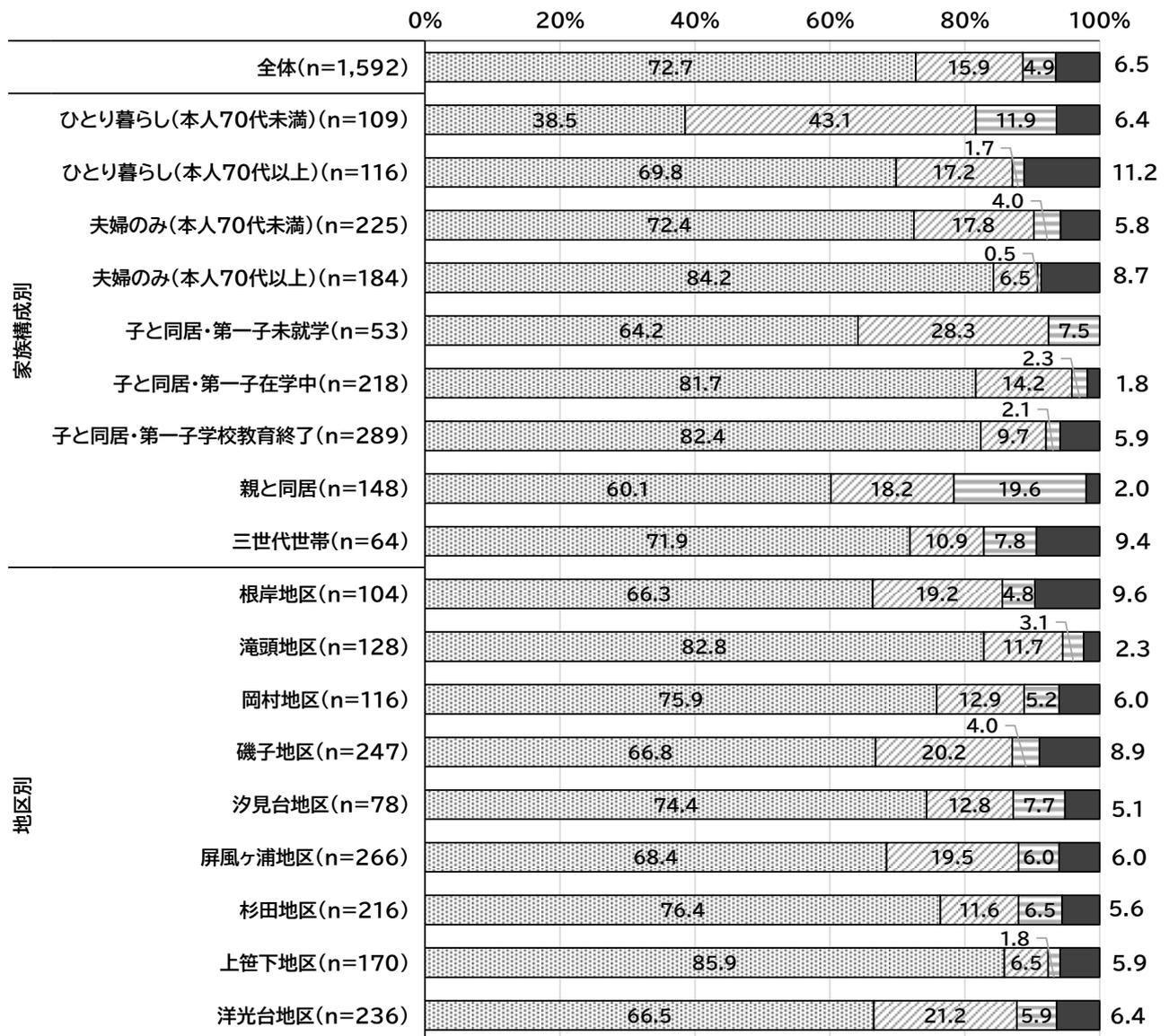


■ 家族構成別 自治会・町内会の加入率

- ・ 家族構成別では、「ひとり暮らし(本人 70 代未満)」で「加入していない」(43.1%)が最も多い。
- ・ 子と同居では、第一子の年齢が低いほど「加入していない」が多くなる傾向で、「第一子未就学」では28.3%が加入していない。

■ 地区別 自治会・町内会の加入率

- ・ 地区別では、「上笹下地区」、「滝頭地区」で加入者が8割を超える。一方、「洋光台地区」、「磯子地区」で「加入していない」が2割を超える。



加入している
 加入していない
 分からない
 無回答

■ 住居所有形態別・建物形態別 自治会・町内会の加入率

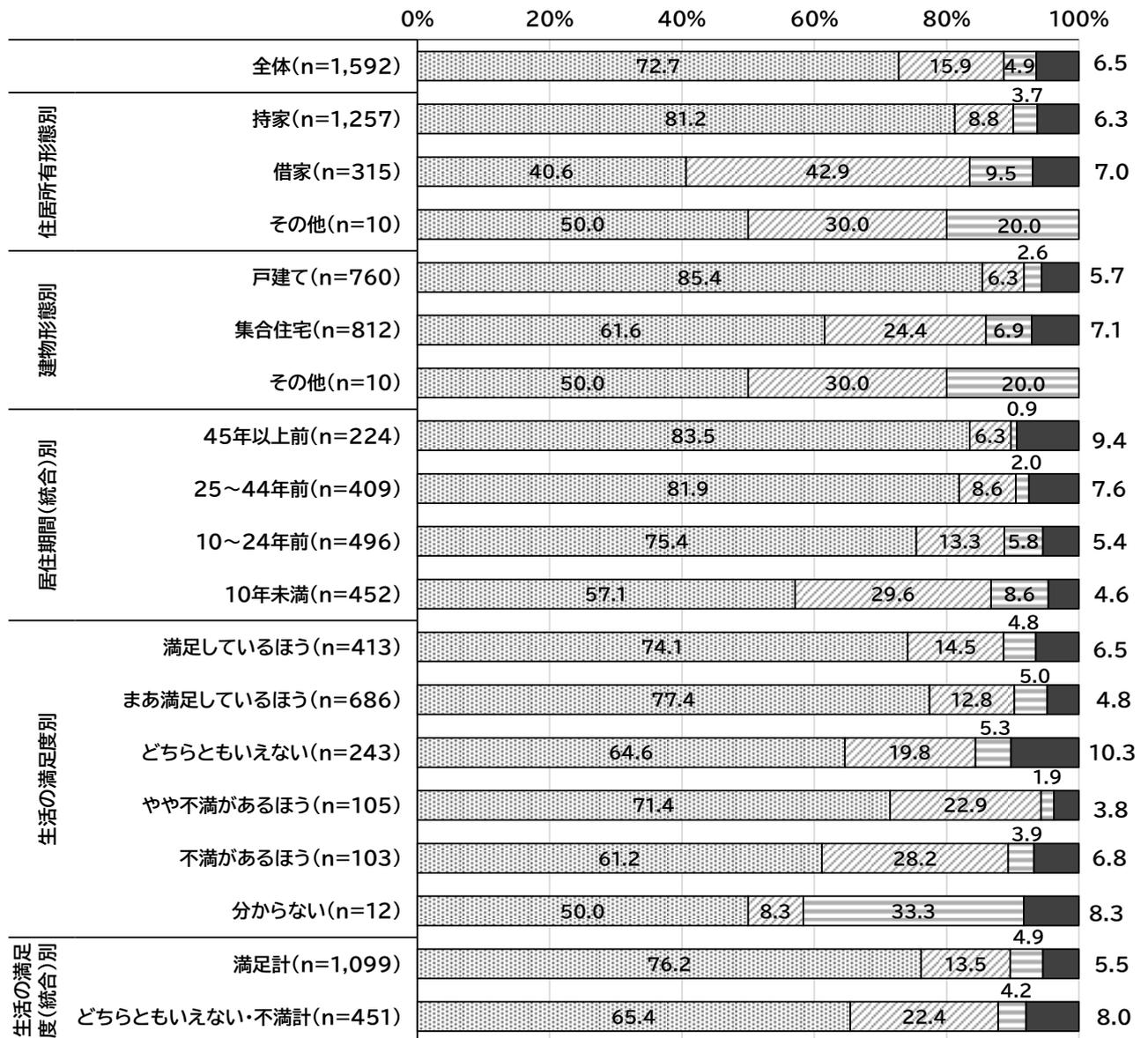
- ・ 住居所有形態別では、「加入している」のは、「持家」で81.2%、「借家」で40.6%となっている。
- ・ 建物形態別では、「加入している」のは、「戸建て」で85.4%、「集合住宅」で61.6%となっている。

■ 居住期間(統合)別 自治会・町内会の加入率

- ・ 居住期間(統合)別では、居住期間が長くなるほど「加入している」割合が高くなる傾向がある。居住期間が「10年未満」では「加入している」が全体より15.6ポイント低い。

■ 生活の満足度(統合)別 自治会・町内会の加入率

- ・ 生活の満足度(統合)別では、『満足計』で「加入している」が全体より3.5ポイント高く、『どちらともいえない・不満計』で「加入していない」が全体より6.5ポイント高い。



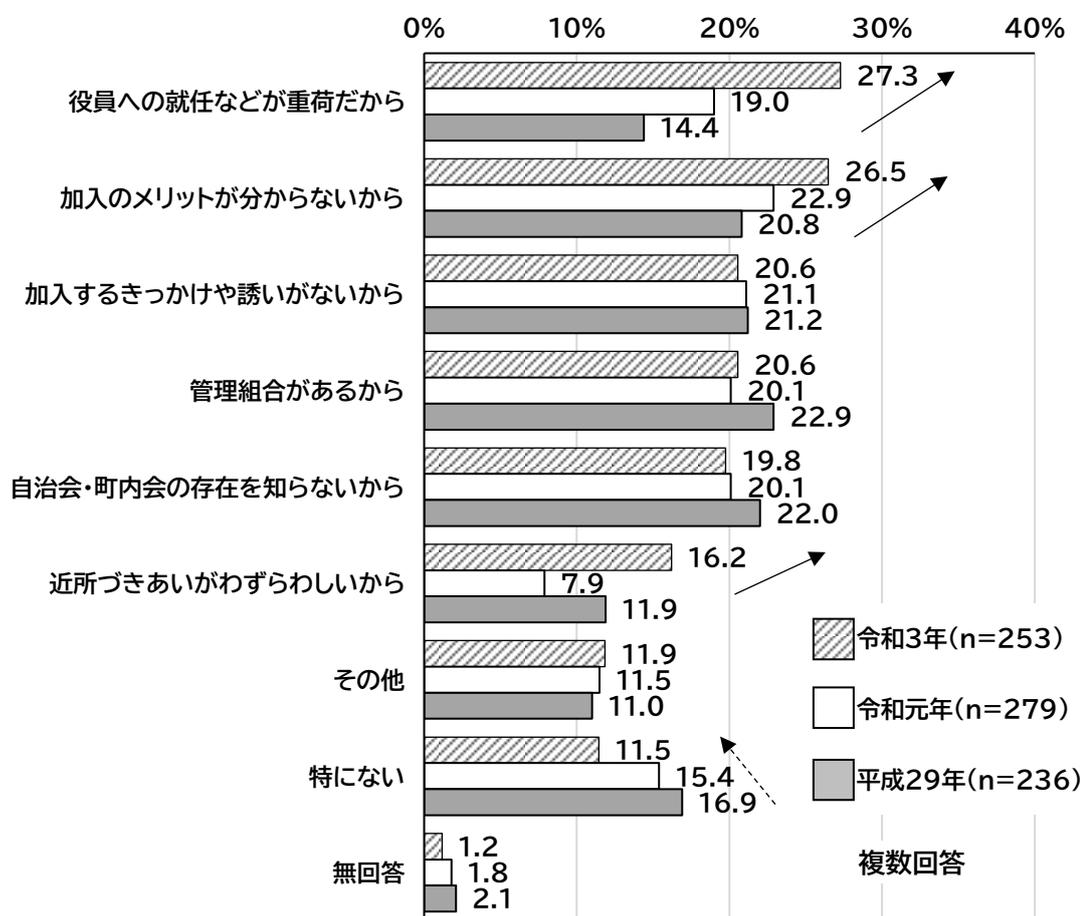
■ 加入している ■ 加入していない ■ 分からない ■ 無回答

問6で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問6-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(複数回答)

「役員への就任などが重荷だから」が27.3%で最も多く、次いで「加入のメリットが分からないから」が26.5%

- ・ 「役員への就任などが重荷だから」が27.3%で最も多く、次いで「加入のメリットが分からないから」が26.5%、「加入するきっかけや誘いがないから」と「管理組合があるから」が同率で20.6%、「自治会・町内会の存在を知らないから」(19.8%)、「近所づきあいがわずらわしいから」(16.2%)の順となっている。
- ・ 一方で、「特にない」は11.5%である。
- ・ 経年で比較すると、「役員への就任などが重荷だから」と「加入のメリットが分からないから」は増加傾向、「特にない」は減少傾向にある。
- ・ 「近所づきあいがわずらわしいから」は、前回調査から8.3ポイント増加となっている。

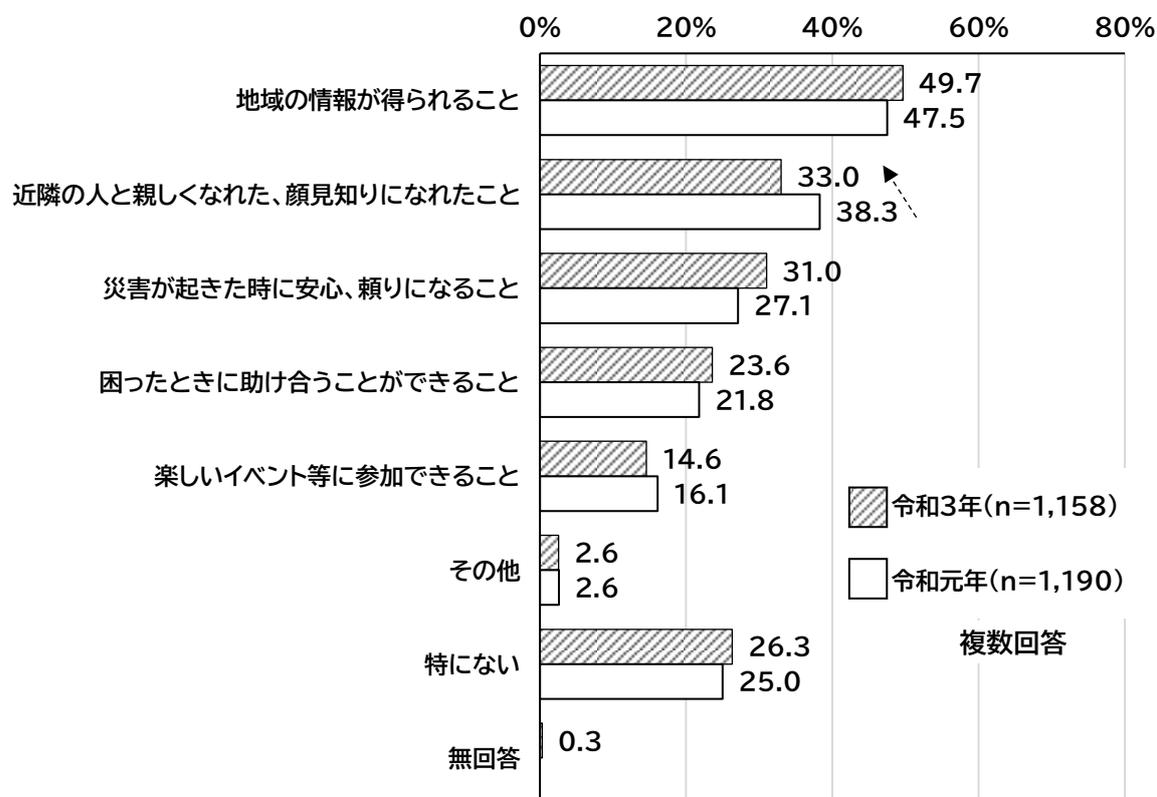


問6で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。

問6-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(複数回答)

「地域の情報が得られること」が49.7%で最も多い

- ・ 「地域の情報が得られること」が49.7%で最も多く、次いで「近隣の人と親しくなれた、顔見知りになれたこと」(33.0%)、「災害が起きた時に安心、頼りになること」(31.0%)、「困ったときに助け合うことができること」(23.6%)、「楽しいイベント等に参加できること」(14.6%)の順となっている。
- ・ 一方、「特にない」は26.3%である。
- ・ 前回調査と比較すると、「近隣の人と親しくなれた、顔見知りになれたこと」で5.3ポイント減少している。

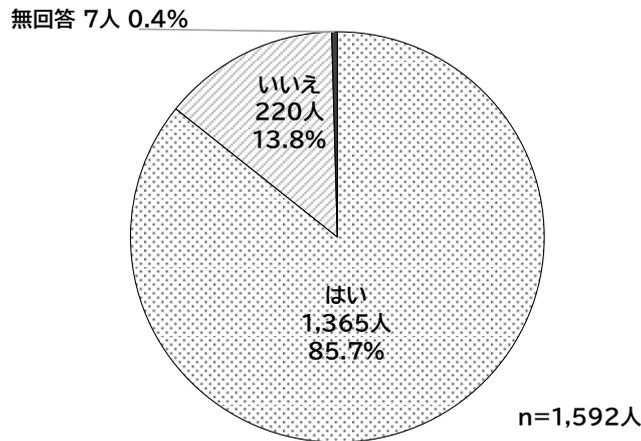


(4) 情報処理端末の利用

問7 横浜市では行政サービスの提供にあたって、利便性の向上のためにスマートフォン・タブレットやパソコンの活用を進めています。あなたは、スマートフォン・タブレットやパソコンをお持ちですか。(〇は1つ)

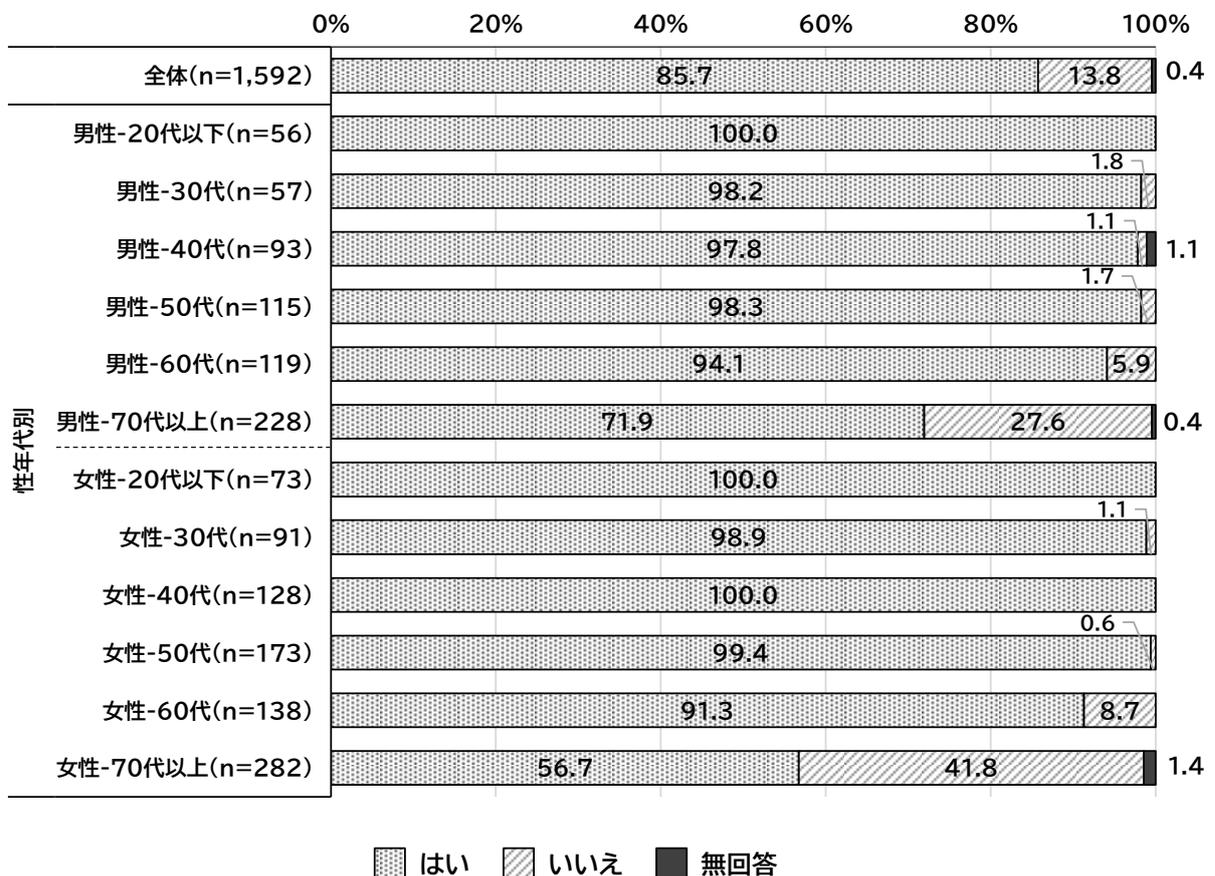
スマートフォン・タブレットやパソコンを持っている方は、全体の 85.7%

- ・ 「はい」が 85.7%、「いいえ」は 13.8%となっている。



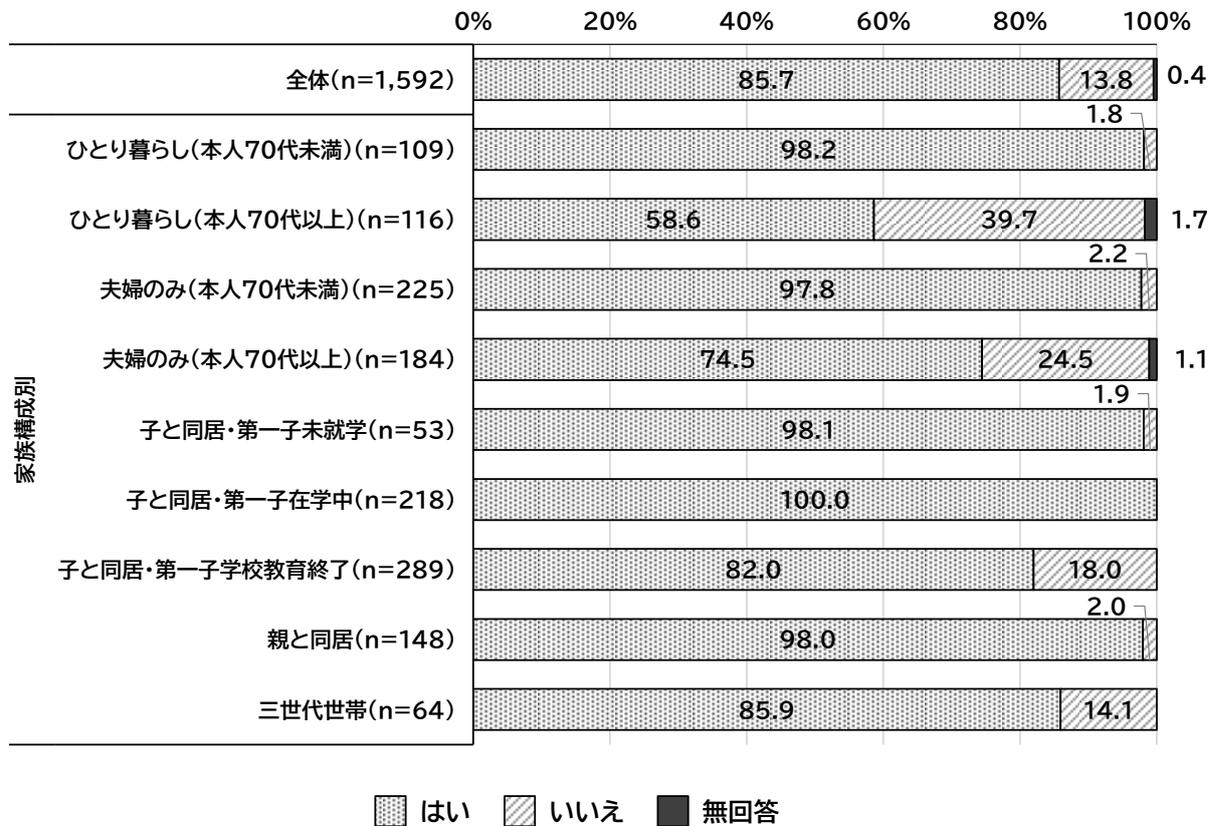
■ 性年代別 スマートフォン等の所有率

- ・ 性年代別では、男性、女性ともに 60 代以上で「いいえ」が他の年代より高くなっている。特に「女性 70 代以上」で「いいえ」が 41.8%と高い。



■ 家族構成別 スマートフォン等の所有率

- ・ 家族構成別では、「いいえ」が、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」で 39.7%、「夫婦のみ(本人 70 代以上)」で 24.5%と、全体より 10 ポイント以上高くなっている。

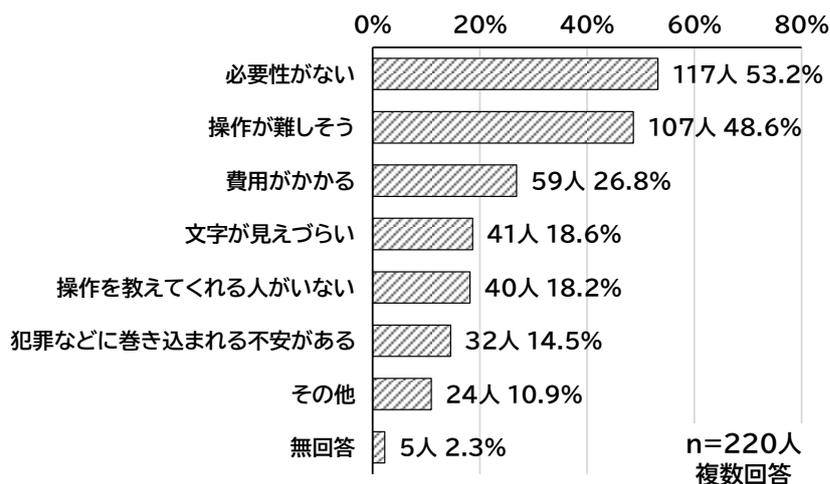


問7-1 問7で「2 いいえ」と答えた方にお伺いします。

問7-1-1 持っていない理由は何ですか。(複数回答)

「必要性がない」が53.2%、「操作が難しそう」が48.6%

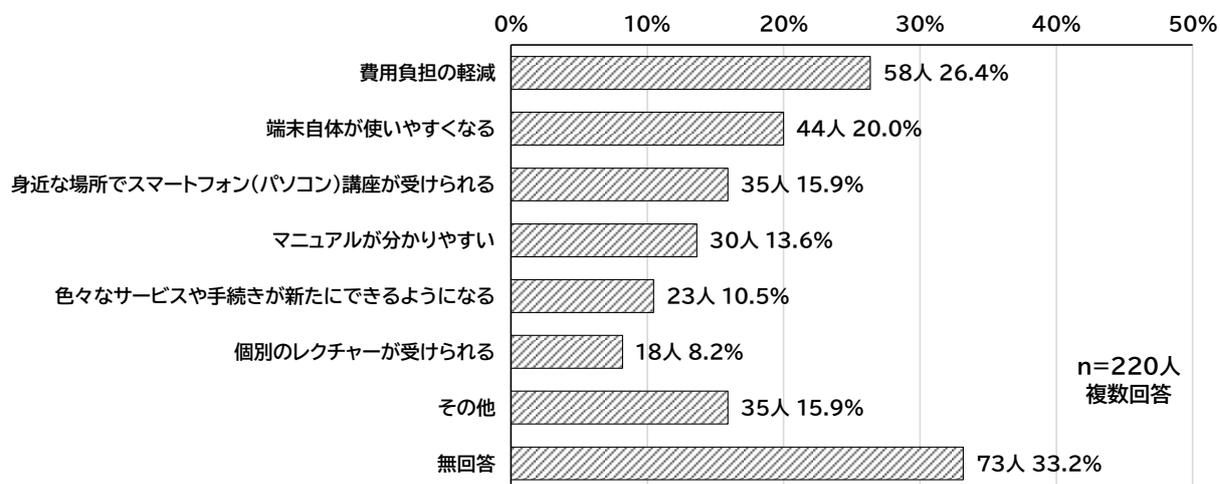
- ・ 「必要性がない」が53.2%で最も多く、次いで「操作が難しそう」(48.6%)、「費用がかかる」(26.8%)、「文字が見えづらい」(18.6%)、「操作を教えてくれる人がいない」(18.2%)、「犯罪などに巻き込まれる不安がある」(14.5%)の順となっている。



問7-1-2 どうすれば持ちたい・使いたいと思いますか。(複数回答)

「費用負担の軽減」が26.4%で最も多い

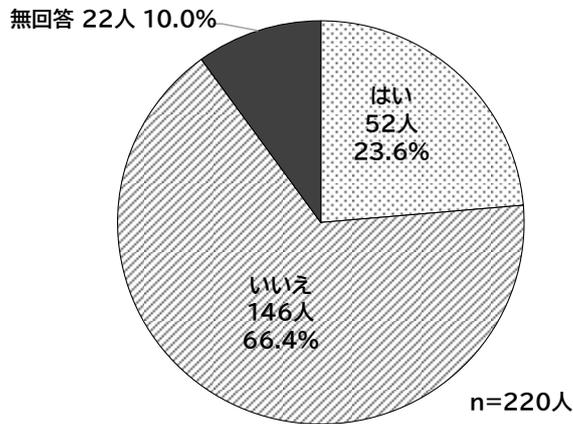
- ・ 「費用負担の軽減」が26.4%で最も多く、次いで「端末自体が使いやすくなる」(20.0%)、「身近な場所でスマートフォン(パソコン)講座が受けられる」(15.9%)、「マニュアルが分かりやすい」(13.6%)、「色々なサービスや手続きが新たにできるようになる」(10.5%)、「個別のレクチャーが受けられる」(8.2%)の順となっている。



問7-1-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、手続きを行いたいと思いますか。(〇は1つ)

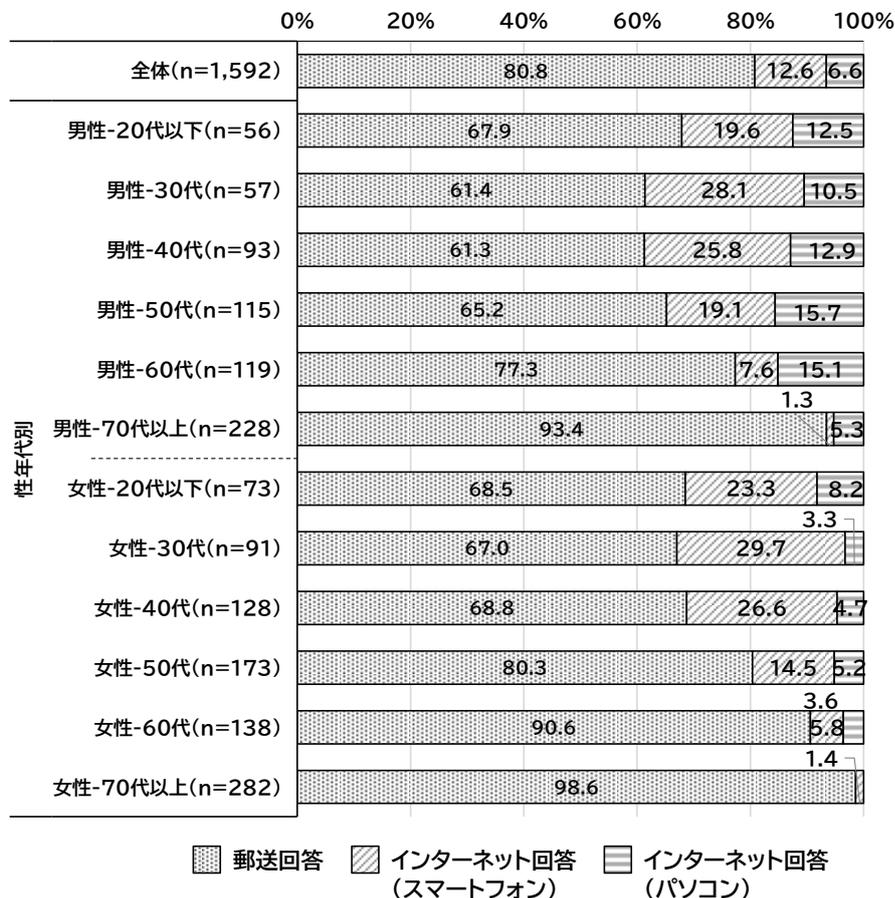
スマホや PC を持っていない方のうち、今後、スマートフォン、パソコンなどを活用して、行政サービスを調べたり手続きを行いたいと思っている方は、全体の 23.6%

- ・ 「はい」が 23.6%、「いいえ」は 66.4%となっている。



■ 【参考】今回調査の回答方法別分析

- ・ 回答方法は、「インターネット回答(スマートフォン)」は、男性、女性ともに 30 代が最も高い。
- ・ 「郵送回答」は男性、女性ともに 30 代以上で年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、特に 70 代以上では9割を超えている。

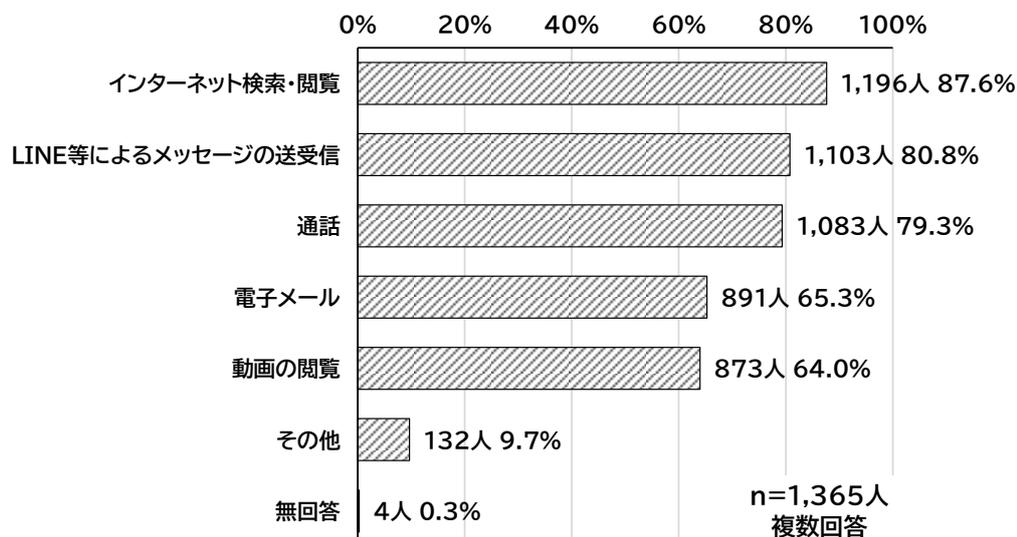


問7-2 問7で「1 はい」と答えた方にお伺いします。

問7-2-1 日ごろスマートフォン・タブレットやパソコンで行っていることは何ですか。(複数回答)

「インターネット検索・閲覧」が87.6%で最も多い

- ・ 「インターネット検索・閲覧」が87.6%で最も多く、次いで「LINE等によるメッセージの送受信」(80.8%)、「通話」(79.3%)、「電子メール」(65.3%)、「動画の閲覧」(64.0%)の順となっている。



■ 性年代別 日ごろスマホ、PC 等で行っていること (複数回答)

- ・ 男性、女性ともに70代以上では、女性の「通話」以外はいずれも全体より低い。
- ・ 「LINE等によるメッセージの送受信」では、男性より女性のほうが全ての年代で高くなっている。
- ・ 「動画の閲覧」では、男性、女性ともに年代が下がるほど高くなる傾向がある。
- ・ 「電子メール」では、「男性50代」で全体より高い。

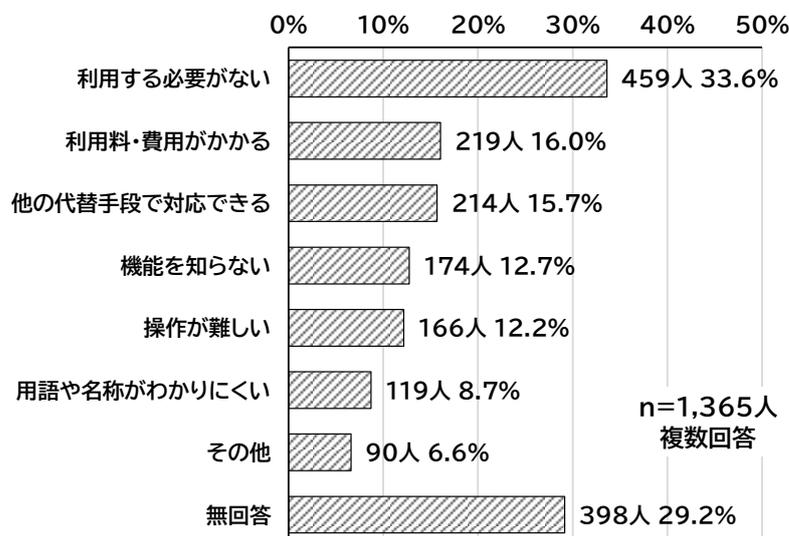
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	1,365	56	56	91	113	112	164	73	90	128	172	126	160
インターネット検索・閲覧	87.6	12.4	7.0	12.4	12.4	4.3	-18.7	8.3	9.0	10.0	6.6	5.2	-32.6
LINE等によるメッセージの送受信	80.8	12.1	12.1	6.0	-0.3	-4.0	-29.0	17.8	13.6	15.3	12.8	3.3	-17.7
通話	79.3	2.8	8.2	-4.6	3.8	-1.7	-7.4	-4.0	4.0	5.8	-3.2	0.0	5.0
電子メール	65.3	-4.6	4.4	7.3	20.6	3.5	-12.2	6.0	5.8	8.9	5.7	-3.4	-21.5
動画の閲覧	64.0	27.1	27.1	17.4	10.4	-5.0	-31.6	27.8	16.0	17.3	8.7	-12.4	-31.5
その他	9.7	10.0	-4.3	2.4	2.7	1.9	-2.4	5.4	-1.9	-4.2	-0.9	-0.1	-2.2

問7-2-2 問7-2-1で利用していないサービスや用途があるのはなぜですか。(複数回答)

「利用する必要がない」が33.6%で最も多い

- 「利用する必要がない」が33.6%で最も多く、次いで「利用料・費用がかかる」(16.0%)、「他の代替手段で対応できる」(15.7%)、「機能を知らない」(12.7%)、「操作が難しい」(12.2%)、「用語や名称がわかりにくい」(8.7%)の順となっている。



■ 性年代別 利用していないサービスや用途がある理由 (複数回答)

- 男性、女性ともに70代以上では、「機能を知らない」、「操作が難しい」、「用語や名称がわかりにくい」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	1,365	56	56	91	113	112	164	73	90	128	172	126	160
利用する必要がない	33.6	14.6	3.9	14.7	-0.9	3.9	4.8	2.0	-4.7	-5.5	-2.2	-1.9	-9.9
利用料・費用がかかる	16.0	-7.1	-0.7	3.7	-3.7	2.7	9.0	-5.1	-3.8	-5.9	-2.7	3.0	4.0
他の代替手段で対応できる	15.7	7.5	5.8	7.4	2.0	0.4	-8.4	0.8	-3.5	1.5	2.3	-1.4	-4.4
機能を知らない	12.7	-3.8	-7.4	-7.3	-8.3	-3.8	13.5	-11.4	-7.2	-5.7	-4.0	3.1	18.5
操作が難しい	12.2	-12.2	-12.2	-7.8	-12.2	-3.2	20.2	-9.4	-7.7	-7.5	-6.3	3.7	22.8
用語や名称がわかりにくい	8.7	-6.9	-6.9	-5.4	-8.7	-2.5	11.4	-7.3	-7.6	-6.4	-2.9	4.8	16.3
その他	6.6	-1.2	2.3	1.1	1.4	1.4	-2.3	7.1	2.3	0.4	-0.2	-0.2	-4.7

■ 家族構成別 利用していないサービスや用途がある理由（複数回答）

- ・ 家族構成別では、「利用料・費用がかかる」は、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」と「夫婦のみ(本人 70 代以上)」で全体より高くなっている。

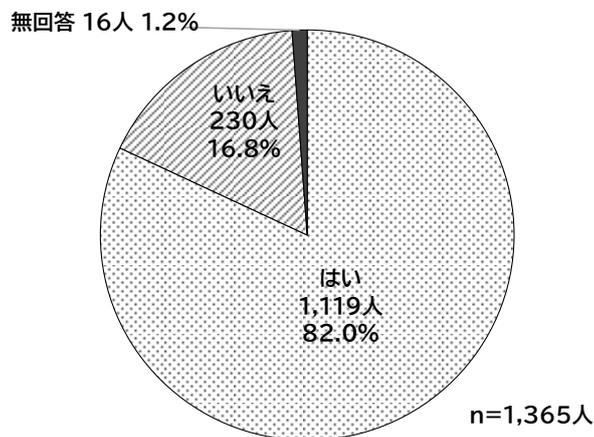
※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし (本人70代未満)	ひとり暮らし (本人70代以上)	夫婦のみ (本人70代未満)	夫婦のみ (本人70代以上)	子と同居・第一子未就学	子と同居・第一子在学中	子と同居・第一子学校教育終了	親と同居	三世帯世帯
n=	1,365	107	68	220	137	52	218	237	145	55
利用する必要がない	33.6	-27.1	7.6	-28.2	0.7	-29.8	-29.0	-19.3	-30.2	-30.0
利用料・費用がかかる	16.0	-4.8	11.9	-8.8	12.4	-16.0	-8.2	-0.4	11.2	-5.1
他の代替手段で対応できる	15.7	23.6	6.4	14.8	15.0	5.5	14.6	24.0	29.1	24.3
機能を知らない	12.7	-5.3	9.3	-6.8	9.9	-12.7	-10.5	-0.5	10.0	-7.3
操作が難しい	12.2	7.5	2.5	2.4	13.4	5.1	0.2	4.7	1.6	-1.3
用語や名称がわかりにくい	8.7	14.6	-4.3	8.1	0.0	2.8	11.0	2.3	12.7	14.9
その他	6.6	3.7	-0.7	4.3	-2.2	3.0	-0.6	-3.2	0.3	-1.1

問7-2-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、手続きを行いたいと思いますか。(〇は1つ)

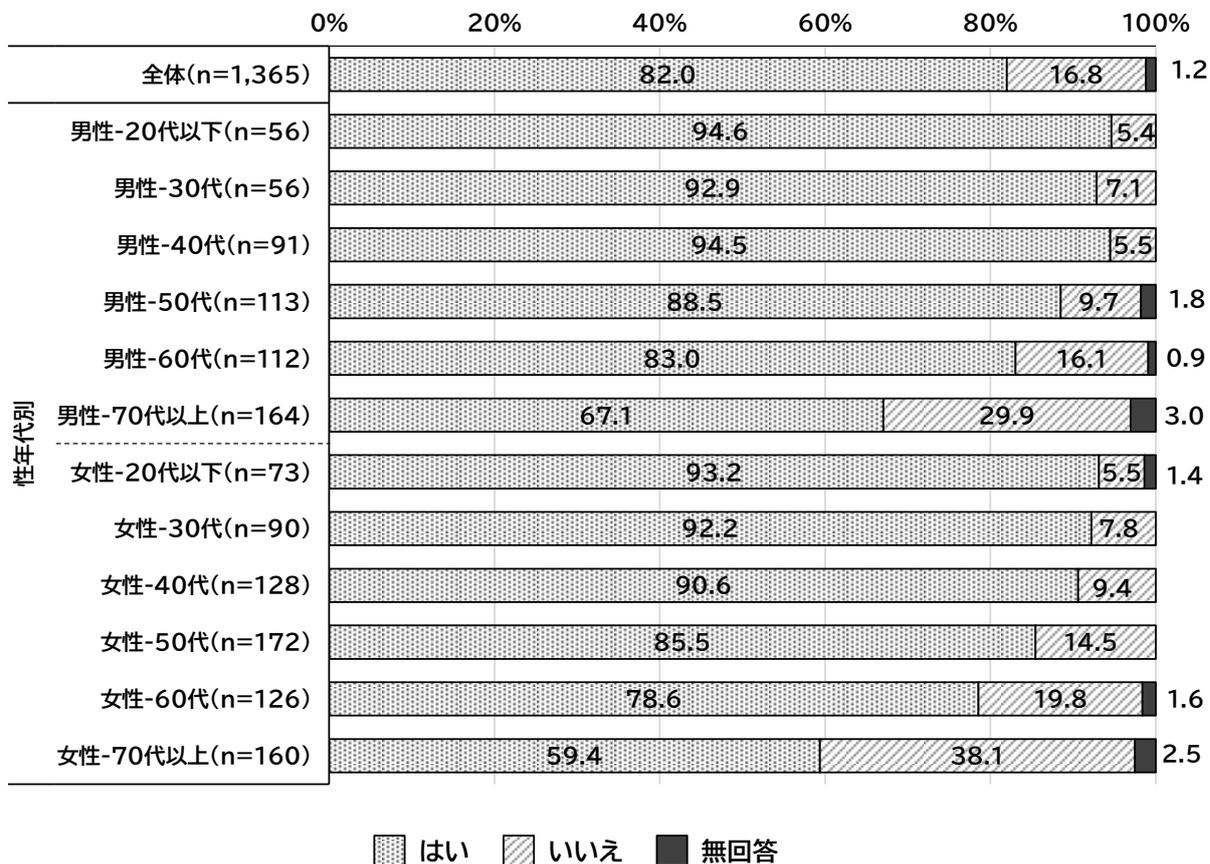
スマホやPCを持っている方では、スマートフォン、パソコンなどを活用して、行政サービスを調べたり手続きを行いたいと思っている方は、全体の82.0%

- ・ 「はい」が82.0%、「いいえ」は16.8%となっている。



■ 性年代別 スマートフォン、パソコンなどを活用した手続き

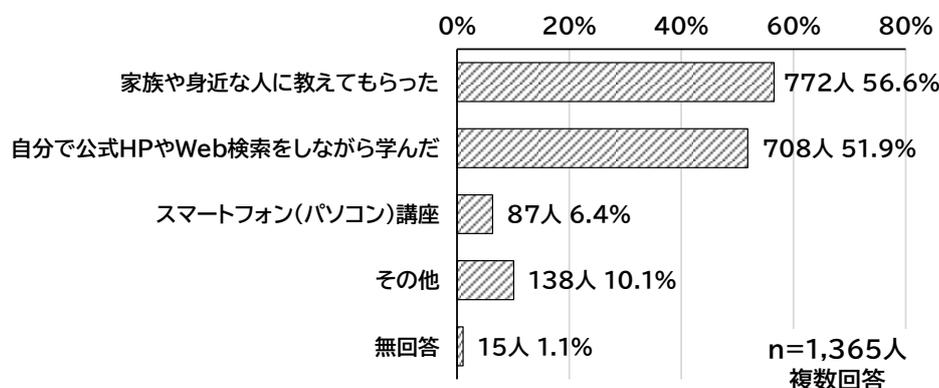
- ・ 性年代別では、年代が下がるほど利用意向が高くなる傾向があるが、70代以上でも男性で67.1%、女性で59.4%が「はい」と回答している。



問7-2-4 スマートフォン・タブレット、パソコンなどの使い方はどのように学びましたか。(複数回答)

「家族や身近な人に教えてもらった」(56.6%)と「自分で公式HPやWeb検索をしながら学んだ」(51.9%)が上位2項目

- 「家族や身近な人に教えてもらった」が 56.6%で最も多く、次いで「自分で公式HPやWeb検索をしながら学んだ」(51.9%)、「スマートフォン(パソコン)講座」(6.4%)の順となっている。



■ 性年代別 スマートフォンなどの使い方の学び方 (複数回答)

- 性年代別では、男性、女性ともに年代が上がるほど、「家族や身近な人に教えてもらった」の割合が高く、「自分で学んだ」の割合が低くなる傾向にある。それぞれの男女の差は大きい。
- また、「家族や身近な人に教えてもらった」では、男性より女性の割合が高く、「自分で学んだ」では女性より男性の割合が高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	1,365	56	56	91	113	112	164	73	90	128	172	126	160
家族や身近な人に教えてもらった	56.6	-20.8	-31.6	-17.0	-20.3	-5.7	8.1	-3.1	-11.0	-2.7	9.1	19.6	23.4
自分で学んだ	51.9	24.9	24.9	26.2	23.4	-0.1	-20.2	19.4	23.7	10.6	-0.1	-21.7	-38.7
スマートフォン(パソコン)講座	6.4	-6.4	-4.6	-3.1	-5.5	-5.5	4.0	-3.6	-5.3	-4.0	-0.6	3.2	14.9
その他	10.1	0.6	0.6	-6.8	-0.4	10.4	3.3	-4.6	-3.4	-2.3	-2.6	4.2	-2.6

■ 家族構成別 スマートフォンなどの使い方の学び方 (複数回答)

- 家族構成別では、「家族や身近な人に教えてもらった」は、「ひとり暮らし(本人 70代以上)」、「夫婦のみ(本人 70代以上)」、「子と同居・第一子学校教育終了」で全体より高くなっている。

※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	家族構成								
		ひとり暮らし(本人70代未満)	ひとり暮らし(本人70代以上)	夫婦のみ(本人70代未満)	夫婦のみ(本人70代以上)	子と同居・第一子未就学	子と同居・第一子在学习中	子と同居・第一子学校教育終了	親と同居	三世帯世帯
n=	1,365	107	68	220	137	52	218	237	145	55
家族や身近な人に教えてもらった	56.6	-18.2	15.5	-2.0	14.2	-12.3	-7.0	13.1	-14.5	3.4
自分で学んだ	51.9	-46.3	-35.7	-46.0	-36.5	-51.9	-51.9	-45.5	-47.7	-46.4
スマートフォン(パソコン)講座	6.4	53.4	8.3	51.8	19.9	74.4	59.2	33.7	64.0	51.8
その他	10.1	3.0	9.0	3.5	-0.6	-8.2	-2.8	-1.7	0.2	-1.0

2. 地域への愛着や、地域での活動について

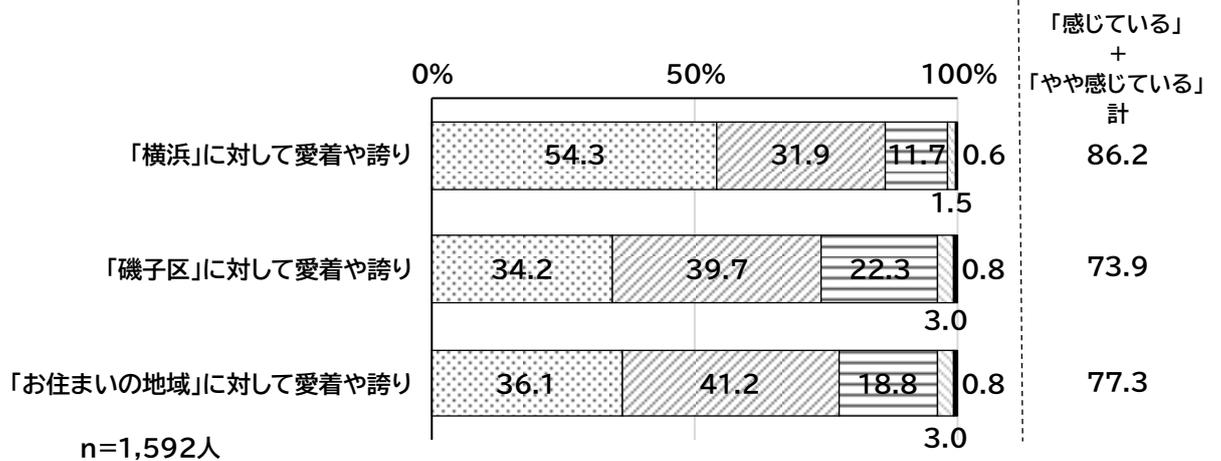
(1) 愛着や誇り

問8 あなたは、「横浜」や「磯子区」、「お住まいの地域」に対して、愛着や誇りを感じていますか。

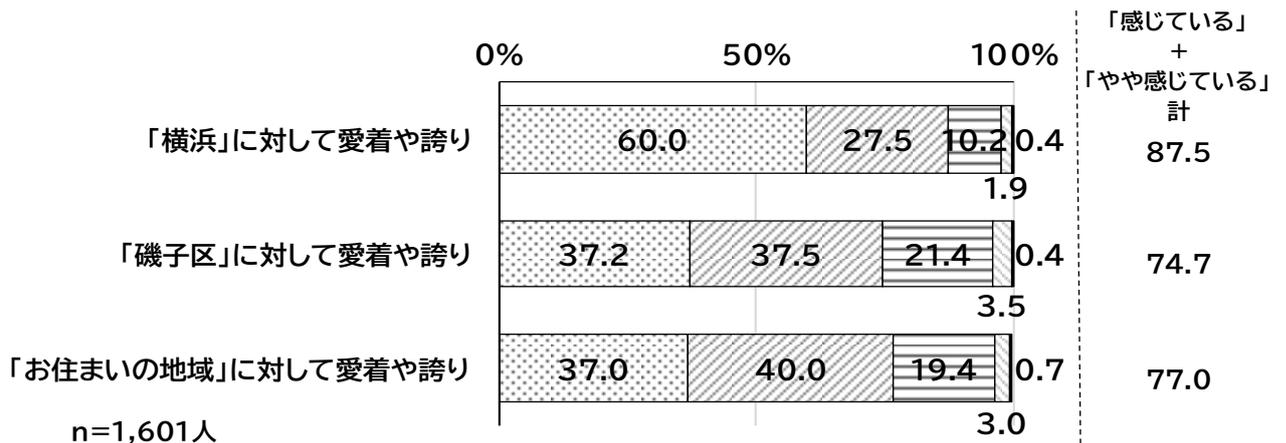
「横浜」に対して愛着や誇りを「感じている」の割合が、「磯子区」や「お住まいの地域」と比べて18ポイント以上高い

- 「磯子区」、「お住まいの地域」に対しての愛着や誇りを「感じている」がそれぞれ34.2%、36.1%であるのに対し、「横浜」では54.3%と18ポイント以上高くなっている。
- 前回調査と比較すると、『感じている計(「感じている」)+(やや感じている)』では、「横浜」については、1.3ポイント低く、「磯子区」、「お住まいの地域」については、差が1ポイント未満となっている。

令和3年度調査



令和元年度調査



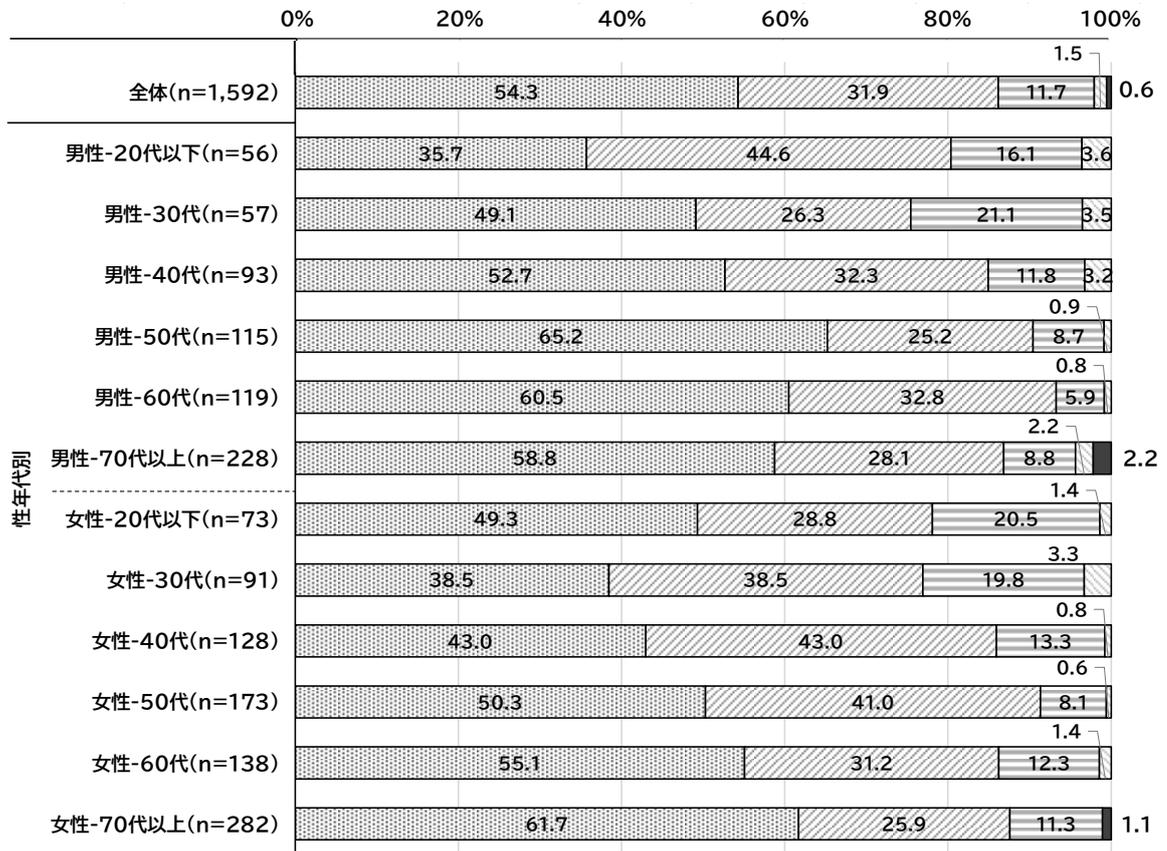
感じている
 やや感じている
 あまり感じている

まったく感じている
 無回答

<横浜に対して、愛着や誇り>

■ 性年代別 横浜への愛着や誇り

- ・ 性年代別では、男性の「感じている」は、50代までは増加傾向にあるが、50代を過ぎるとまた減少に転じる。
- ・ 女性の「感じている」は、30代以降は年代が上がるほど高くなる傾向にある。
- ・ 20代以下では女性の「感じている」が49.3%となっており、男性の35.7%より13.6ポイント高い。



感じている
 やや感じている
 あまり感じていない
 まったく感じていない
 無回答

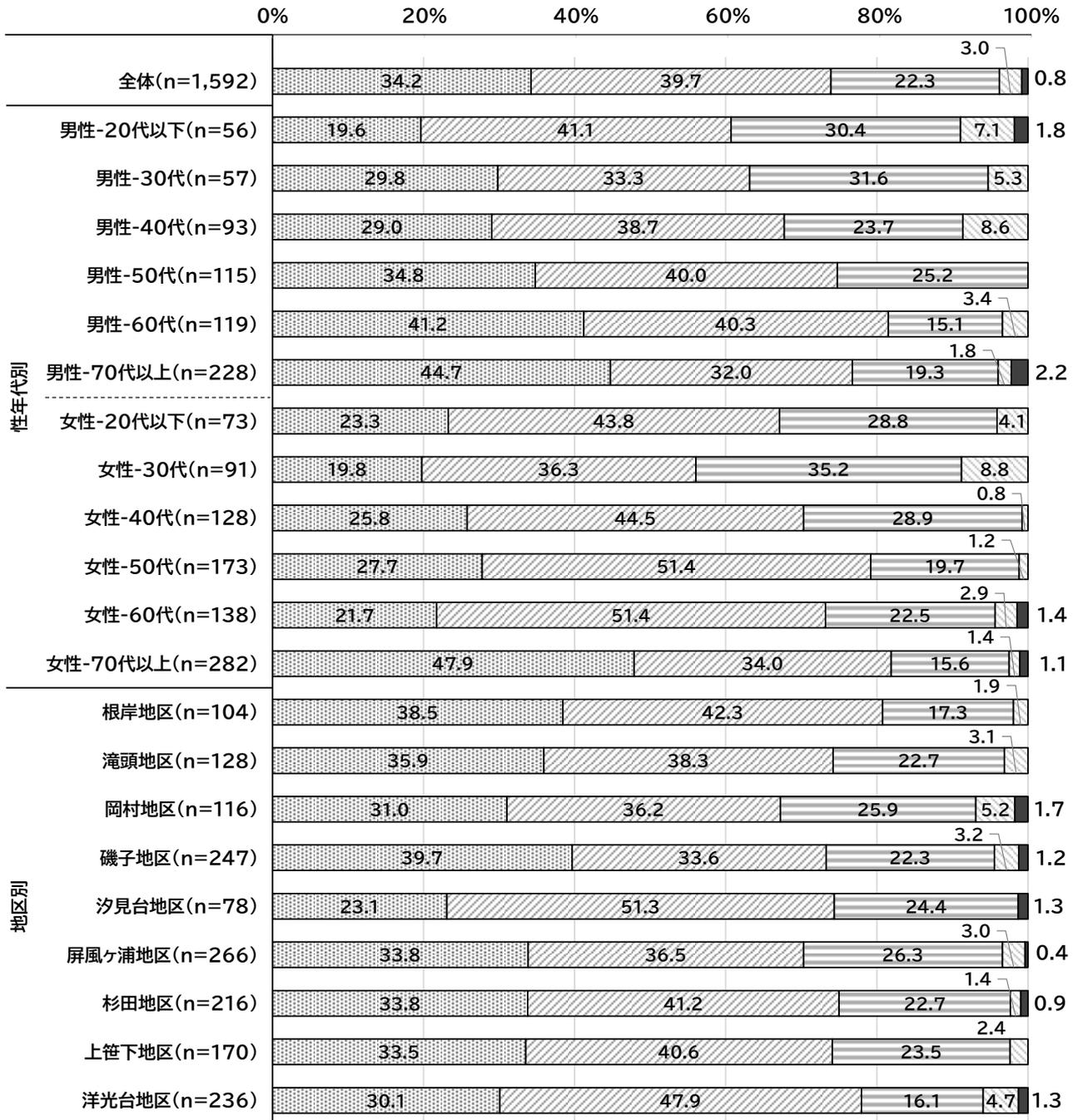
<磯子区に対して、愛着や誇り>

■ 性年代別 磯子区への愛着や誇り

- ・ 性年代別では、「感じている」の割合は、男性は年代が上がるほど高くなる傾向がある。女性は 70 代以上で特に高い。

■ 地区別 磯子区への愛着や誇り

- ・ 地区別では「感じている」が「磯子地区」で 39.7%と最も高くなっている。



感じている
 やや感じている
 あまり感じていない
 まったく感じていない
 無回答

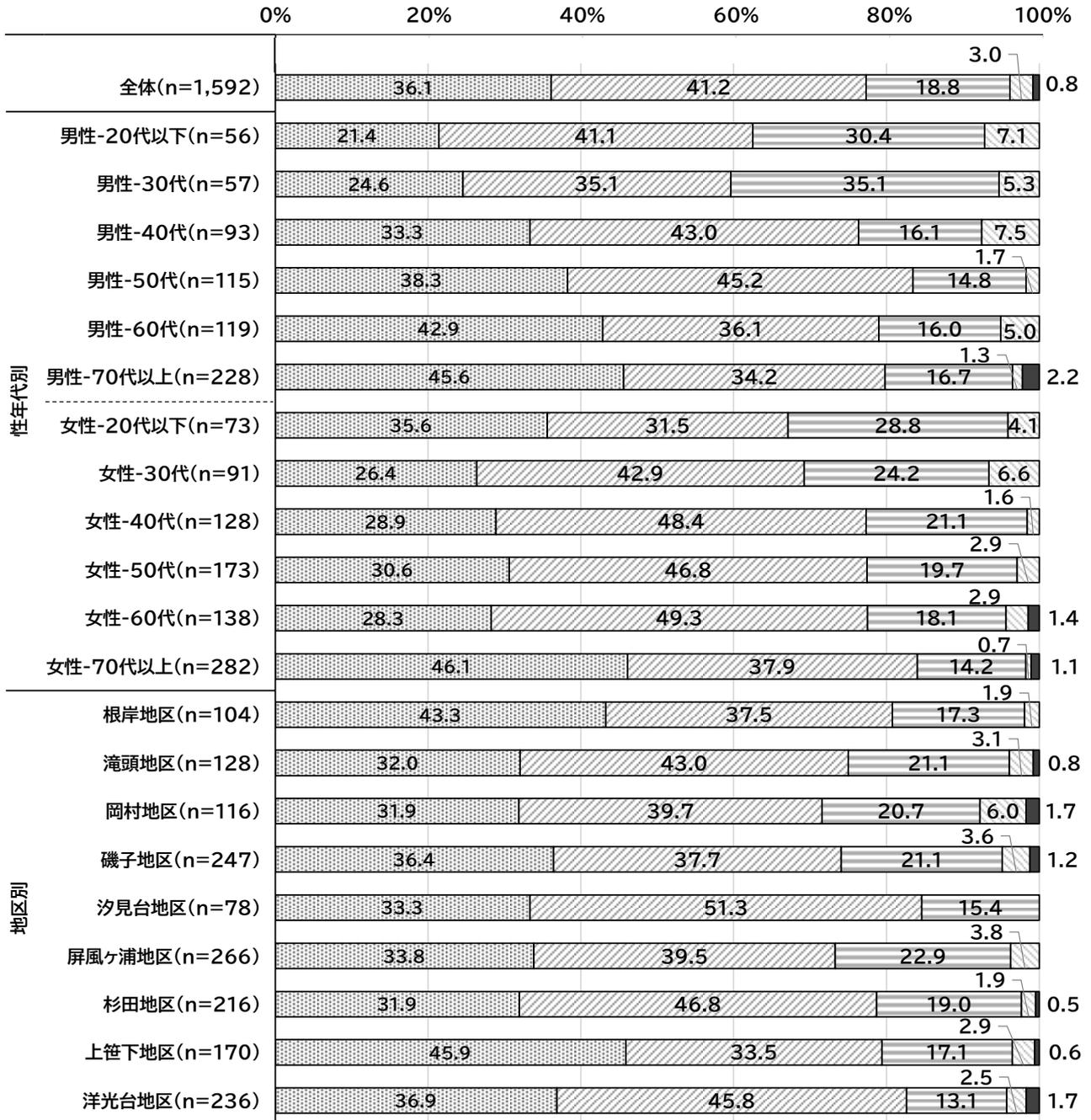
<お住まいの地域への愛着や誇り>

■ 性年代別 お住まいの地域への愛着や誇り

- ・ 性年代別では、「感じている」の割合は、男性は年代が上がるほど高くなる傾向がある。
- ・ 女性は70代以上で特に高い。

■ 地区別 お住まいの地域への愛着や誇り

- ・ 地区別では、「感じている」が「上笹下地区」で45.9%と最も高くなっている。



感じている

 やや感じている

 あまり感じていない

 まったく感じていない

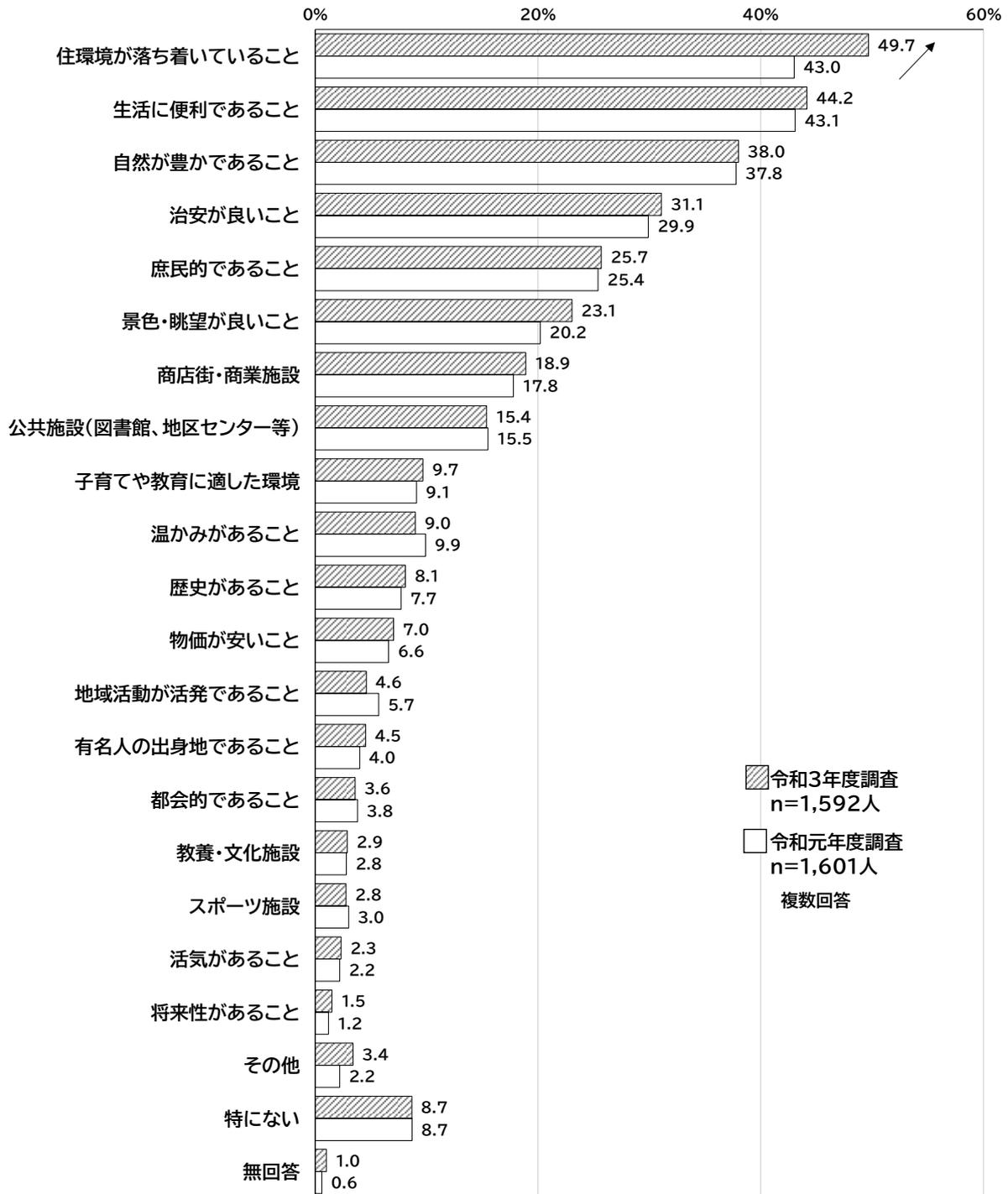
 無回答

(2) 磯子区の魅力

問9 磯子区の魅力は何だと思いますか。(複数回答)

「住環境が落ち着いていること」が49.7%で最も多い

- ・ 上位5項目は、「住環境が落ち着いていること」(49.7%)、「生活に便利であること」(44.2%)、「自然が豊かであること」(38.0%)、「治安が良いこと」(31.1%)、「庶民的であること」(25.7%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「住環境が落ち着いていること」が 6.7 ポイント上がり、「生活に便利であること」を抜いて1位になっている。



■ 性年代別 磯子区の魅力（複数回答）

- ・ 性年代別では、「治安が良いこと」は、「女性 20 代以下」で全体より高い。
- ・ 「景色・眺望が良いこと」は、「男性 50 代」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
住環境が落ち着いていること	49.7	-14.0	-0.6	-5.6	8.6	3.3	1.6	5.1	4.2	-2.8	2.3	-2.6	-0.7
生活に便利であること	44.2	-10.2	-2.1	-8.7	8.9	-1.3	8.0	-0.3	-12.3	-7.4	-6.0	-1.4	6.9
自然が豊かであること	38.0	-18.4	2.3	1.8	-1.5	7.4	1.0	-12.0	-0.6	-1.3	-0.4	0.4	4.6
治安が良いこと	31.1	-6.1	-10.0	-2.1	2.0	-3.4	1.4	11.4	-4.7	-1.4	-5.7	2.2	4.0
庶民的であること	25.7	-9.6	4.1	6.6	5.6	-6.4	-4.6	5.8	5.1	1.7	-0.8	1.8	-2.3
景色・眺望が良いこと	23.1	-8.8	-0.2	0.6	11.7	-1.2	1.9	-6.6	-5.5	-4.3	-2.8	0.1	2.8
商店街・商業施設	18.9	2.5	0.4	1.5	0.2	-2.9	2.1	-6.6	-0.2	-1.7	-1.6	-2.2	2.7
公共施設(図書館、地区センター等)	15.4	2.5	-6.6	-5.7	-5.0	0.6	6.5	1.0	-6.6	-4.5	-5.0	-3.1	7.0
子育てや教育に適した環境	9.7	-2.5	4.4	5.4	5.1	-3.0	1.7	-1.5	3.5	5.2	0.7	-5.3	-5.1
温かみがあること	9.0	-0.1	-3.7	0.7	-3.8	-0.6	-3.3	6.1	-4.6	-2.0	2.6	-1.0	4.5
歴史があること	8.1	-4.5	-2.8	-1.7	1.5	2.8	2.0	-2.6	-3.7	-2.6	-0.6	-3.0	2.9
物価が安いこと	7.0	-1.7	0.0	0.5	0.8	-2.0	0.0	-2.9	-0.4	-5.5	0.5	1.7	2.9
地域活動が活発であること	4.6	2.6	0.7	0.8	-2.8	-2.9	0.7	0.9	-4.6	-3.0	0.0	2.7	2.9
有名人の出身地であること	4.5	4.4	6.0	0.9	3.3	-0.3	-4.1	-0.4	-1.2	0.9	1.3	-0.9	-1.0
都会的であること	3.6	0.0	-1.8	3.9	1.6	1.5	2.1	-3.6	-2.5	-2.0	-2.4	-1.4	0.3
教養・文化施設	2.9	2.5	2.4	0.3	1.5	-1.2	1.1	-0.1	-1.8	-2.9	-0.6	-0.7	0.7
スポーツ施設	2.8	2.6	-1.0	0.5	-0.2	0.6	-0.1	-1.4	-1.7	-2.8	-1.0	-2.0	3.3
活気があること	2.3	1.2	-0.6	-1.2	1.2	-1.5	2.1	-2.3	-2.3	-0.8	-0.6	1.3	0.2
将来性があること	1.5	2.1	0.2	1.7	3.7	-0.7	0.2	-1.5	-0.4	-0.7	-0.4	-1.5	-0.8
特にない	8.7	7.4	-3.4	4.2	-0.8	-0.3	-3.0	-0.4	1.2	4.6	3.5	2.2	-4.8
その他	3.4	0.2	-1.6	3.1	0.1	-0.9	0.6	-0.7	-2.3	0.5	1.8	-1.2	-0.9

■ 地区別 磯子区の魅力（複数回答）

- ・ 地区別では、「住環境が落ち着いていること」は、「洋光台地区」、「汐見台地区」で全体より高い。
- ・ 「生活に便利であること」は、「根岸地区」、「杉田地区」で全体より高い。
- ・ 「自然が豊かであること」は、「汐見台地区」、「上笹下地区」、「岡村地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

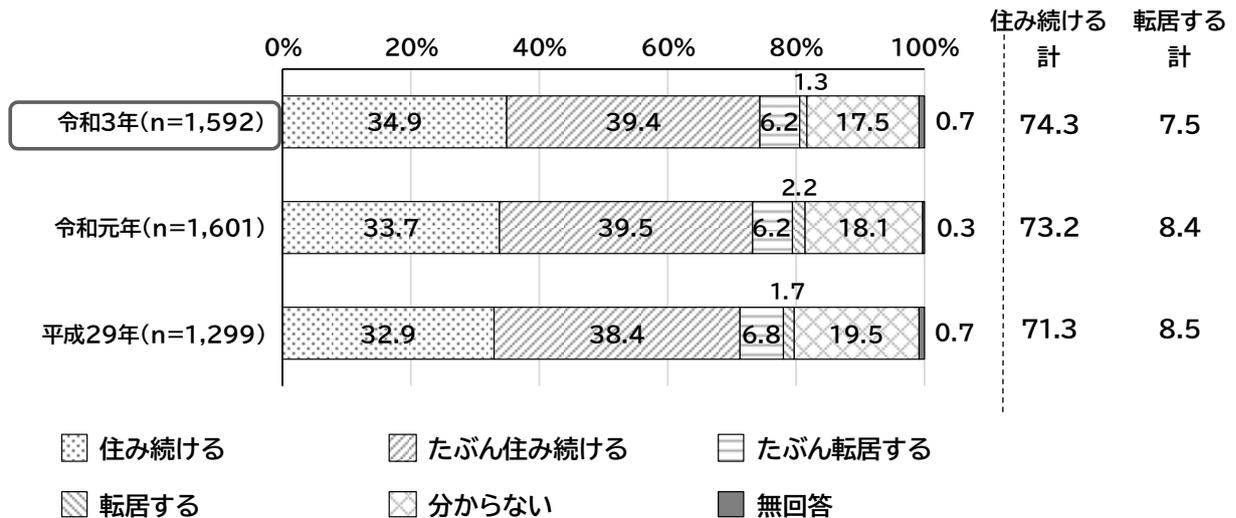
	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236	
住環境が落ち着いていること	49.7	-2.6	-8.3	-4.0	-1.9	10.6	-5.3	-7.1	2.7	18.5	
生活に便利であること	44.2	19.3	-2.0	-20.0	-1.2	-19.8	5.5	11.4	-12.4	2.0	
自然が豊かであること	38.0	-17.8	-2.1	12.0	-2.8	27.4	-5.3	-10.2	12.6	4.8	
治安が良いこと	31.1	11.2	-3.0	-5.2	5.3	-2.9	-7.8	-7.0	0.7	9.2	
庶民的であること	25.7	10.8	4.0	0.2	-3.4	-11.6	-3.9	16.0	-8.6	-5.4	
景色・眺望が良いこと	23.1	-4.8	-5.9	1.9	7.3	19.3	-1.2	-1.8	-0.1	-6.1	
商店街・商業施設	18.9	-5.4	1.4	-9.4	-2.7	-17.6	-0.5	21.8	-6.6	0.6	
公共施設(図書館、地区センター等)	15.4	2.9	3.4	-8.5	7.7	-9.0	5.3	0.4	-4.2	-6.5	
子育てや教育に適した環境	9.7	2.8	-1.1	-1.9	-1.2	10.8	-2.5	-3.2	-0.3	4.7	
温かみがあること	9.0	5.4	5.9	3.9	-0.1	-5.1	-2.2	-1.6	-4.9	1.6	
歴史があること	8.1	1.5	3.6	1.4	-0.4	-5.5	0.2	2.1	-0.5	-3.4	
物価が安いこと	7.0	-4.2	0.0	-3.6	-1.0	-4.5	0.9	13.8	-5.9	-3.6	
地域活動が活発であること	4.6	0.2	2.4	2.3	-0.9	-2.0	-1.6	-1.3	0.7	1.8	
有名人の出身地であること	4.5	-3.6	11.1	8.4	-1.3	-2.0	-2.3	-1.3	-2.2	-1.6	
都会的であること	3.6	1.2	3.5	-0.1	-0.7	-2.3	-0.9	-0.3	-1.8	0.7	
教養・文化施設	2.9	-1.0	1.0	-2.0	2.0	-0.3	-0.6	-0.1	-1.1	0.9	
スポーツ施設	2.8	1.1	0.4	-1.0	0.9	-2.8	-0.5	2.8	-0.4	-1.9	
活気があること	2.3	-2.3	0.8	0.3	-1.1	-2.3	-0.1	5.1	-1.7	-1.9	
将来性があること	1.5	-0.5	0.1	0.2	0.5	-0.2	-1.1	0.8	-0.3	0.2	
特にない	8.7	0.0	4.6	2.5	0.6	-2.3	2.2	-1.7	0.7	-4.9	
その他	3.4	0.5	-1.8	2.6	2.7	0.5	-0.8	-0.6	-1.6	-1.7	

(3) 定住意向

問 10 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると 74.3%が住み続ける意向

- ・ 「住み続ける」(34.9%)と「たぶん住み続ける」(39.4%)を合わせた『住み続ける計』は 74.3%となっている。
- ・ 一方、「転居する」(1.3%)と「たぶん転居する」(6.2%)を合わせた『転居する計』は 7.5%である。
- ・ 経年で比較すると、『住み続ける計』は増加傾向にあり、『転居する計』は減少傾向にある。

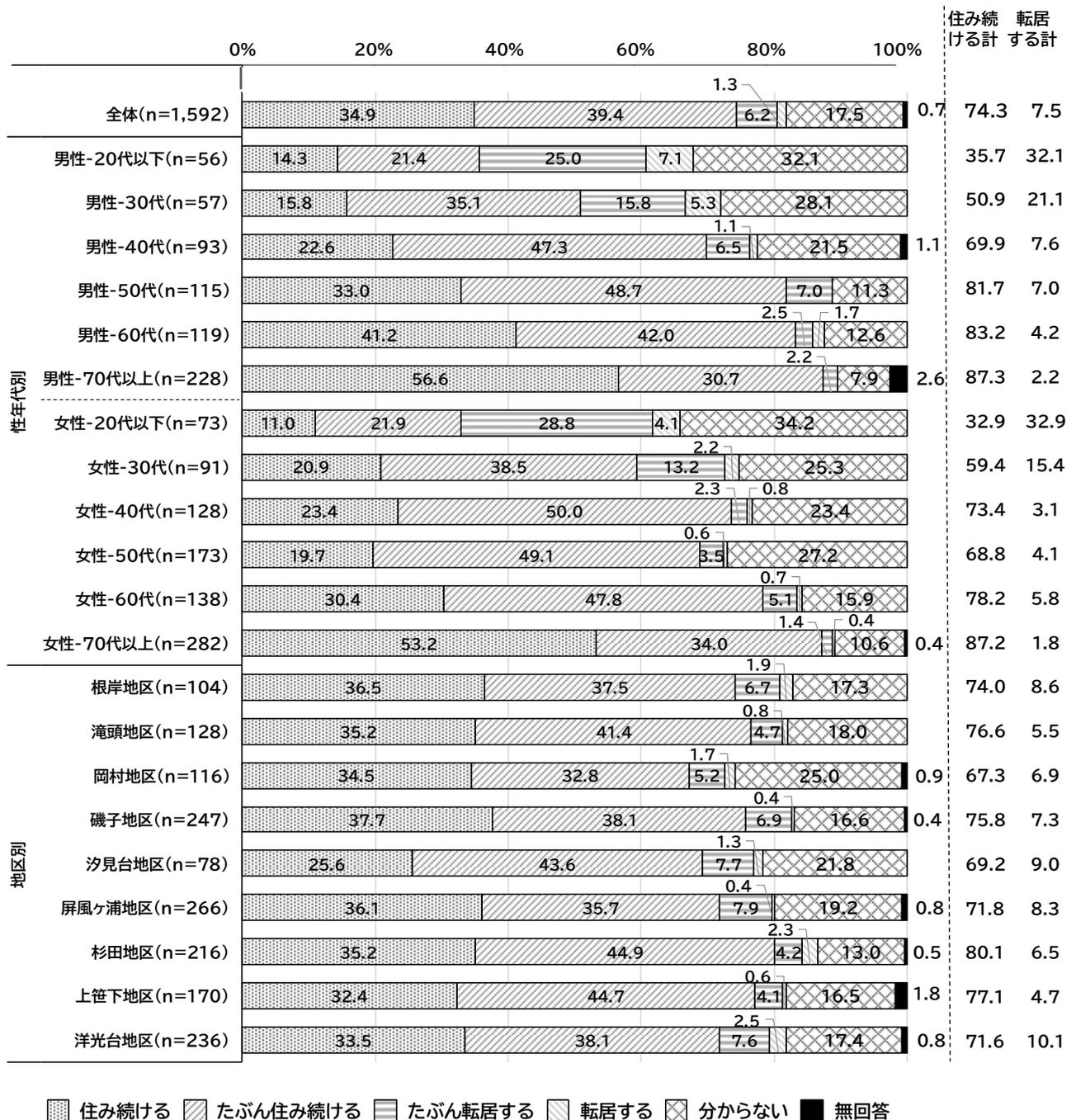


■ 性年代別 磯子区への定住意向

- ・ 性年代別では、男性、女性ともに年代が上がるほど「住み続ける」が高くなる傾向がある。

■ 地区別 磯子区への定住意向

- ・ 地区別では、「杉田地区」で、『住み続ける計』が 80.1%と最も多い。

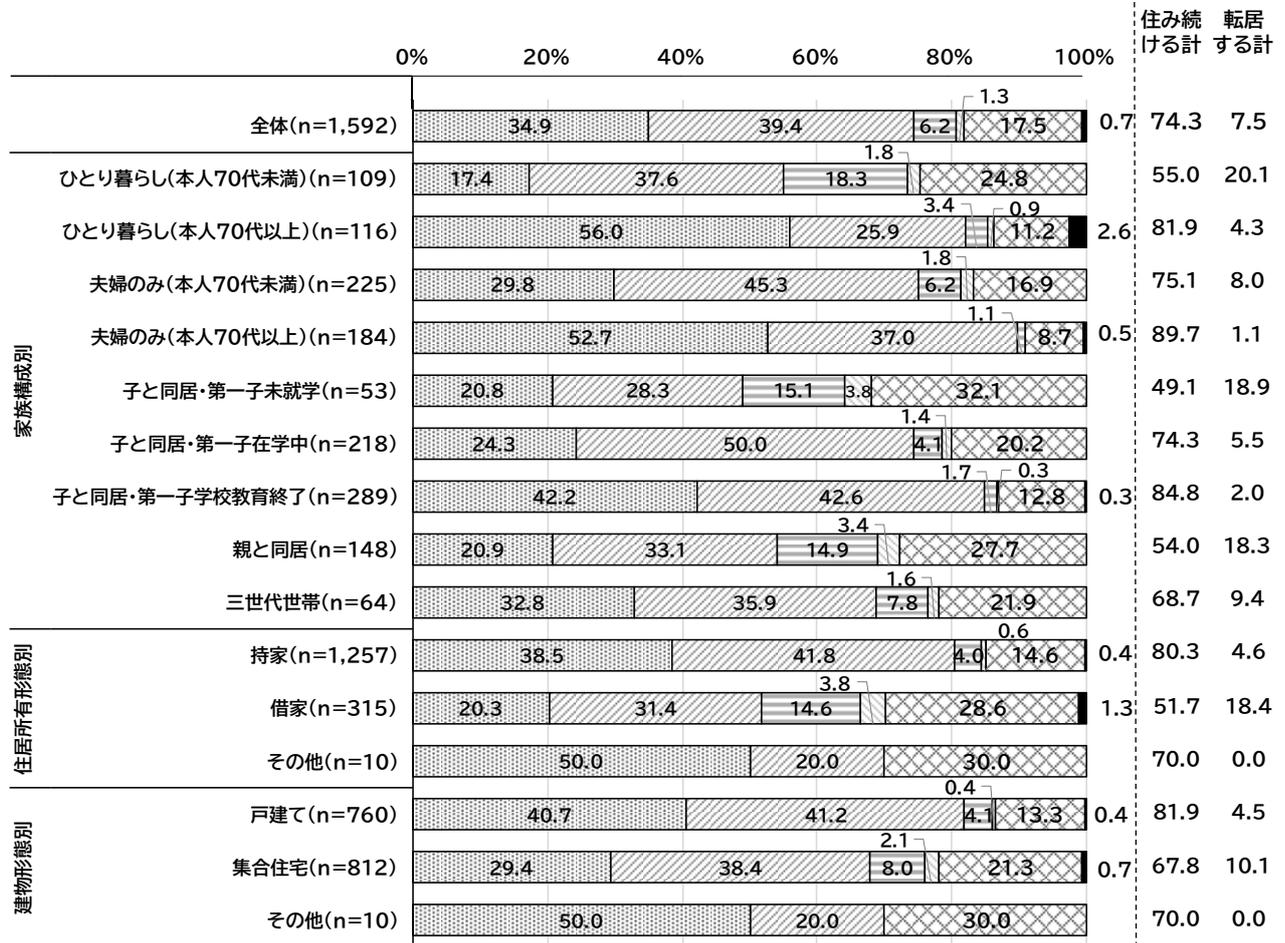


■ 家族構成別 磯子区への定住意向

- ・ 家族構成別では、「夫婦のみ(本人 70 代以上)」、「子と同居・第一子学校教育終了」、「ひとり暮らし(本人 70 代以上)」で、『住み続ける計』が8割を超える。

■ 住居所有形態別・建物形態別 磯子区への定住意向

- ・ 住居所有形態別では「持家」で、建物形態別では「戸建て」で、『住み続ける計』が8割を超える。



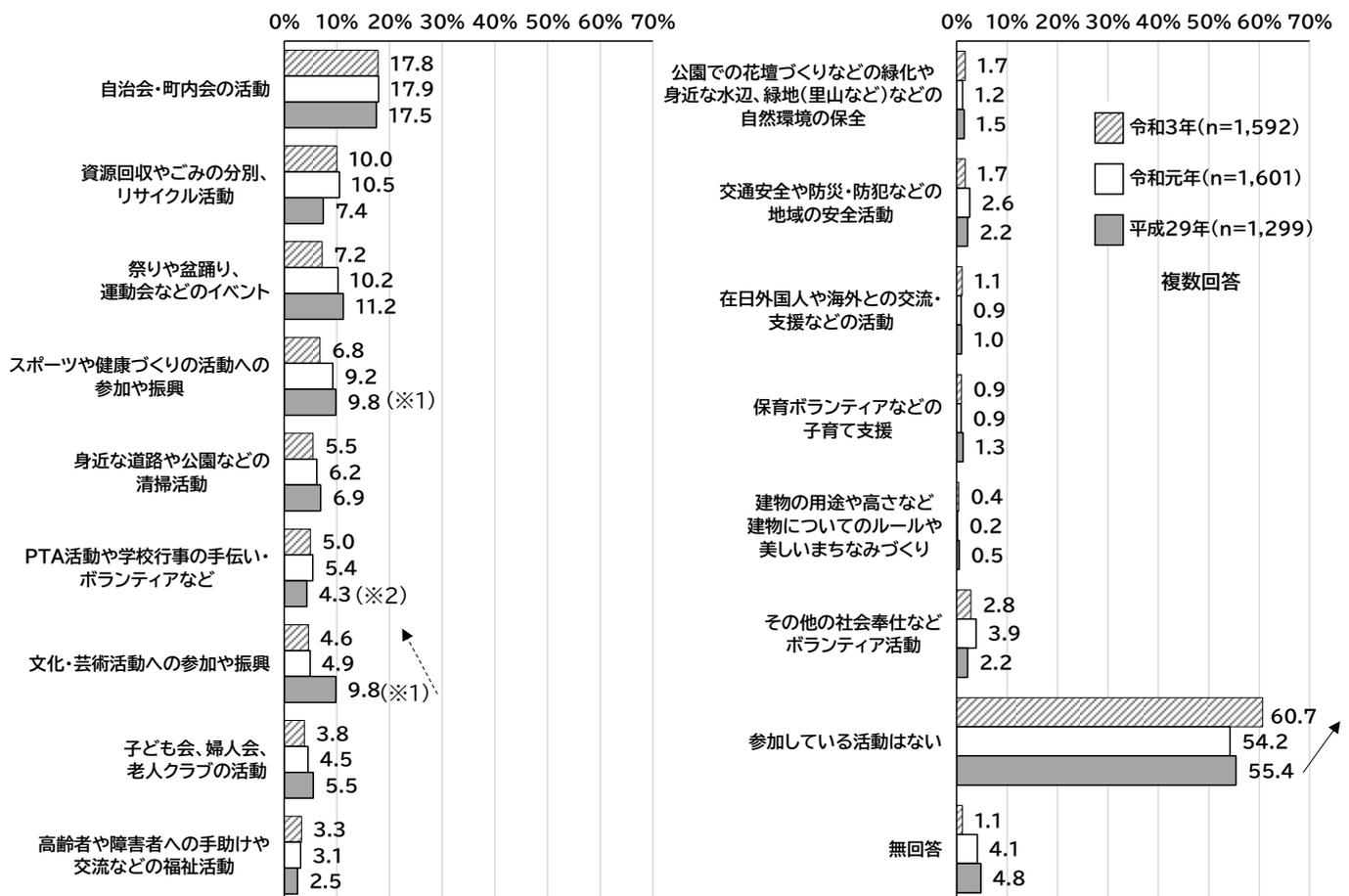
住み続ける
 たぶん住み続ける
 たぶん転居する
 転居する
 分からない
 無回答

(4) 活動への参加

問 11 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(複数回答)

「自治会・町内会の活動」が 17.8%で最も多い

- 「自治会・町内会の活動」が 17.8%で最も多く、次いで「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(10.0%)、「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」(7.2%)、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」(6.8%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(5.5%)の順となっている。
- 一方、「参加している活動はない」は 60.7%で、無回答(1.1%)を除く 38.2%の方は何らかの活動をしている。
- 経年で比較すると、ほとんどの活動で、ほぼ同じ又は減少傾向となっており、「参加している活動はない」は増加傾向となっている。



(※1) 平成29年調査では「文化・芸術・スポーツの参加や振興」としてまとめて聴取
 (※2) 平成29年調査では「PTA活動」として聴取

■ 性年代別 参加している活動（複数回答）

- ・ 性年代別では、「PTA活動や学校行事の手伝い・ボランティアなど」は、「女性 40代」で全体より高い。
- ・ 「参加している活動はない」では、全ての年代で女性より男性の割合が高く、男性、女性ともに年代が下がる割合が高くなる傾向がある。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

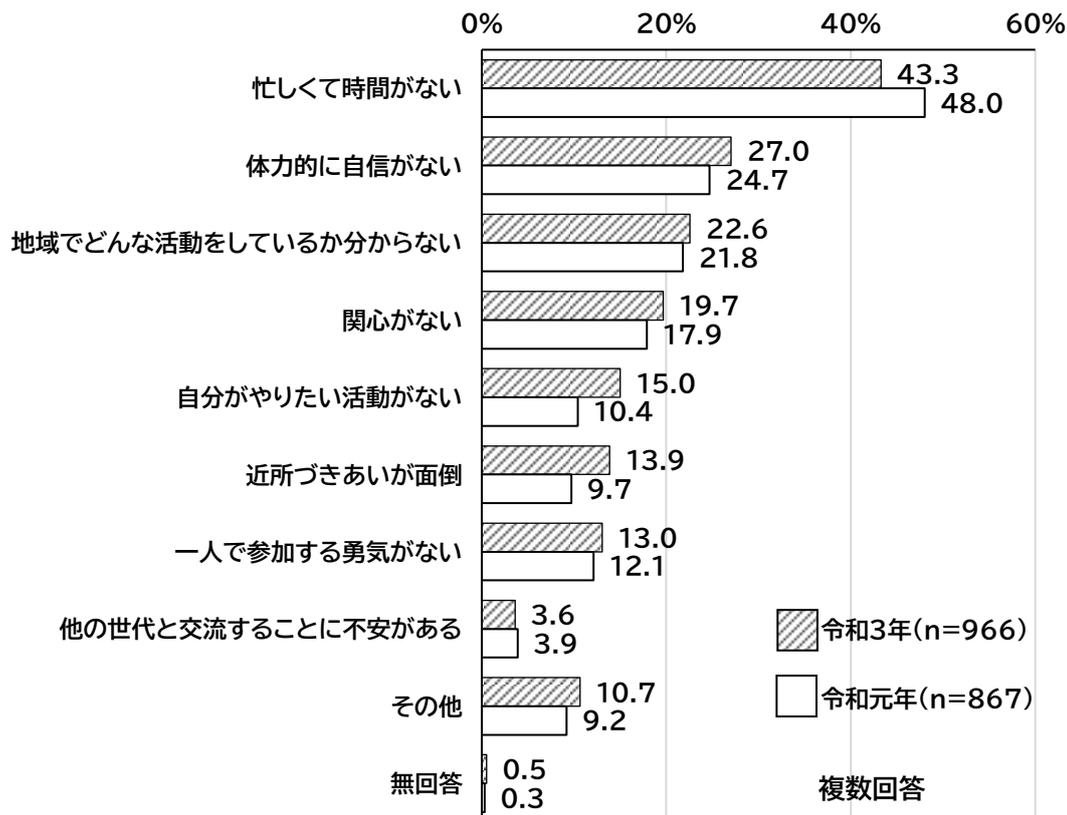
	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
自治会・町内会の活動	17.8	-17.8	-9.1	-1.7	-3.1	1.5	0.6	-16.5	-7.9	4.0	3.0	2.5	7.0
資源回収やごみの分別、リサイクル活動	10.0	1.1	-3.0	-3.5	-0.4	-7.5	-3.0	-3.1	-0.1	7.2	7.4	2.3	-0.4
祭りや盆踊り、運動会などのイベント	7.2	-3.6	1.6	2.5	-1.1	-3.0	-1.5	-1.7	4.9	5.3	-1.4	-0.6	-0.4
スポーツや健康づくりの活動	6.8	-1.4	-3.3	-2.5	-3.3	-0.1	0.7	-4.0	-3.5	-2.9	-2.2	1.2	7.0
身近な道路や公園などの清掃活動	5.5	-3.7	-5.5	-4.4	-2.9	-2.1	3.3	-5.5	-2.2	-3.1	2.0	3.2	2.7
PTA活動や学校行事の手伝い・ボランティアなど	5.0	-5.0	-3.2	3.6	0.3	-4.1	-4.1	-3.6	3.8	13.5	3.7	-5.0	-2.8
文化・芸術活動への参加や振興	4.6	-4.6	-2.8	-2.4	-1.1	-1.2	1.6	0.9	-0.2	-2.2	1.2	2.7	0.4
子ども会、婦人会、老人クラブの活動	3.8	-3.8	-2.1	-1.7	-3.0	-3.8	1.4	-2.5	1.7	5.5	-1.5	-3.8	3.3
高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	3.3	0.3	-3.3	-2.2	-2.4	-2.4	2.4	-3.3	-2.2	-3.3	0.2	-1.1	4.9
その他の社会奉仕などボランティア活動	2.8	-2.8	0.7	-1.8	-0.2	-0.3	-0.2	1.3	-2.8	-1.3	-1.1	0.1	2.5
公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)などの自然環境の保全	1.7	-1.7	-1.7	-0.6	-1.7	-0.9	2.3	-0.3	-1.7	-1.7	-0.5	-1.0	2.2
交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	1.7	-1.7	-1.7	-0.6	0.9	1.7	0.1	-0.3	-0.6	-0.9	0.6	0.5	0.1
在日外国人や海外との交流・支援などの活動	1.1	-1.1	0.7	1.1	-0.2	-1.1	-0.2	0.3	1.1	-0.3	1.2	0.4	-0.4
保育ボランティアなどの子育て支援	0.9	-0.9	-0.9	-0.9	-0.1	-0.9	-0.9	0.4	-0.9	1.4	0.2	2.7	0.1
建物の用途や高さなど建物についてのルール	0.4	-0.4	-0.4	-0.4	0.4	-0.4	0.4	-0.4	-0.4	0.3	-0.4	-0.4	0.3
参加している活動はない	60.7	21.5	13.0	4.9	5.4	6.5	0.7	13.8	5.3	-13.0	-4.6	-4.9	-6.8

問 11-1 問 11 で「16 参加している活動はない」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-1-1 あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(複数回答)

「忙しくて時間がない」(43.3%) が最も多い

- ・ 「忙しくて時間がない」が 43.3% で最も多く、他の理由より 15 ポイント以上高い。次いで「体力的に自信がない」(27.0%)、「地域でどんな活動をしているか分からない」(22.6%)、「関心がない」(19.7%)、「自分がやりたい活動がない」(15.0%) の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「自分がやりたい活動がない」と「近所づきあいが面倒」が約 4 ポイント増加しており、「忙しくて時間がない」が約 5 ポイント減少している。



■ 性年代別 活動に参加していない理由（複数回答）

- ・ 性年代別では、「忙しくて時間がない」は、男性、女性ともに 50 代以下で全体より高い。
- ・ 「体力に自信がない」は、男性、女性ともに 70 代以上で全体より高い。
- ・ 「女性 20 代以下」では「地域でどんな活動をしているか分からない」が、「男性 20 代以下」では「関心がない」が、他と比べて高くなっている。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

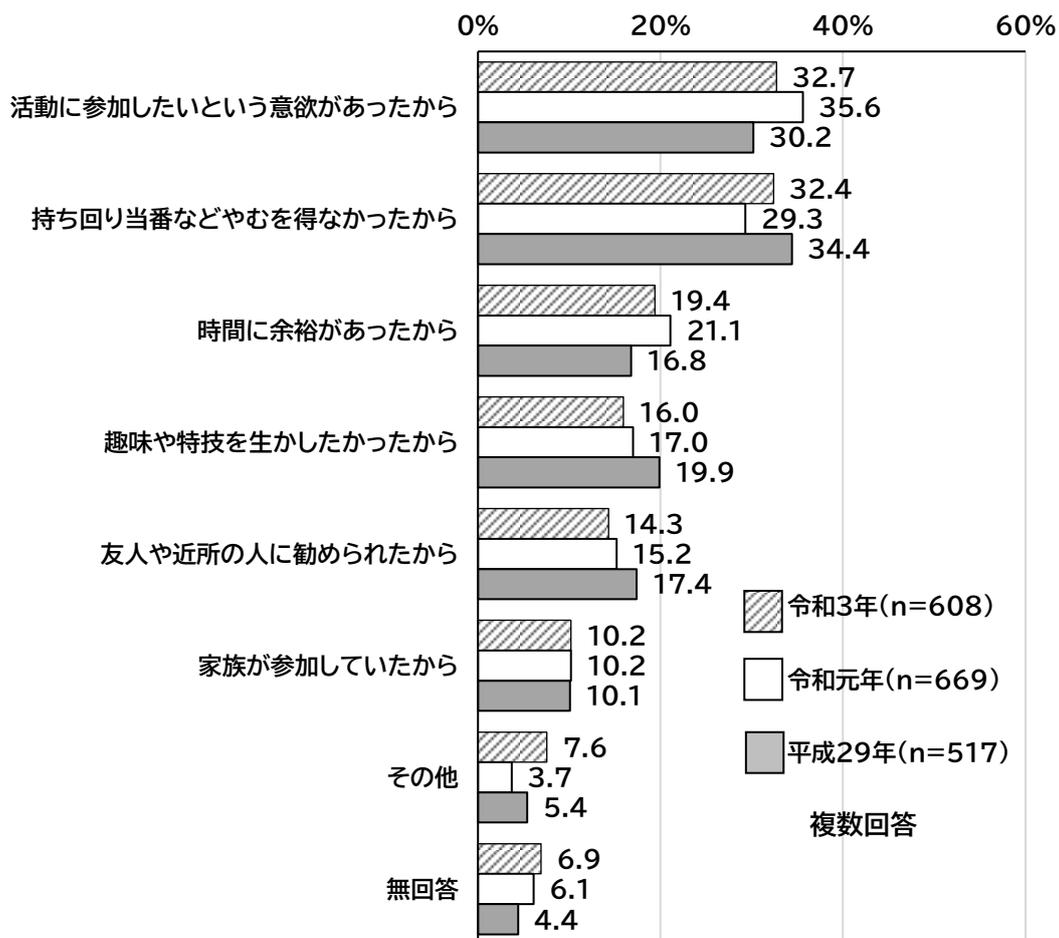
	n=	全体 (%)	男性					女性						
			20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
忙しくて時間がない	966	43.3	15.4	18.6	12.5	19.9	3.0	-29.0	22.2	28.4	15.7	18.6	-6.9	-31.4
体的に自信がない		27.0	-22.7	-19.9	-18.8	-20.4	-13.3	23.7	-13.2	-15.4	-15.5	-6.4	3.0	33.5
地域でどんな活動をしているか分からない		22.6	-0.8	3.4	10.2	-0.2	2.4	-7.6	10.2	5.8	6.9	-1.9	0.8	-3.8
関心がない		19.7	17.3	3.9	9.8	0.1	6.6	-0.4	6.2	2.0	1.6	-6.3	-1.5	-12.4
自分がやりたい活動がない		15.0	3.9	4.0	3.0	3.7	2.5	2.8	-1.2	-1.7	-0.3	-6.8	-2.0	-6.5
近所づきあいが面倒		13.9	3.5	0.4	0.9	3.2	2.4	-2.4	1.6	6.1	5.8	-2.5	5.6	-7.3
一人で参加する勇気がない		13.0	2.2	-3.5	1.7	3.0	-1.8	-3.8	9.4	-3.0	-3.2	4.5	-0.1	-4.5
他の世代と交流することに不安がある		3.6	-1.4	3.5	1.3	3.0	0.1	-2.9	3.4	-0.3	-2.0	-3.6	1.6	-0.3
その他		10.7	-3.5	-10.7	-4.1	-9.3	-3.2	5.8	-3.8	-5.7	-4.1	0.7	2.3	10.4

問 11-2 問 11 で「1」～「15」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-2-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(複数回答)

「活動に参加したいという意欲があったから」(32.7%)と「持ち回り当番などやむを得なかったから」(32.4%)が上位2項目

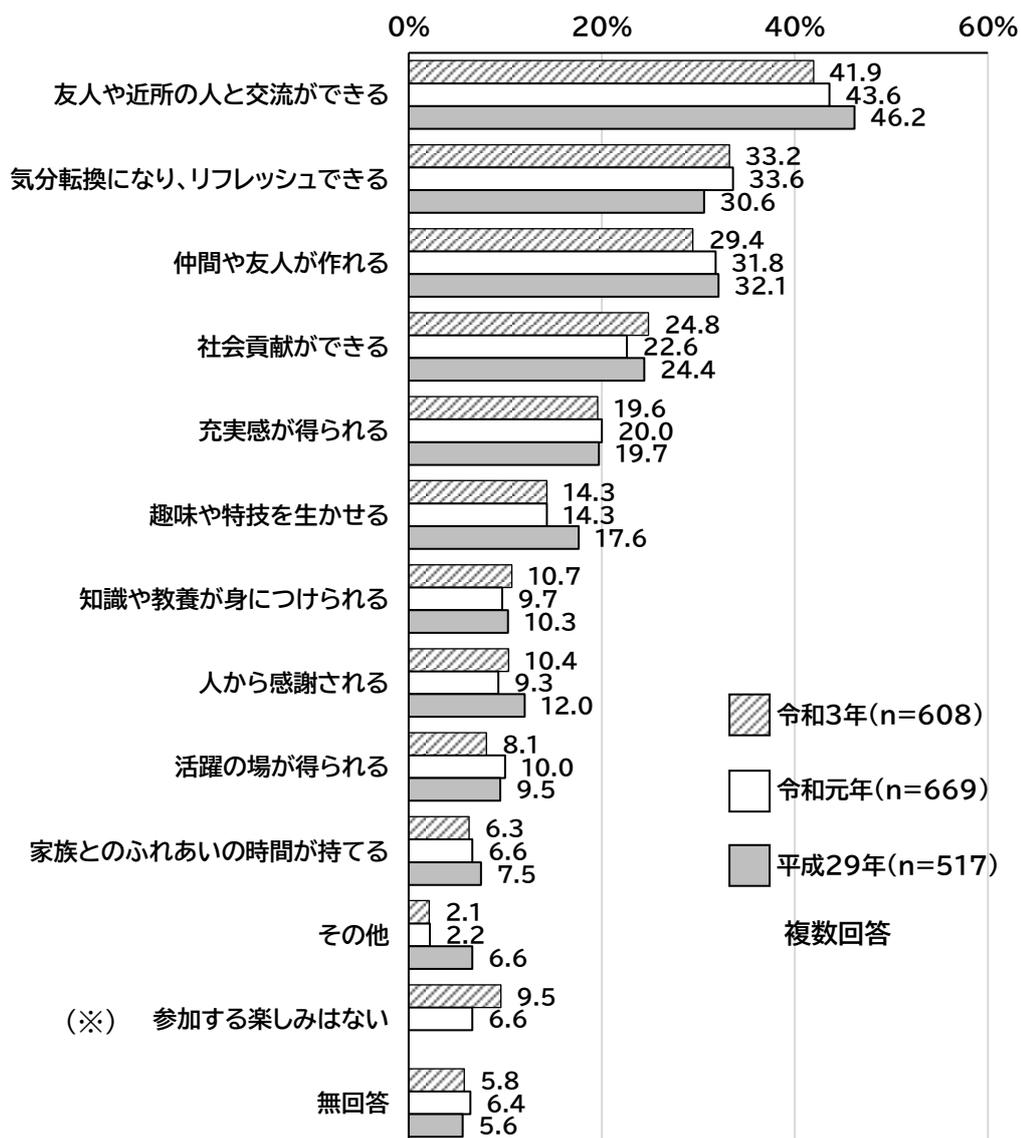
- ・ 「活動に参加したいという意欲があったから」が 32.7%で最も多く、次いで「持ち回り当番などやむを得なかったから」(32.4%)、「時間に余裕があったから」(19.4%)、「趣味や特技を生かしたかったから」(16.0%)、「友人や近所の人に勧められたから」(14.3%)の順となっている。



問 11-2-2 活動に参加する楽しみは何ですか。(複数回答)

「友人や近所の人と交流ができる」が41.9%が最も多い

- ・ 「友人や近所の人と交流ができる」が 41.9%で最も多く、次いで「気分転換になり、リフレッシュできる」(33.2%)、「仲間や友人が作れる」(29.4%)、「社会貢献ができる」(24.8%)、「充実感が得られる」(19.6%)の順となっている。

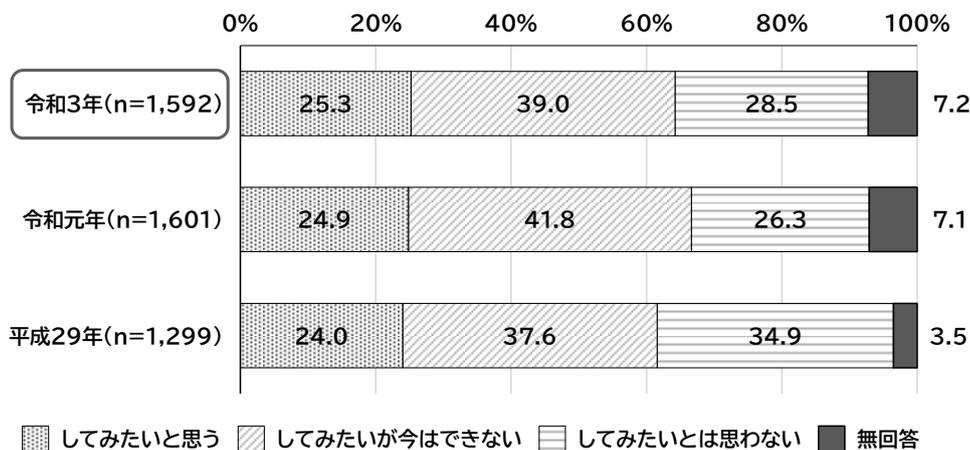


(※) 平成29年調査では選択肢「参加する楽しみはない」はない

問 12 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(〇は1つ)

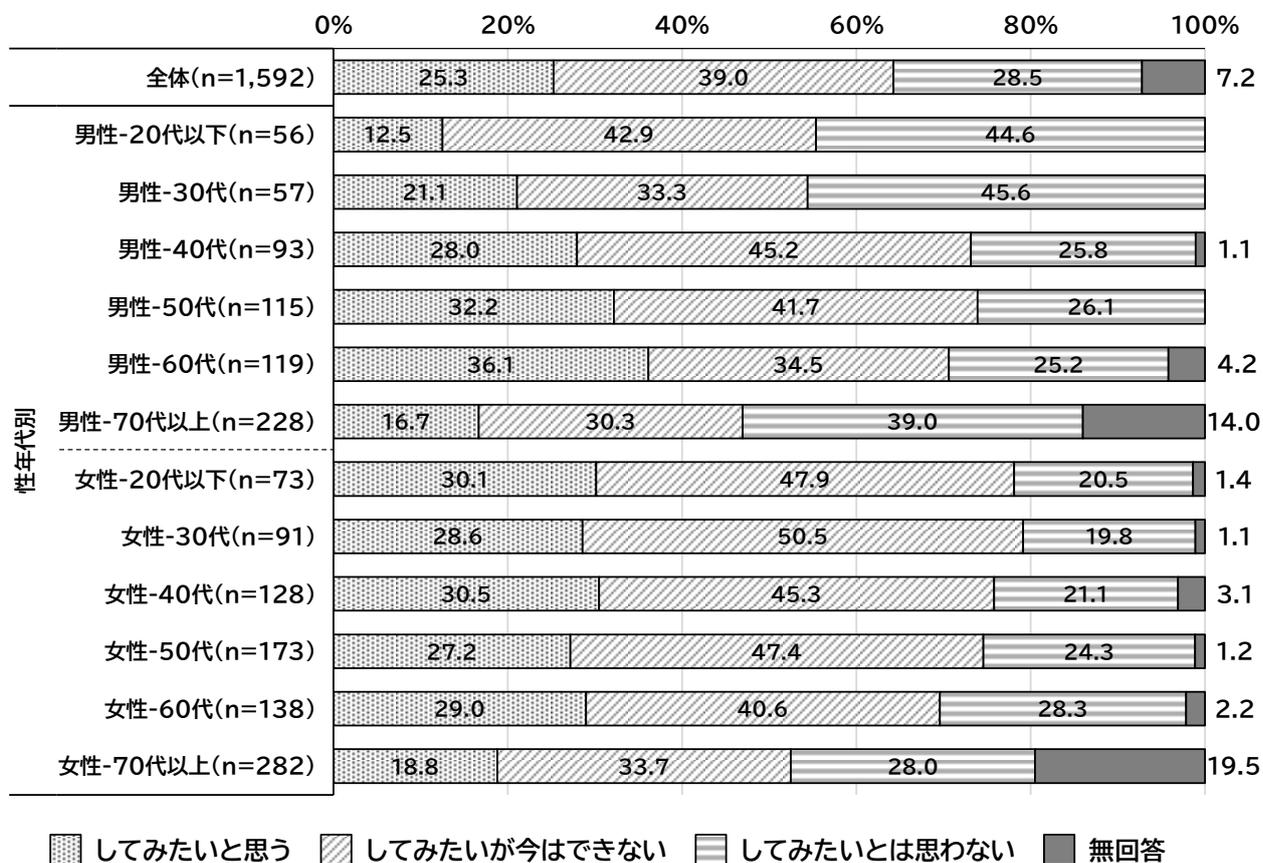
「してみたいが今はできない」が 39.0%で最も多い

- ・ 「してみたいが今はできない」が 39.0%で最も多く、次いで「してみたいとは思わない」(28.5%)、「してみたいと思う」(25.3%)の順となっている。



■ 性年代別 地域や社会に役立つ活動への参加意向

- ・ 性年代別では、男性では70代以上を除き、年代が上がるほど「してみたいと思う」が高くなっている。
- ・ 一方、「してみたいとは思わない」は男性の30代以下で4割以上、70代以上で39.0%と割合が高くなっている。

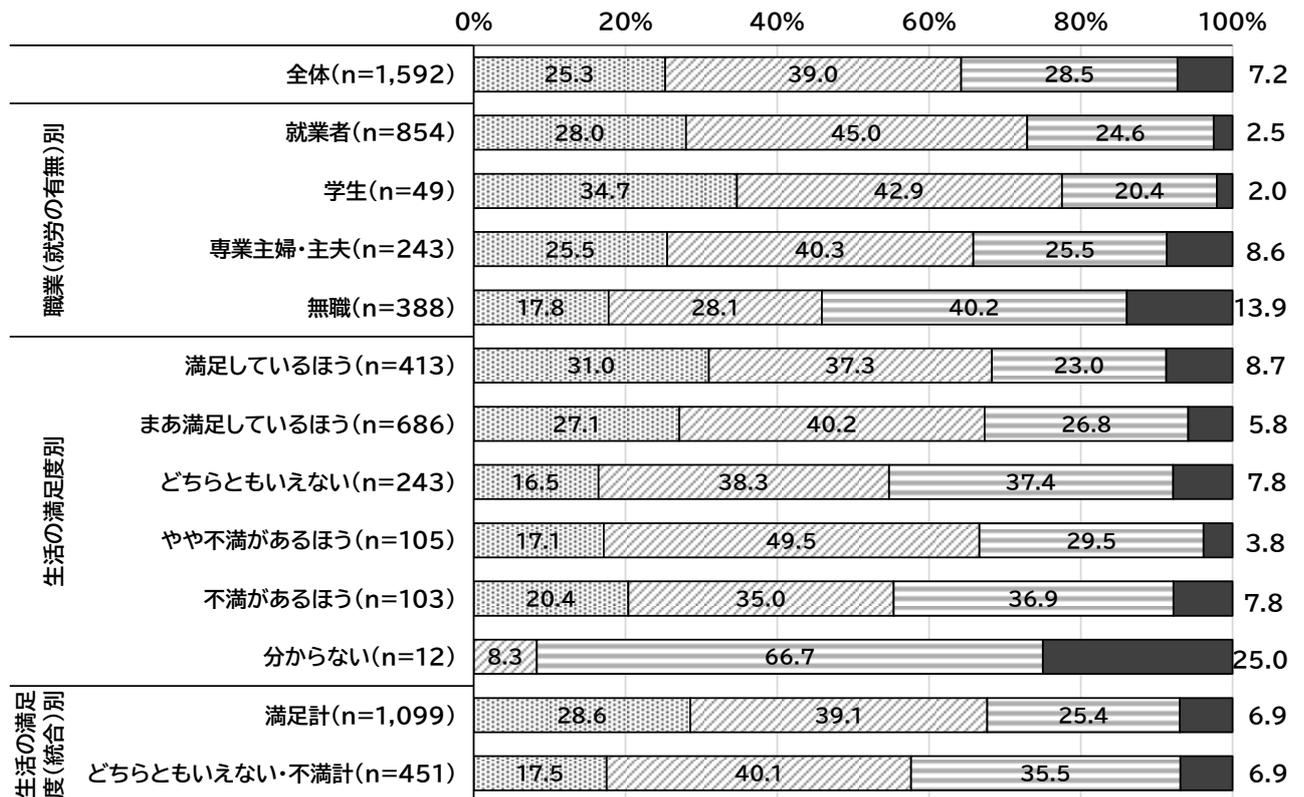


■ 職業(就労の有無)別 地域や社会に役立つ活動への参加意向

- ・ 職業(就労の有無)別では、「してみたいと思う」は、「学生」が 34.7%と最も高く、次いで「就業者」(28.0%)、「専業主婦・主夫」(25.5%)の順となっている。

■ 生活の満足度(統合)別 地域や社会に役立つ活動への参加意向

- ・ 生活の満足度(統合)別では、「してみたいと思う」は、『満足計』が 28.6%、『どちらともいえない・不満計』が 17.5%で、『満足計』が 10 ポイント以上高くなっている。



してみたいと思う

 してみたいが今はできない

 してみたいとは思わない

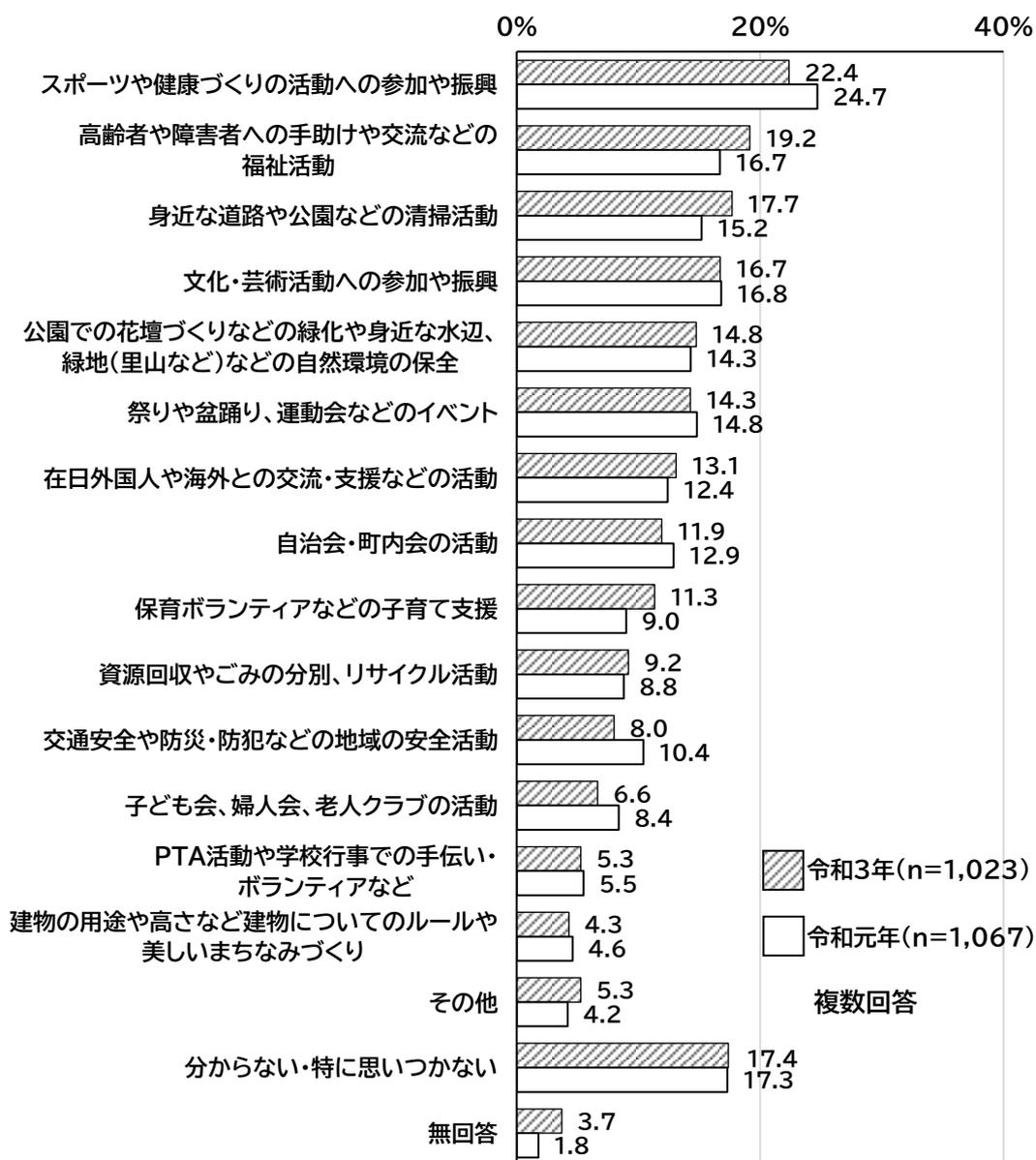
 無回答

問 12 で「1」、「2」と答えた方にお伺いします。

問 12-1 どのような活動であれば参加できますか。(複数回答)

「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が 22.4%で最も多い

- ・ 「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が 22.4%で最も多く、次いで「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」(19.2%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(17.7%)、「文化・芸術活動への参加や振興」(16.7%)の順となっている。一方、「分からない・特に思いつかない」は 17.4%となっている。



■ 性年代別 参加できる活動（複数回答）

- ・ 性年代別では、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」は、「男性 20 代以下」で全体より高い。
- ・ 「身近な道路や公園などの清掃活動」は、「男性 30 代」で全体より高い。
- ・ 「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」は、男性、女性ともに 30 代以下で全体より高い。

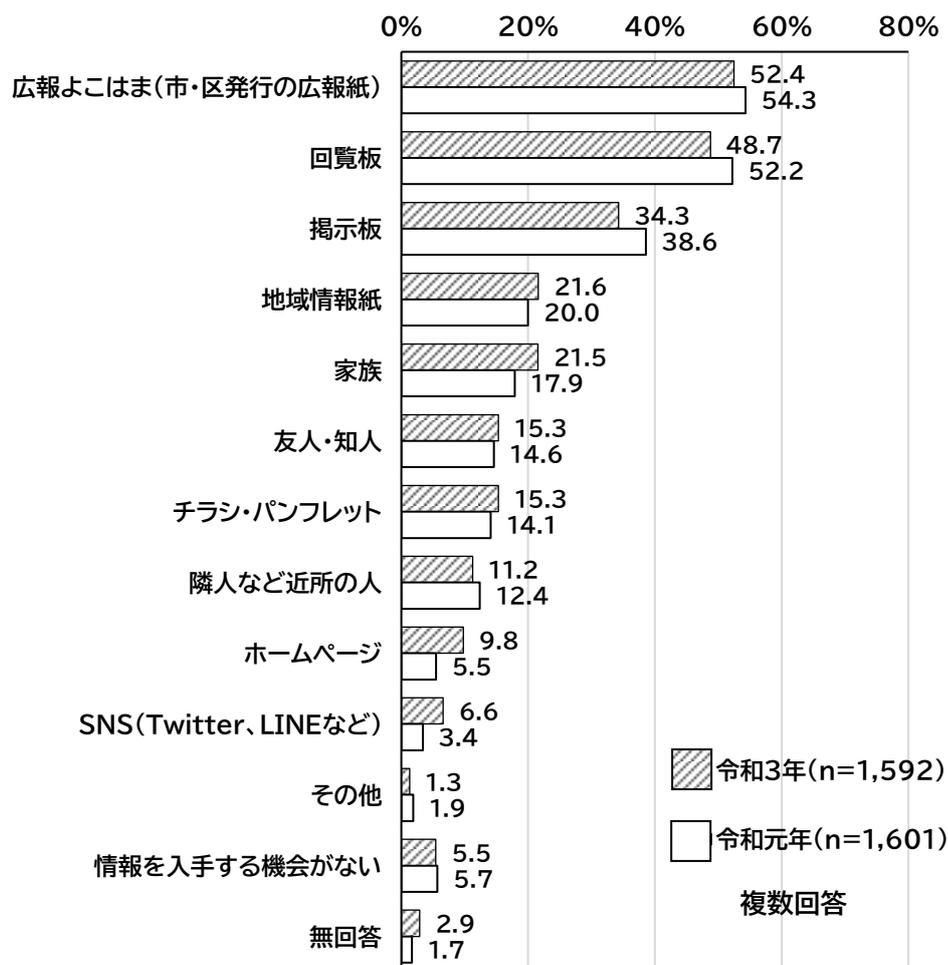
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,023	31	31	68	85	84	107	57	72	97	129	96	148
スポーツや健康づくりの活動への参加や振興	22.4	13.1	6.6	7.0	1.1	8.6	-4.6	0.4	-7.1	-1.8	-4.6	-0.5	-0.1
高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	19.2	-3.0	-6.3	-7.4	-9.7	-4.9	-7.0	5.4	-5.3	5.6	8.7	6.9	3.1
身近な道路や公園などの清掃活動	17.7	1.7	4.6	5.8	4.7	6.1	-2.7	-0.1	0.4	-4.3	-6.8	-3.1	1.2
文化・芸術活動への参加や振興	16.7	9.1	2.6	-3.5	2.1	1.1	-1.8	0.8	-2.8	-1.3	-1.2	8.3	-3.2
公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)などの自然環境の保全	14.8	-1.9	1.4	4.4	5.2	6.7	-1.7	-7.7	4.7	-5.5	0.0	1.9	-3.9
祭りや盆踊り、運動会などのイベント	14.3	8.0	1.5	9.3	1.0	-3.6	-8.7	22.6	19.1	4.3	-8.1	-7.0	-11.6
在日外国人や海外との交流・支援などの活動	13.1	3.0	9.5	0.1	8.1	2.4	-6.6	16.7	-4.8	2.4	2.4	-3.7	-9.7
自治会・町内会の活動	11.9	-5.5	4.2	2.8	-1.3	0.0	4.9	-10.2	-5.0	1.5	-3.4	-0.5	4.3
保育ボランティアなどの子育て支援	11.3	-8.1	4.8	-1.0	-7.8	-6.6	-10.4	4.5	10.9	15.5	4.9	2.2	-6.6
資源回収やごみの分別、リサイクル活動	9.2	6.9	6.9	1.1	2.6	-0.9	-3.6	6.6	-2.2	0.1	0.1	-4.0	-1.8
交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	8.0	4.9	1.3	0.8	9.6	1.5	-2.4	0.8	-2.5	0.2	-2.6	-2.8	-4.6
子ども会、婦人会、老人クラブの活動	6.6	-3.4	3.0	-2.2	-4.3	-5.5	2.7	3.9	12.8	0.6	-2.8	-5.6	2.1
PTA活動や学校行事での手伝い・ボランティアなど	5.3	4.4	0.9	-5.3	0.6	-1.7	-4.3	3.5	10.0	9.2	-2.2	-5.3	-4.6
建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	4.3	2.2	8.6	0.1	5.1	1.7	0.4	1.0	-1.5	-0.2	-1.2	-1.2	-4.3
分からない・特に思いつかない	17.4	-4.5	-1.3	0.2	2.6	-4.3	7.8	-5.1	-4.9	-3.0	3.5	1.4	0.8
その他	5.3	4.4	-2.1	-5.3	-1.7	-1.7	0.3	-3.5	-1.1	-3.2	0.9	-2.2	8.2

問 13 あなたは地域の活動に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答)

「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」が52.4%で最も多い

- ・ 「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」が 52.4%で最も多く、次いで「回覧板」(48.7%)、「掲示板」(34.3%)、「地域情報紙」(21.6%)、「家族」(21.5%)の順となっている。
- ・ 一方、「情報を入手する機会がない」は 5.5%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「家族」、「ホームページ」、「SNS(Twitter、LINE など)」で増加しており、「回覧板」、「掲示板」で減少している。



■ 性年代別 地域活動の情報を得る媒体（複数回答）

- ・ 性年代別では、「広報よこはま(市・区発行の広報紙)」、「回覧板」、「掲示板」、「地域情報紙」では、年代が上がるほど多く挙げられる傾向にあり、「家族」、「ホームページ」、「SNS(Twitter、LINE など)」では年代が下がるほど多く挙げられる傾向にある。
- ・ 「情報を入手する機会がない」は、「男性 20 代以下」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
広報よこはま(市・区発行の広報紙)	52.4	-45.3	-24.4	-3.0	-2.0	6.4	5.0	-38.8	-17.3	3.0	8.2	17.8	11.0
回覧板	48.7	-34.5	-17.2	-7.9	0.8	2.5	3.4	-17.2	-8.1	0.5	6.7	3.4	10.5
掲示板	34.3	-20.0	-15.0	-2.0	4.8	-3.2	5.6	-11.0	5.3	1.6	-0.2	2.7	2.9
地域情報紙	21.6	-16.3	-11.1	-3.3	-2.5	6.1	2.5	-13.4	-7.3	-2.9	3.2	7.4	3.9
家族	21.5	23.1	6.5	9.6	8.0	3.7	1.3	22.3	0.4	-3.6	-9.4	-12.1	-5.6
友人・知人	15.3	-2.8	-1.3	-5.6	-4.0	-11.1	-3.5	-1.6	2.3	10.5	-0.3	2.8	4.9
チラシ・パンフレット	15.3	-6.4	-8.3	1.9	2.1	-1.0	2.7	-5.7	-4.3	1.9	-0.9	2.8	1.0
隣人など近所の人	11.2	-4.1	-0.7	-0.5	-1.7	-2.0	-2.5	-4.4	-2.5	-0.3	-0.3	-1.8	8.3
ホームページ	9.8	-0.9	6.0	5.3	5.9	3.6	-5.0	-2.9	6.7	1.9	5.2	0.3	-7.7
SNS(Twitter、LINEなど)	6.6	5.9	10.9	3.1	3.8	-2.4	-6.2	5.7	5.5	5.9	0.3	-0.8	-5.5
情報を入手する機会がない	5.5	23.1	3.3	7.4	1.5	2.1	-2.0	8.2	1.1	-1.6	-3.2	-4.7	-4.4
その他	1.3	2.3	-1.3	-0.2	0.4	-1.3	1.8	0.1	0.9	-0.5	-0.7	-0.6	-1.0

3. 生活環境について

(1) 生活環境(満足度)

問 14 現在のお住まいの周辺的环境にどの程度満足していますか。

交通環境や住環境などの都市整備、行政サービスに関する項目は比較的満足度が高く、衛生・福祉・商業に関する項目は満足度が低い傾向

- 『満足計(「満足」+「やや満足」)』が、『不満計(「やや不満」と「不満」)』より高くなっているのは、22項目中18項目である。(「お住まいの周辺の総合的な環境」を除く。)
- 『不満計』が『満足計』より高くなっているのは、「商店街の振興」、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」、「地球温暖化への対策」、「経済的に困っている人の支援」の4項目である。
- 「お住まいの周辺の総合的な環境」については、「やや満足」が50.8%で最も多く、『満足計』が『不満計』を大きく上回っている。



■ 性年代別 生活環境(満足度)

<満足計(「満足」+「やや満足」)>

- ・ 性年代別では、「バスの便などの地域交通」は、男性、女性ともに、70代以上で全体より満足度が高い。
- ・ 「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、男性、女性ともに20代以下で全体より満足度が高い。
- ・ 「公園の管理、整備」は、女性より男性のほうが満足度の割合が高い傾向にある。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	65.6	-4.9	-4.2	1.0	9.1	3.3	4.5	-1.3	4.7	-0.8	-5.5	3.2	-2.2
バスの便などの地域交通	61.4	4.6	-1.8	-10.9	-3.2	-1.8	9.6	3.0	0.1	-2.1	-16.3	0.2	10.2
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	60.0	13.2	1.4	-4.1	5.2	0.5	-3.8	15.4	-3.9	0.2	-2.2	-4.9	4.2
公園の管理、整備	56.7	2.2	9.9	6.7	6.8	1.3	-2.3	0.8	0.4	-0.5	-4.7	2.0	-1.4
緑の保全と緑化の推進	52.8	-1.0	5.1	5.2	2.0	4.3	-2.4	3.8	1.0	1.9	-3.7	0.8	-2.1
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	49.4	-2.9	1.5	4.4	12.4	1.0	-5.5	5.4	0.1	4.5	-1.4	4.3	-3.3
防犯対策	35.7	3.6	-4.1	-4.5	2.6	2.1	2.0	-2.8	-3.8	0.3	-5.6	3.5	0.5
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	35.4	11.1	3.2	-3.1	2.0	-0.9	-1.2	15.3	-1.3	6.8	0.5	-2.0	-4.5
身近な住民窓口サービス	32.9	-11.4	0.5	-0.6	0.2	-0.9	1.8	1.4	-3.7	6.2	-1.1	5.6	0.1
災害対策	32.5	3.2	-4.4	-5.6	4.0	-2.2	-3.5	5.9	3.8	5.8	-2.4	3.2	-0.9
商店街の振興	30.2	9.1	4.9	-5.5	2.8	-6.7	-5.7	20.5	-0.5	4.2	-1.9	-2.7	1.0
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	28.5	-10.7	1.3	-4.9	0.2	4.3	0.0	0.2	-3.7	4.3	1.0	7.0	0.9
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	28.0	11.3	3.6	-9.7	-1.1	0.6	0.1	13.1	0.6	5.4	-3.7	3.9	-4.3
高齢者福祉	26.4	-8.6	-17.7	-12.5	0.5	4.6	5.6	-0.4	-7.8	0.1	-6.2	3.3	9.4
感染症・生活習慣病など保健推進	24.3	-1.1	-6.8	-7.1	-0.8	-1.6	-2.8	5.8	-3.4	6.2	1.1	9.0	-0.2
子育て支援や青少年の健全育成	24.1	-4.4	-1.3	2.8	-0.6	-1.4	-1.3	-0.8	10.0	13.4	-0.4	4.2	-7.7
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	24.0	-0.8	4.1	-2.5	11.7	2.1	-2.5	11.6	-4.2	6.5	0.3	2.1	-3.4
食品衛生・環境衛生の監視・指導	22.9	-1.4	-1.8	-0.3	1.5	0.7	0.8	4.5	-2.0	3.7	-6.1	3.2	-0.9
地域活動支援	20.5	-2.7	0.5	-4.4	-2.3	-2.9	-0.8	3.2	0.3	6.0	-0.3	3.4	-1.0
障害者福祉	19.1	-1.2	-6.8	-5.1	2.6	0.2	1.5	1.5	-3.7	3.6	-1.2	5.5	-1.4
地球温暖化への対策	17.9	0.0	-2.1	1.5	0.4	-0.3	-2.6	3.1	3.0	4.8	-3.5	5.3	-2.7
経済的に困っている人の支援	12.2	0.3	-3.5	-0.4	-1.8	-1.3	0.9	2.8	0.9	4.2	-0.7	2.2	-1.6
お住まいの周辺の総合的な環境	62.9	-2.2	-3.3	3.7	5.8	-2.4	-4.6	9.7	3.0	5.0	0.1	2.3	-1.2

■ 地区別 生活環境(満足度)

<満足計(「満足」+「やや満足」)>

- ・ 地区別では、「洋光台地区」、「汐見台地区」、「根岸地区」で、全体より満足度の高い項目が多い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、「根岸地区」、「滝頭地区」、「洋光台地区」で全体より満足度が高い。
- ・ 「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」は、「汐見台地区」、「洋光台地区」で全体より満足度が高い。

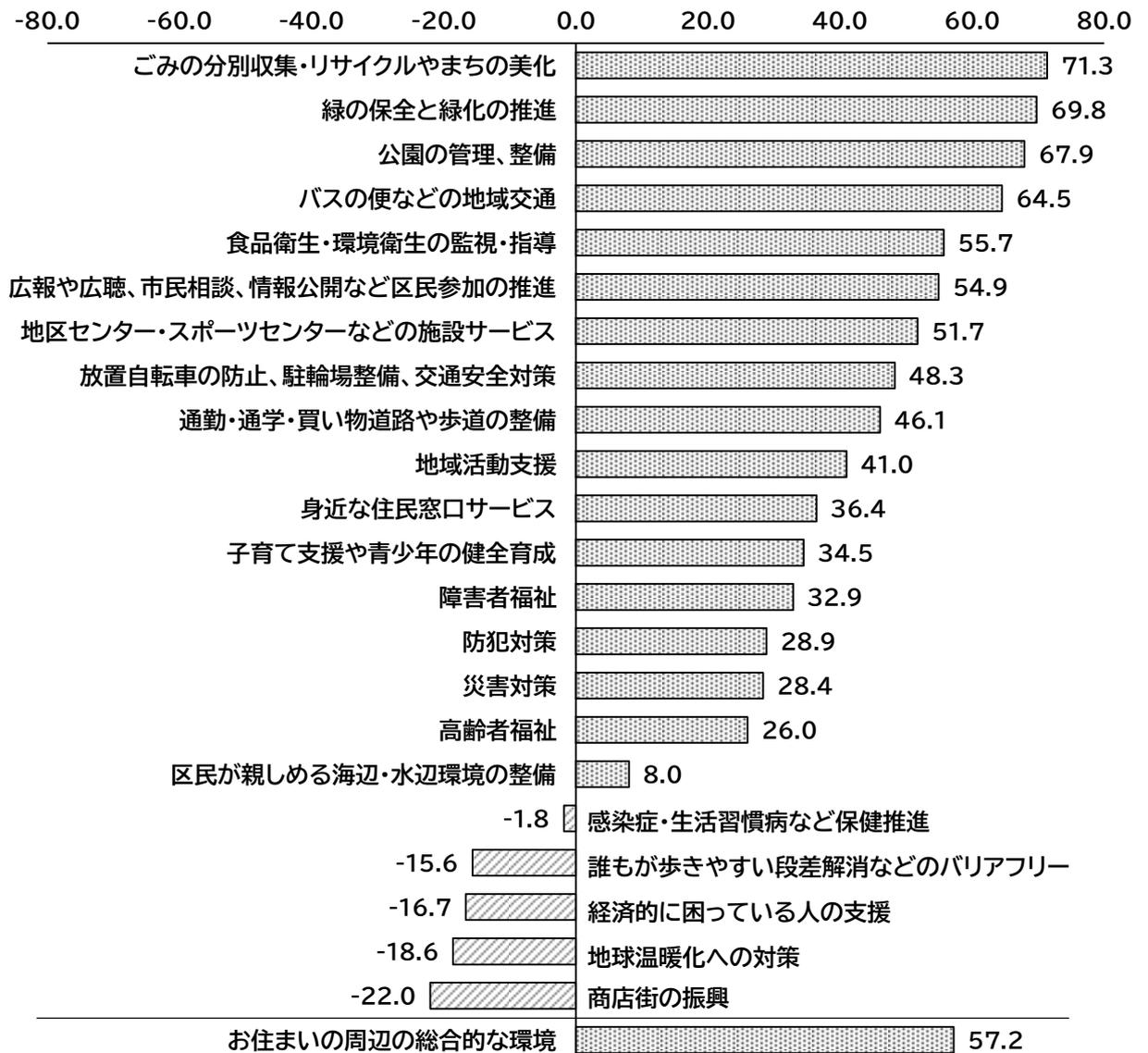
※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	65.6	-4.1	-9.4	-0.1	1.6	4.9	-2.1	-0.4	-5.1	13.2	
バスの便などの地域交通	61.4	16.5	9.7	-1.4	2.5	-8.9	-5.4	-6.3	-4.4	8.9	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	60.0	10.2	4.1	-22.9	3.2	-1.0	-5.9	-6.7	3.0	16.3	
公園の管理、整備	56.7	-1.0	-3.6	-0.2	-1.7	12.5	-7.5	2.1	-0.8	13.6	
緑の保全と緑化の推進	52.8	-9.6	-1.3	-8.0	2.6	10.0	-5.1	-9.3	4.2	16.2	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	49.4	-0.3	-8.7	-8.3	3.3	4.5	-1.3	0.2	4.7	10.4	
防犯対策	35.7	1.8	1.8	-7.2	-0.1	4.1	-1.5	-6.0	2.0	7.5	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	35.4	2.1	6.0	-2.1	-1.0	0.5	1.1	2.1	2.3	0.2	
身近な住民窓口サービス	32.9	-2.1	-1.6	-7.9	5.2	8.2	3.6	-6.5	3.0	-1.9	
災害対策	32.5	0.2	0.3	-1.8	2.3	8.6	-5.8	-2.8	5.2	6.1	
商店街の振興	30.2	-9.1	-14.6	-0.4	-5.1	-12.3	-2.4	16.5	1.0	13.9	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	28.5	-3.5	3.5	-7.0	3.5	-1.6	2.3	-3.5	-1.5	4.1	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	28.0	-1.1	-3.8	-9.9	2.3	4.0	0.9	-6.3	-2.1	11.0	
高齢者福祉	26.4	5.3	1.7	-8.3	3.1	-2.1	-3.5	-1.4	0.6	4.1	
感染症・生活習慣病など保健推進	24.3	6.5	-1.7	-7.9	1.6	1.3	-2.5	-3.0	-0.2	6.2	
子育て支援や青少年の健全育成	24.1	10.6	0.2	-6.0	-1.8	8.0	1.5	-2.8	-1.7	1.4	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	24.0	1.0	-1.3	-9.3	3.5	1.6	-2.6	7.0	-2.2	-0.7	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	22.9	7.9	-0.2	-6.5	1.8	1.5	-2.9	-2.5	0.7	3.8	
地域活動支援	20.5	2.5	3.7	-3.3	0.9	5.1	-0.2	-6.2	-1.7	4.0	
障害者福祉	19.1	3.0	0.4	-7.0	2.8	2.7	-1.8	-1.5	-2.0	2.9	
地球温暖化への対策	17.9	1.3	-3.1	-2.4	1.9	3.9	-2.1	1.5	0.8	0.7	
経済的に困っている人の支援	12.2	3.1	0.3	-1.0	3.5	3.1	-1.7	-2.1	-0.5	-0.8	
お住まいの周辺の総合的な環境	62.9	-2.4	-7.5	-9.0	1.0	2.7	0.6	-1.4	-1.2	14.2	

■ 生活環境(満足度) 加重平均

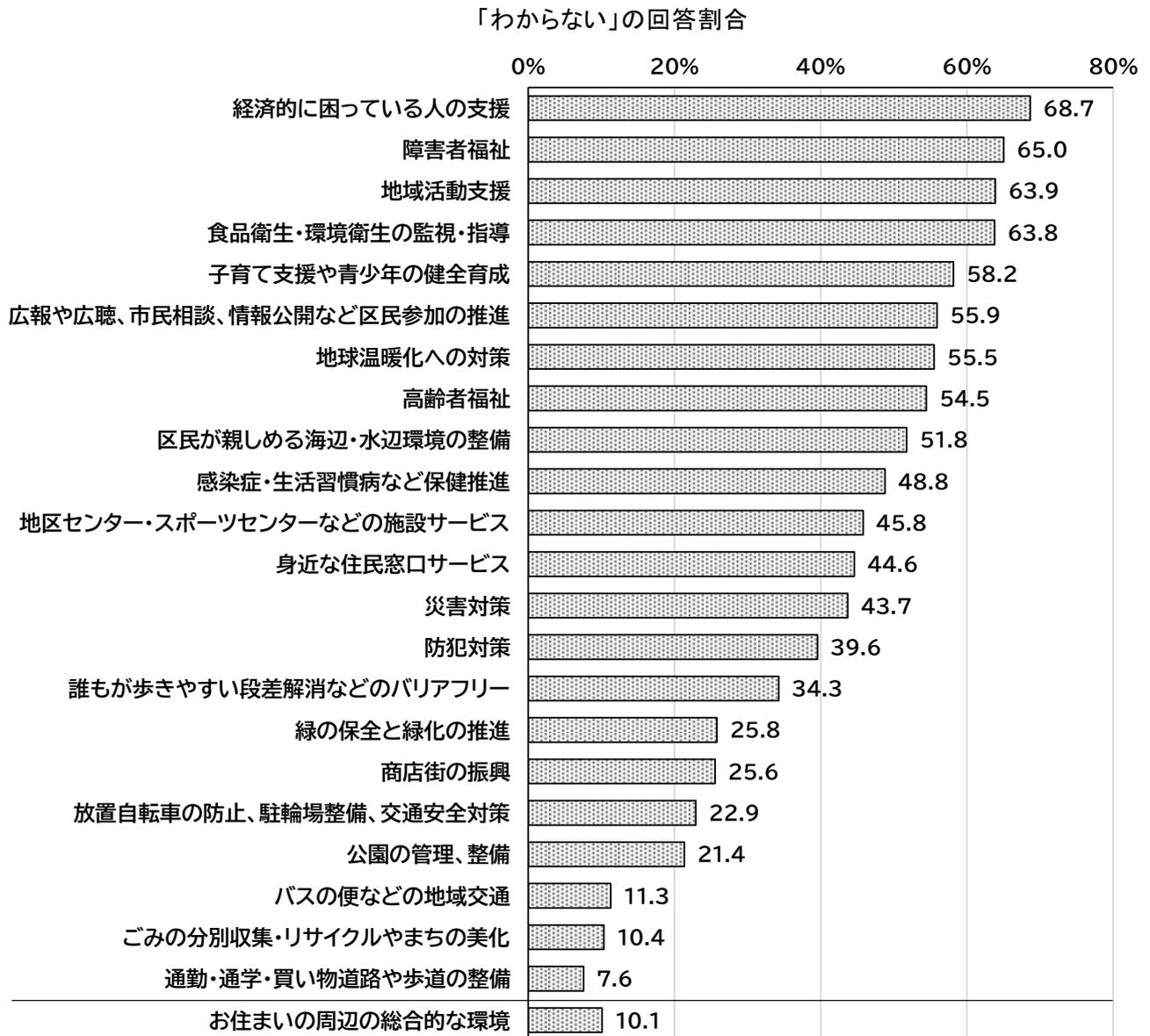
※回答に、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を加点し、加重平均した。「分からない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

- ・ 上位5項目は、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「緑の保全と緑化の推進」、「公園の管理、整備」、「バスの便などの地域交通」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」である。



■ 生活環境(満足度)「わからない」の回答割合

- ・「経済的に困っている人の支援」、「障害者福祉」、「地域活動支援」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」、「地球温暖化への対策」、「高齢者福祉」、「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」は半数以上の人が「わからない」と回答している。

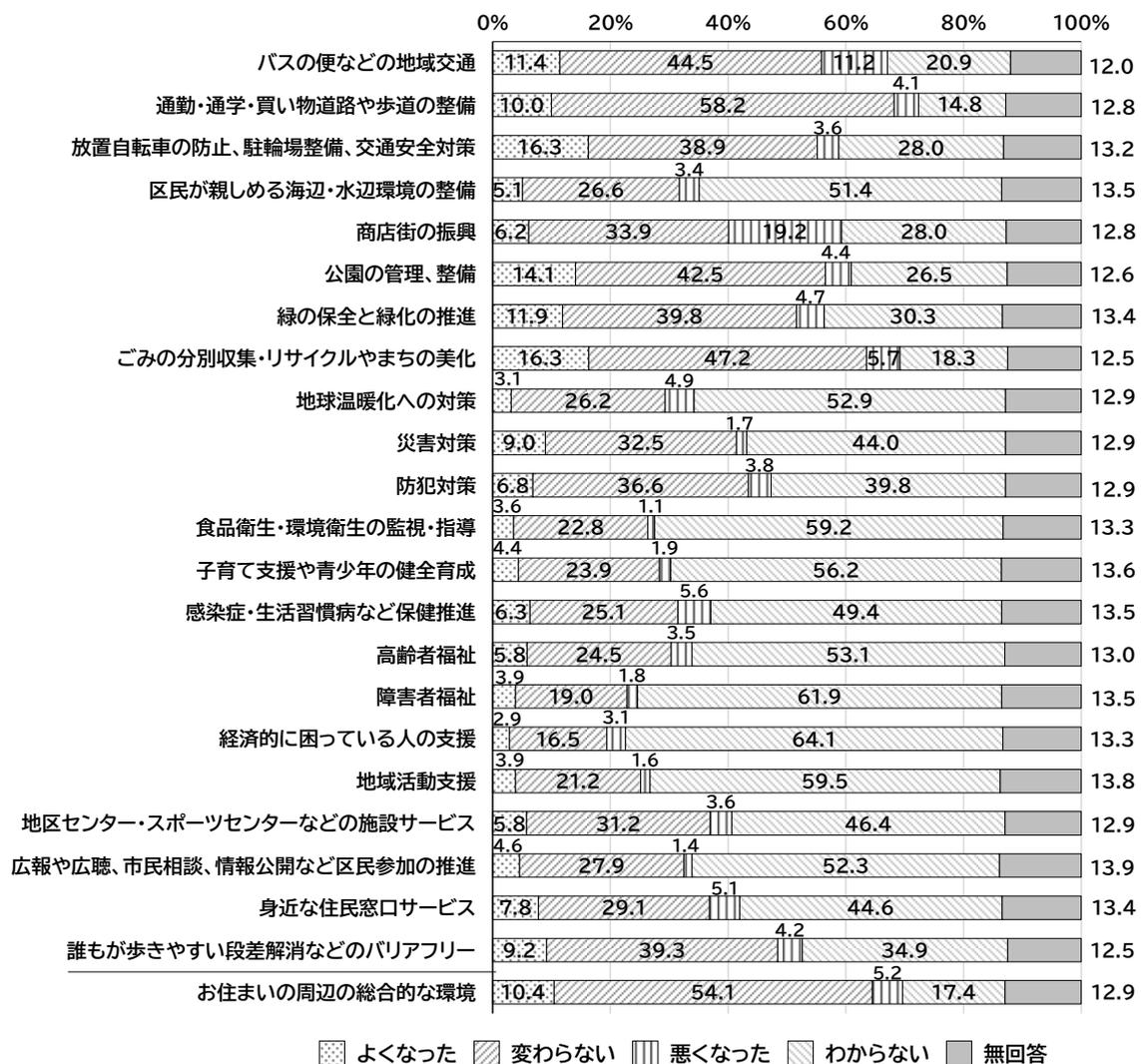


(2) 生活環境(以前との比較)

問 14 現在のお住まいの周辺の環境は、以前(4~5年前)と比べてどのように変わったと思いますか。

「よくなった」とする割合が高かった上位5項目は「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」、「バスの便などの地域交通」

- ・ 「よくなった」とする割合が高かった上位5項目は「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」、「バスの便などの地域交通」である。
- ・ 「変わらない」とする割合が高かった上位5項目は「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「バスの便などの地域交通」、「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」である。
- ・ 「悪くなった」とする割合が高かったのは「商店街の振興」、「バスの便などの地域交通」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「感染症・生活習慣病など保健推進」、「身近な住民窓口サービス」である。
- ・ 「わからない」とする割合が高かった上位5項目は「経済的に困っている人の支援」、「障害者福祉」、「地域活動支援」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」、「子育て支援や青少年の健全育成」である。
- ・ 「お住まいの周辺の総合的な環境」については、「変わらない」が54.1%で最も多く、次いで「わからない」(17.4%)、「よくなった」(10.4%)、「悪くなった」(5.2%)の順となっている。



n=1,592人

■ 性年代別 生活環境（以前との比較）

<よくなった>

- ・ 性年代別では、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」は「男性 70 代以上」、「女性 60 代」で「よくなった」とする割合が全体より高い。
- ・ 「緑の保全と緑化の推進」は、「女性 60 代」で「よくなった」とする割合が全体より高い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」は、「女性 70 代以上」で「よくなった」とする割合が全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	16.3	-3.8	1.3	3.1	-3.2	-1.1	-1.8	-1.2	-5.3	4.8	3.4	2.6	-0.3
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	16.3	1.5	-4.1	-3.4	-2.4	-1.2	5.2	-2.6	-3.6	-2.3	-4.8	6.1	3.5
公園の管理、整備	14.1	3.8	0.0	-0.1	-2.8	-4.0	1.7	1.0	-4.2	4.7	-0.2	-0.3	0.5
緑の保全と緑化の推進	11.9	-1.2	-1.3	-1.1	-1.4	-2.6	-1.8	3.2	-2.0	4.5	-1.5	6.2	-0.5
バスの便などの地域交通	11.4	-11.4	-6.2	-5.0	-3.0	2.0	4.8	-1.8	-3.7	-1.3	-4.5	3.8	7.7
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	10.0	-2.8	-4.7	1.8	-5.6	2.6	-1.7	7.8	-2.3	4.9	4.5	-2.7	-0.1
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	9.2	3.3	-2.2	-0.6	-3.1	2.6	0.5	7.3	-0.4	1.0	-1.7	1.7	-1.7
災害対策	9.0	1.7	-5.5	2.8	-2.9	0.3	-1.1	0.6	0.9	3.2	-0.3	-0.3	-2.2
身近な住民窓口サービス	7.8	-7.8	-0.8	-0.3	-1.7	0.6	1.9	-5.0	-4.5	2.4	-1.4	3.1	1.4
防犯対策	6.8	5.7	-1.6	-2.5	-2.5	-1.8	2.4	1.4	-1.4	4.9	-1.6	-1.0	-0.5
感染症・生活習慣病など保健推進	6.3	-4.6	-1.1	-3.1	-2.9	-0.5	-1.1	6.0	-0.8	2.2	-1.1	0.9	2.5
商店街の振興	6.2	1.0	-2.6	0.3	-2.7	-0.3	-2.6	10.3	-1.8	2.4	-0.4	-1.8	1.3
高齢者福祉	5.8	1.3	-4.1	-2.6	-1.5	-0.8	1.6	3.7	-4.7	-0.4	-0.6	1.4	1.6
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	5.8	3.5	-0.5	-3.6	-1.4	-1.6	1.2	2.4	-2.5	1.3	-1.2	0.0	0.2
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.1	0.3	-1.6	-1.9	0.1	2.5	0.2	1.8	-4.0	3.5	0.7	0.0	-1.5
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.6	0.8	0.7	-1.4	-2.8	-1.2	2.0	-0.5	-1.3	0.9	-0.5	-2.4	2.5
子育て支援や青少年の健全育成	4.4	2.7	-0.9	5.3	-0.9	-1.9	-2.6	-1.7	4.4	3.4	-0.9	-2.2	0.9
障害者福祉	3.9	1.5	-0.4	1.5	-2.2	-1.4	0.1	3.0	-2.8	3.1	0.7	-1.7	-0.3
地域活動支援	3.9	1.5	3.1	-1.7	-2.2	-2.2	0.1	0.2	-1.7	2.4	-1.0	1.2	1.1
食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.6	3.6	-0.1	-2.5	-1.8	-2.7	-0.9	1.9	-0.3	3.5	-1.8	0.0	1.7
地球温暖化への対策	3.1	-1.4	-3.1	-2.1	-2.3	-2.3	0.4	-1.8	1.3	2.3	2.1	2.7	-0.3
経済的に困っている人の支援	2.9	0.7	0.6	0.3	-2.9	-1.2	-1.6	-0.1	1.5	3.4	1.7	-0.7	0.3
お住まいの周辺の総合的な環境	10.4	-1.5	-5.2	0.3	-1.7	0.5	1.4	0.5	-0.5	2.9	-1.2	-0.3	1.3

<悪くなった>

- ・ 性年代別では、男性の40代と60代以上で「悪くなった」とする項目が多い。
- ・ 「商店街の振興」、「感染症・生活習慣病など保健推進」は女性より男性のほうが悪くなったとする割合が高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
商店街の振興	19.2	2.2	-5.2	1.2	4.3	9.4	1.8	0.0	-9.3	-6.7	2.2	1.1	-1.1
バスの便などの地域交通	11.2	-9.4	-2.4	-3.7	4.5	3.1	-2.4	-1.6	-4.6	-4.9	8.5	7.9	0.2
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	5.7	-0.3	-5.7	-0.3	-1.3	2.8	-1.3	-0.2	-4.6	-1.7	4.8	1.6	-0.3
感染症・生活習慣病など保健推進	5.6	1.6	-3.8	4.1	1.4	2.8	2.3	-2.9	-4.5	-0.1	-2.1	0.9	-1.3
身近な住民窓口サービス	5.1	-5.1	3.7	4.6	-0.7	1.6	1.5	-1.0	-2.9	-3.5	4.7	-1.5	-2.3
地球温暖化への対策	4.9	-1.3	4.9	-0.6	2.1	4.3	4.3	-2.2	-3.8	-3.3	-2.0	-1.3	0.8
緑の保全と緑化の推進	4.7	0.6	-3.0	1.7	-0.4	3.7	1.0	0.8	-3.6	-3.1	-0.7	1.1	0.6
公園の管理、整備	4.4	4.5	-0.9	1.2	-1.8	1.5	0.9	3.8	-1.1	-0.5	-0.9	-0.8	0.2
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	4.2	-4.2	-2.5	-2.1	-1.6	1.7	4.6	6.8	-0.9	-3.4	-1.3	-1.3	0.4
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	4.1	-2.4	1.1	1.2	-0.7	0.9	0.2	2.7	-0.8	-1.8	-0.1	4.5	-2.0
防犯対策	3.8	1.5	-2.1	3.7	0.5	5.4	1.4	0.3	-1.6	-3.8	0.2	-2.4	-1.3
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	3.6	-3.6	1.6	1.7	0.7	1.4	2.5	0.5	-2.5	-2.9	-1.3	-1.5	1.0
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	3.6	3.5	-1.9	1.7	-0.2	0.6	-0.1	1.8	-3.6	-1.3	1.0	0.0	-0.5
高齢者福祉	3.5	-3.5	-1.8	-2.4	-0.9	2.4	2.6	-2.1	-2.4	-2.7	0.0	-0.6	2.2
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	3.4	-1.6	0.1	2.0	0.1	0.8	0.6	0.7	-0.1	-0.3	1.1	-2.7	1.2
経済的に困っている人の支援	3.1	-1.4	0.4	0.1	-0.5	1.1	2.1	1.0	-0.9	-1.6	-0.3	-2.4	0.8
子育て支援や青少年の健全育成	1.9	-0.2	-0.2	4.5	-1.9	0.6	-0.2	-0.6	1.3	0.4	-0.8	-1.2	-0.2
障害者福祉	1.8	-1.8	-1.8	1.5	-1.8	0.8	1.3	-1.8	-0.7	0.6	0.6	-1.0	0.4
災害対策	1.7	1.9	-1.7	2.6	-0.8	3.3	-0.4	-1.7	-0.6	-1.7	1.2	-1.0	-0.3
地域活動支援	1.6	-1.6	-1.6	1.6	-1.6	0.9	1.9	2.5	-0.5	-0.9	1.1	-0.2	-0.2
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	1.4	-1.4	0.4	1.8	-0.5	0.3	1.2	0.0	-1.4	-1.4	0.4	0.1	-0.3
食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.1	0.7	0.6	1.0	0.6	1.4	-0.3	0.2	-1.1	-1.1	0.0	-1.1	0.3
お住まいの周辺の総合的な環境	5.2	-1.6	0.1	-0.8	-0.8	4.9	1.0	5.8	-5.2	-1.2	0.1	-0.1	-0.9

■ 地区別 生活環境（以前との比較）

<よくなった>

- ・ 地区別では、「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」は、「杉田地区」で全体より高い。
- ・ 「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」は「岡村地区」で全体より高い。
- ・ 「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」は、「汐見台地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	16.3	4.9	-6.9	-9.4	-4.9	-7.3	1.8	8.3	0.8	4.1	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	16.3	4.8	-4.6	5.2	-3.4	-6.1	4.7	-1.1	-5.2	2.7	
公園の管理、整備	14.1	-2.5	-0.8	-3.7	-0.7	9.0	-3.2	1.7	-1.1	4.6	
緑の保全と緑化の推進	11.9	-1.3	0.6	-5.0	3.5	9.9	-2.8	-3.5	-2.5	4.2	
バスの便などの地域交通	11.4	4.0	0.3	9.3	-2.5	-6.3	-5.0	4.3	3.3	-3.0	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	10.0	1.6	-0.6	8.1	0.9	-4.9	-3.6	-1.7	1.8	1.9	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	9.2	1.4	0.2	-2.3	-3.1	-0.2	-0.1	-2.2	3.2	4.0	
災害対策	9.0	-1.3	0.4	-1.2	-2.9	5.1	-1.5	2.6	0.4	1.6	
身近な住民窓口サービス	7.8	0.9	1.6	3.4	-2.1	-0.1	1.6	-1.8	1.0	-1.4	
防犯対策	6.8	-1.1	-0.6	2.6	-1.6	4.7	-2.7	0.6	1.4	1.6	
感染症・生活習慣病など保健推進	6.3	-0.6	-1.7	-1.2	-0.3	2.6	-1.5	1.5	-0.5	1.7	
商店街の振興	6.2	-1.3	-2.2	-1.8	-2.9	-1.0	-1.6	-0.6	-0.9	8.7	
高齢者福祉	5.8	2.8	-0.4	-1.5	0.2	0.6	0.2	0.2	-0.5	-0.8	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	5.8	-2.9	3.6	2.0	-1.3	-1.9	1.0	1.6	-1.7	-0.7	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.1	0.7	-2.0	-4.2	-0.6	2.6	0.9	4.2	-1.0	-1.7	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.6	-3.6	0.1	-0.3	0.7	-0.7	1.8	0.5	-0.5	-0.3	
子育て支援や青少年の健全育成	4.4	0.4	-2.1	3.4	0.1	2.0	0.5	0.2	-2.0	-0.2	
障害者福祉	3.9	-1.0	-0.8	0.4	-0.3	3.8	0.6	-1.6	-0.4	0.3	
地域活動支援	3.9	-1.0	1.6	-1.3	1.0	2.5	0.6	-2.5	-1.5	1.2	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.6	2.2	-0.5	-1.9	-0.7	1.5	-0.2	-1.3	-0.1	1.5	
地球温暖化への対策	3.1	-1.2	-0.8	3.8	-1.1	4.6	-0.9	1.0	-2.6	0.7	
経済的に困っている人の支援	2.9	0.0	0.2	0.6	-0.1	2.2	-0.3	-0.1	0.1	-0.3	
お住まいの周辺の総合的な環境	10.4	3.0	3.6	2.5	-1.9	2.4	-1.4	-0.2	-1.0	0.6	

<悪くなった>

- ・ 地区別では、「商店街の振興」は、「滝頭地区」で全体より高い。
- ・ 「バスの便などの地域交通」は、「汐見台地区」、「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」では、「滝頭地区」で全体より高い。
- ・ 「感染症・生活習慣病など保健推進」では、「根岸地区」で全体より高い。
- ・ 「身近な住民窓口サービス」では、「杉田地区」で全体より高い。

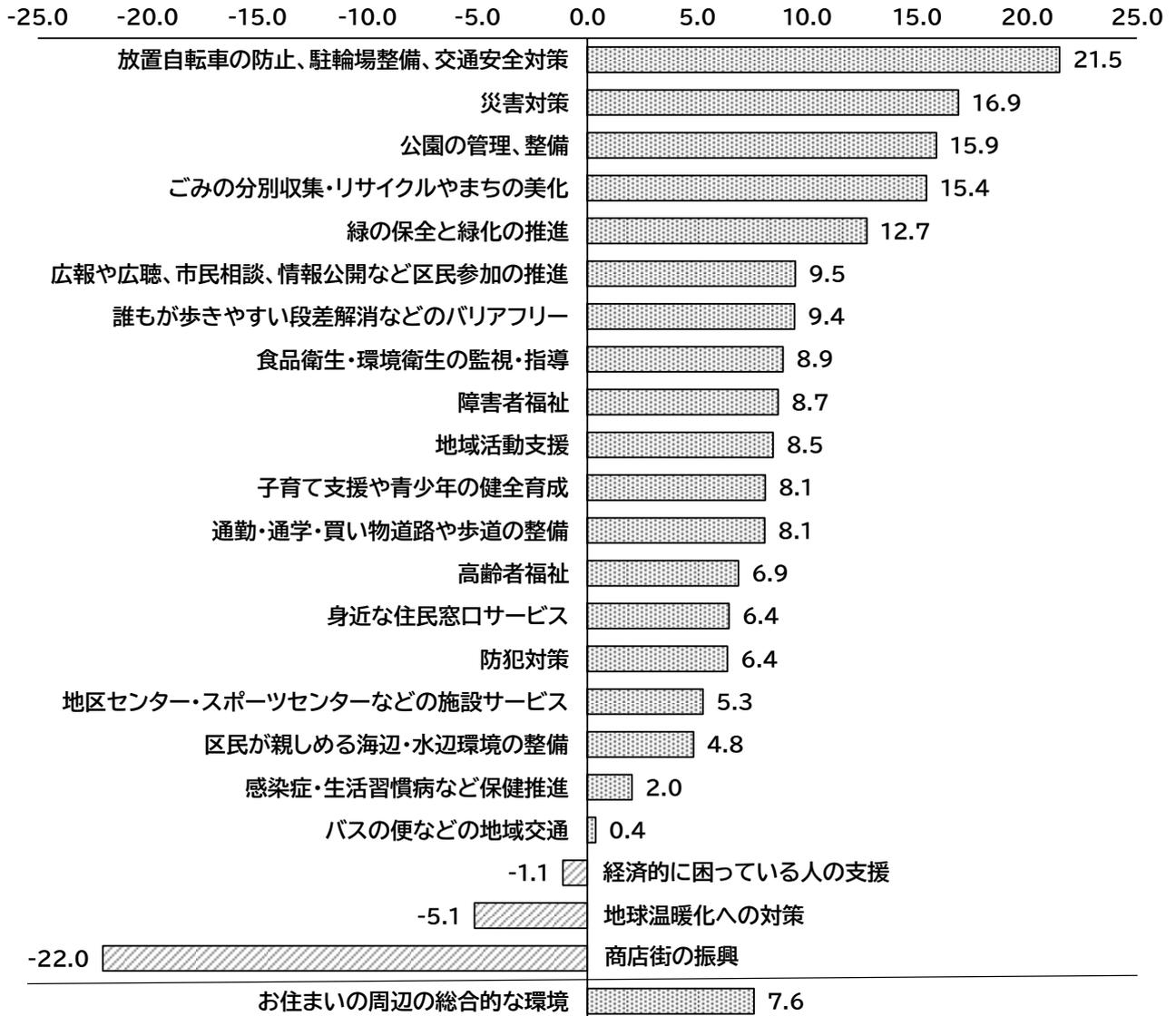
※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236	
商店街の振興	19.2	4.8	9.7	-2.8	-1.0	-1.3	2.6	1.6	-7.5	-2.3	
バスの便などの地域交通	11.2	0.4	0.5	-1.7	-0.2	9.3	2.7	-5.2	5.3	-3.6	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	5.7	2.0	6.8	1.2	-1.2	-5.7	0.4	0.8	-0.4	-2.3	
感染症・生活習慣病など保健推進	5.6	7.9	-2.5	-3.0	-1.1	-0.5	-0.7	0.9	0.9	-0.1	
身近な住民窓口サービス	5.1	-1.2	-4.3	-3.4	-3.1	-3.8	-0.2	11.6	0.2	-1.3	
地球温暖化への対策	4.9	1.8	0.6	0.3	-0.9	-3.6	0.4	-0.7	0.4	1.0	
緑の保全と緑化の推進	4.7	3.0	-1.6	0.5	-1.5	-0.9	2.4	0.4	-1.2	-0.9	
公園の管理、整備	4.4	-0.6	-2.1	0.8	1.3	0.7	0.5	-1.2	-0.3	0.7	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	4.2	0.6	-1.1	-0.8	-0.6	-0.4	4.1	-0.5	-1.9	-0.8	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	4.1	-1.3	-1.0	2.8	-1.3	-1.6	3.4	0.5	-1.2	-1.6	
防犯対策	3.8	-0.9	-1.5	-0.4	0.2	-2.5	1.4	1.7	-0.3	-0.4	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	3.6	2.1	3.4	-1.9	0.0	-2.4	0.9	-0.9	-0.7	-0.3	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	3.6	1.2	-2.1	-1.9	1.6	0.2	-0.3	1.4	-0.7	-0.3	
高齢者福祉	3.5	3.2	-2.7	0.8	0.5	0.3	1.0	0.6	-2.3	-1.0	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	3.4	4.3	3.6	-1.7	1.5	-2.1	1.1	-0.6	-1.6	-3.0	
経済的に困っている人の支援	3.1	-0.3	-0.8	1.2	-1.1	-1.9	3.3	-1.3	0.4	-0.6	
子育て支援や青少年の健全育成	1.9	0.0	-1.2	-0.2	0.1	-1.9	1.1	-0.1	-0.8	1.0	
障害者福祉	1.8	4.0	-0.2	0.0	-0.9	-0.5	0.9	-0.4	-1.8	0.4	
災害対策	1.7	0.2	-1.7	0.0	-0.1	-1.7	0.9	0.2	0.7	0.0	
地域活動支援	1.6	0.3	-0.1	-0.8	-1.2	0.9	1.0	-0.2	-0.5	0.9	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	1.4	1.5	-0.6	-0.5	-0.6	-0.1	1.6	0.0	-1.4	-0.1	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	1.1	-1.1	-0.3	-1.1	0.5	-1.1	1.1	0.3	-0.5	0.1	
お住まいの周辺の総合的な環境	5.2	-0.3	2.7	2.6	-0.7	-3.9	1.6	0.9	-2.8	-0.5	

■ 生活環境(以前との比較) 加重平均

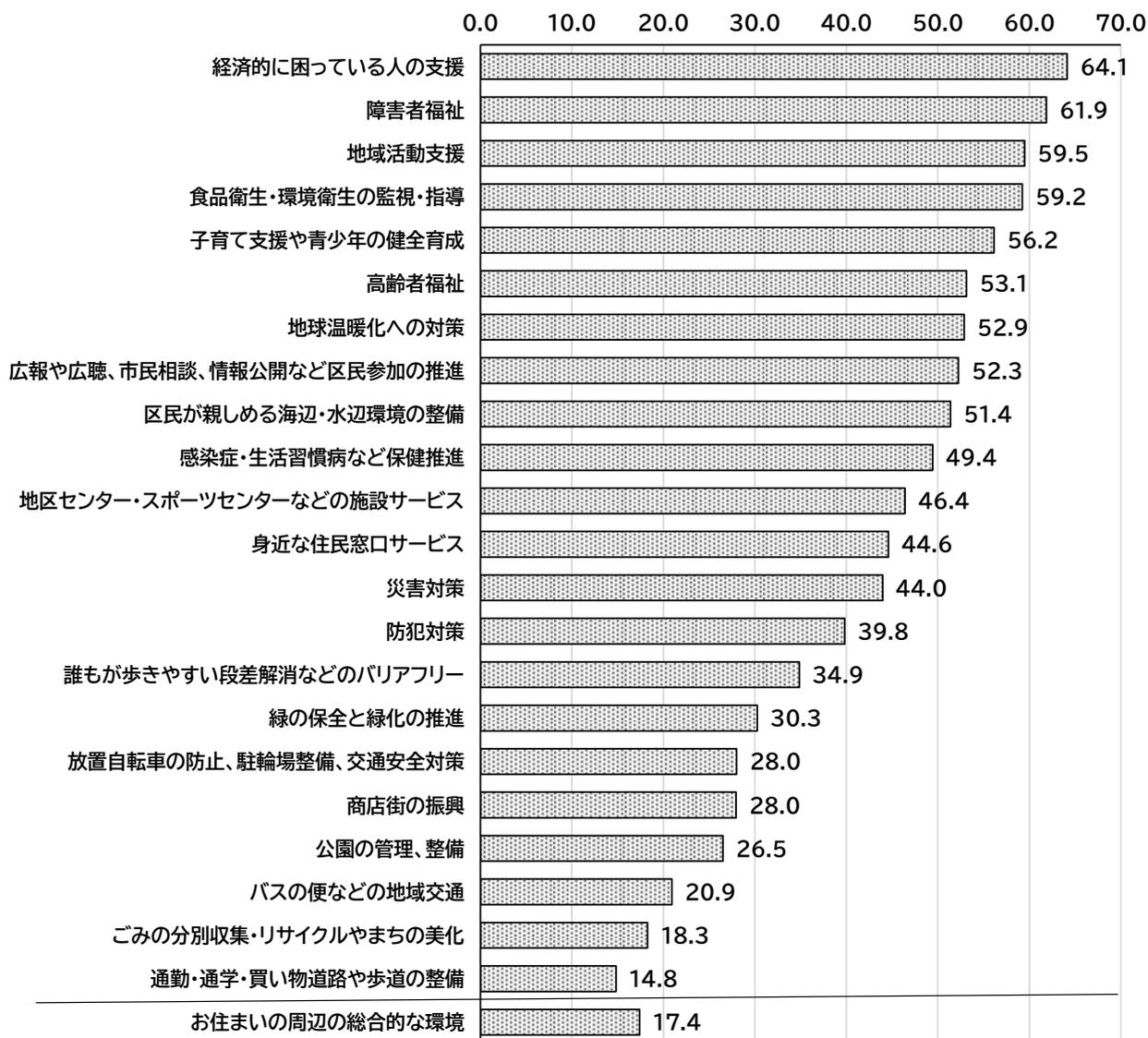
※回答に、「よくなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点を加算し、加重平均した。「分からない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「よくなった」か「悪くなった」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

- ・ 上位5項目は、「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「災害対策」、「公園の管理、整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「緑の保全と緑化の推進」である。



■ 生活環境(以前との比較)「わからない」の回答割合

- ・「経済的に困っている人の支援」、「障害者福祉」、「地域活動支援」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「高齢者福祉」、「地球温暖化への対策」、「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」、「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」は半数以上の人が「わからない」と回答している。

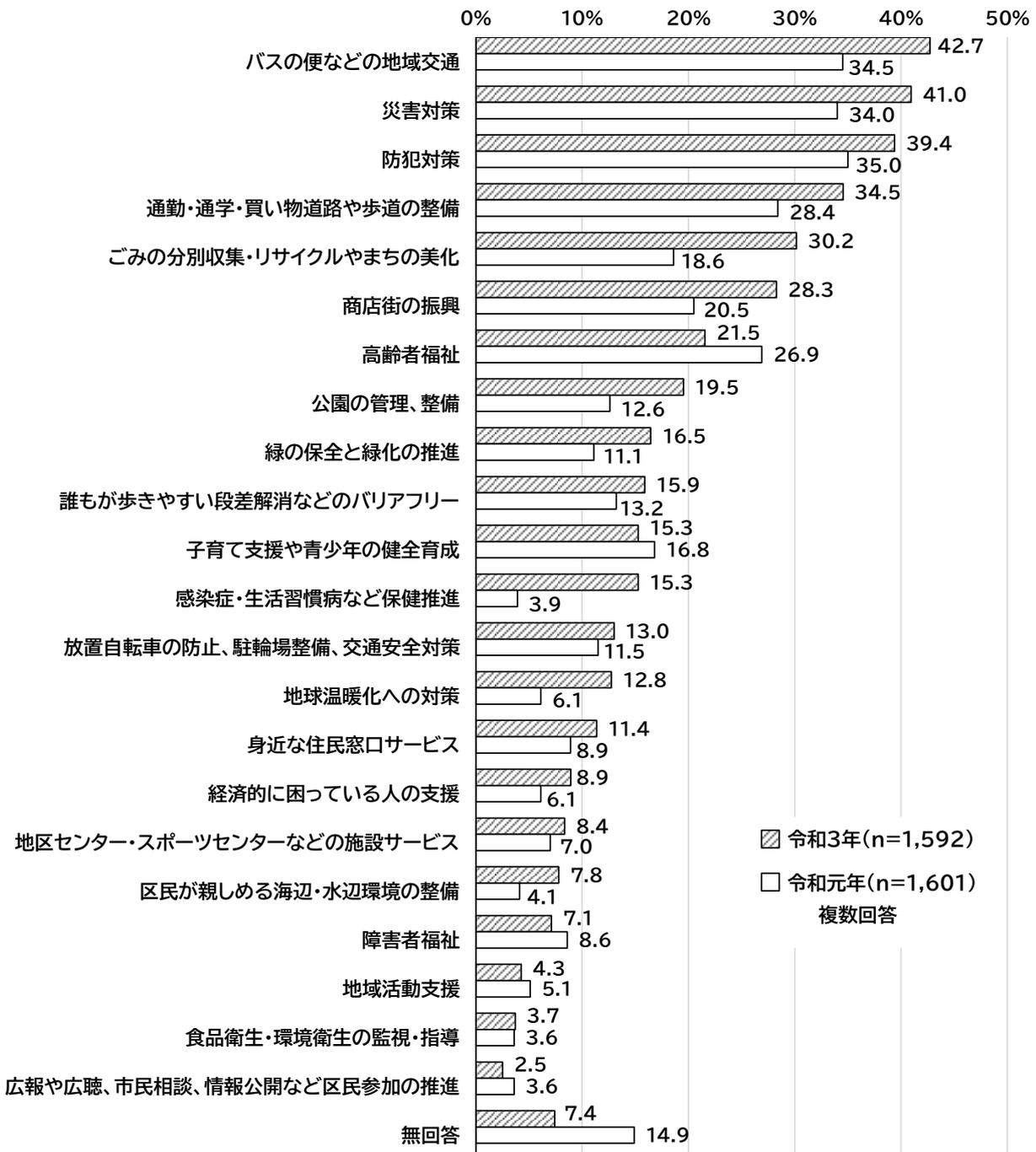


(3) 生活環境(重要度)

問 14-1 ①~⑳の質問項目のうち、お住まいの周辺の環境にとって、どれが特に重要だと思いますか。(該当する項目の番号を5つまで記入)

重要度が高い上位5項目は、「バスの便などの地域交通」、「災害対策」、「防犯対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」で、いずれも3割以上の方が挙げている

- ・ 上位5項目は、「バスの便などの地域交通」、「災害対策」、「防犯対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」で、いずれも3割以上の方が挙げている。
- ・ 前回調査と比較すると、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「感染症・生活習慣病など保健推進」の重要度が10ポイント以上高くなっている。



■ 性年代別 生活環境(重要度)

- ・ 性年代別では、「バスの便などの地域交通」は、女性の20代以下と50代で全体より高い。
- ・ 「防犯対策」は、「女性20代以下」で全体より高い。
- ・ 「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」は、男性、女性ともに30代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性					女性						
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
バスの便などの地域交通	42.7	3.7	6.4	2.4	4.2	-7.4	-6.3	17.6	-6.4	1.0	12.2	1.5	-5.5
災害対策	41.0	5.5	-12.9	-1.2	5.1	7.8	-5.0	-4.0	-1.4	2.0	8.2	6.9	-4.8
防犯対策	39.4	-9.0	4.5	4.7	3.2	6.8	-2.5	12.7	1.3	7.5	7.4	-1.7	-11.0
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	34.5	15.5	23.3	3.1	0.2	-5.1	-12.2	16.1	13.8	8.4	4.8	0.2	-10.4
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	30.2	5.6	-7.3	-8.6	-4.9	-0.7	-0.8	0.0	-2.7	-2.0	0.5	8.3	5.0
商店街の振興	28.3	-8.6	-7.2	5.8	7.4	5.3	0.7	-6.3	-6.3	6.1	-1.7	0.0	-4.5
高齢者福祉	21.5	-19.8	-14.5	-8.6	2.8	1.1	4.3	-10.6	-10.6	-5.9	5.6	2.4	-9.3
公園の管理、整備	19.5	-5.2	10.3	7.3	0.5	4.8	0.6	7.9	6.8	3.1	-6.8	-3.6	-4.3
緑の保全と緑化の推進	16.5	-2.2	6.3	5.0	4.4	5.4	2.4	0.0	-2.2	-7.9	-7.8	0.9	1.6
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	15.9	-1.6	-7.1	-5.1	-2.8	-5.0	-0.5	0.5	-2.7	-5.7	5.5	5.1	5.7
子育て支援や青少年の健全育成	15.3	-2.8	9.3	17.0	-1.4	-2.7	-10.0	8.0	28.7	11.3	-2.5	-6.6	-7.5
感染症・生活習慣病など保健推進	15.3	-2.8	-8.2	-3.4	3.0	1.5	4.0	-4.3	-4.3	0.4	-0.2	0.7	-0.7
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.0	4.9	6.3	2.1	-0.8	-3.8	4.5	3.4	-2.0	-2.8	2.0	0.8	-6.3
地球温暖化への対策	12.8	-0.3	-4.0	-4.1	-4.9	-0.1	1.3	-7.3	-5.1	-4.2	-2.3	3.2	8.9
身近な住民窓口サービス	11.4	-4.2	0.9	-0.6	1.7	4.6	-0.4	-1.8	-8.1	1.1	2.5	0.9	-0.7
経済的に困っている人の支援	8.9	0.0	-0.1	0.8	1.5	2.0	1.6	-0.7	1.0	-1.9	4.4	-1.7	-3.2
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.4	5.9	3.9	9.9	-0.5	-4.2	-1.3	2.6	1.5	1.8	-2.0	1.1	-3.0
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	7.8	-2.4	8.0	9.4	7.0	1.5	1.9	-3.7	-3.4	0.8	-5.5	-0.5	-3.2
障害者福祉	7.1	-3.5	-3.6	-1.7	4.2	-0.4	2.6	-1.6	-1.6	2.3	-0.7	2.3	-1.8
地域活動支援	4.3	-4.3	-2.5	-2.1	5.3	0.8	-0.8	1.2	0.1	-1.1	-2.5	1.5	0.7
食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.7	-0.1	-0.2	0.6	-2.0	1.3	0.7	0.4	-2.6	-2.1	-2.0	2.8	1.3
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	2.5	-2.5	-0.8	-1.4	-0.8	2.5	-0.8	3.0	-1.4	-1.0	-0.2	1.8	0.3

■ 地区別 生活環境(重要度)

- ・ 地区別では、「バスの便などの地域交通」は、「汐見台地区」、「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」では、「滝頭地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

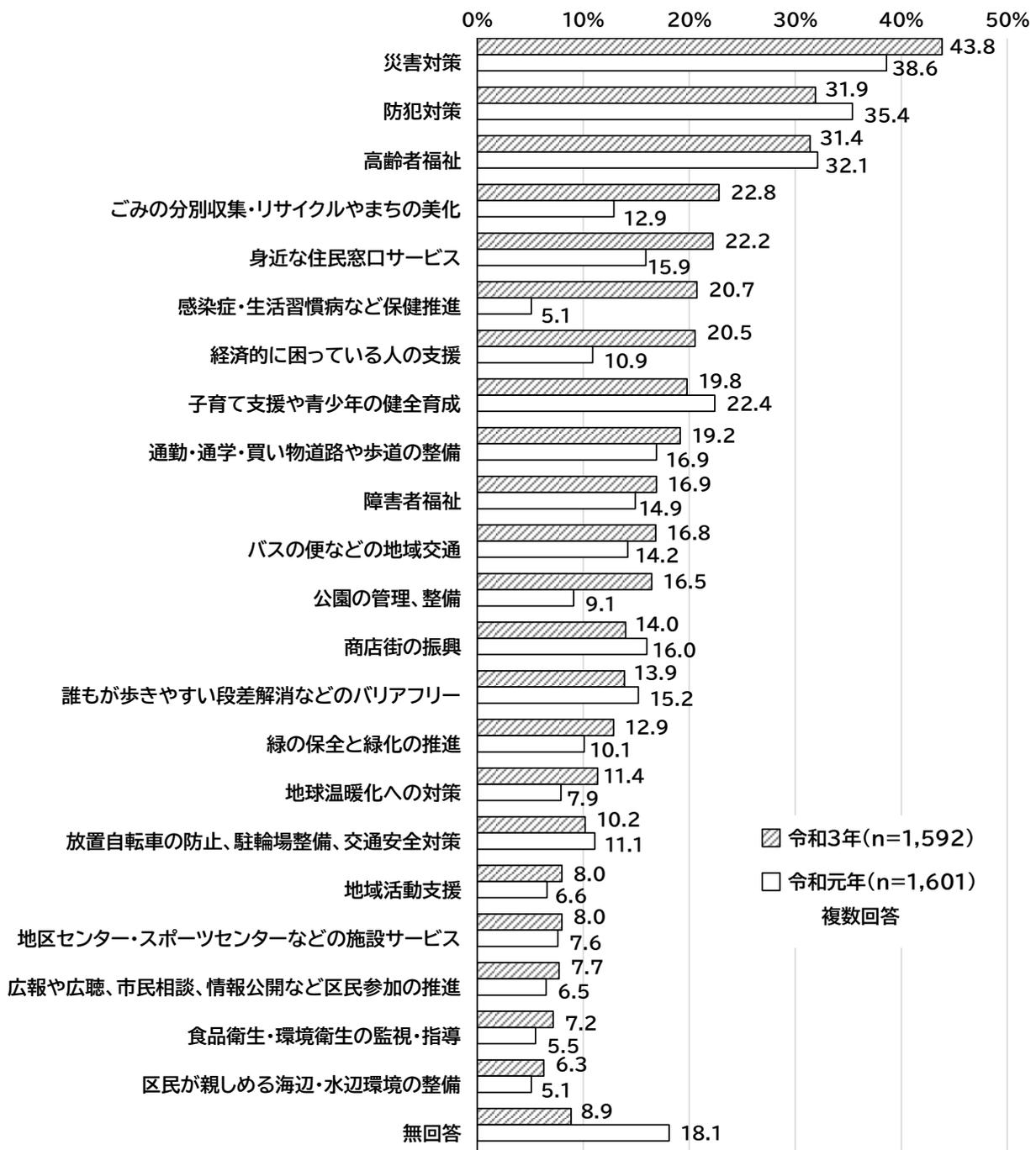
	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236	
バスの便などの地域交通	42.7	-0.4	3.4	1.3	-1.8	18.8	-2.9	-3.4	14.3	-7.5	
災害対策	41.0	2.3	-5.0	-3.0	2.8	0.1	4.5	-3.5	-2.7	1.8	
防犯対策	39.4	6.8	2.8	0.3	-7.0	-7.3	7.6	-1.4	-0.6	2.1	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	34.5	-1.9	-0.2	-1.8	0.3	-1.2	4.2	7.1	-1.6	-5.3	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	30.2	0.6	12.8	-1.7	-5.0	-10.9	-0.1	1.8	4.6	-0.5	
商店街の振興	28.3	-3.3	-0.1	-2.4	-0.7	16.6	-5.0	6.0	-3.6	2.7	
高齢者福祉	21.5	1.5	-5.9	-4.3	3.2	-2.3	0.3	0.7	4.3	-2.1	
公園の管理、整備	19.5	-2.2	3.1	-4.0	-3.3	13.8	-2.2	-1.0	-0.7	5.9	
緑の保全と緑化の推進	16.5	-1.1	0.7	-6.1	1.4	6.6	-1.4	-1.2	4.1	1.3	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	15.9	-3.4	-1.8	0.5	-0.1	0.8	1.8	2.2	-5.9	2.8	
子育て支援や青少年の健全育成	15.3	-3.7	-3.5	2.0	-1.5	5.2	3.5	-4.6	2.4	2.5	
感染症・生活習慣病など保健推進	15.3	4.0	-1.2	-0.6	-1.5	0.1	0.1	-2.8	1.8	0.8	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	13.0	5.3	2.6	-4.4	0.0	-7.9	0.5	4.1	-4.8	-0.3	
地球温暖化への対策	12.8	-5.1	1.3	1.9	0.6	0.1	-5.2	1.6	4.3	2.1	
身近な住民窓口サービス	11.4	0.2	-2.0	-4.5	-2.1	-3.7	1.8	3.0	0.4	1.8	
経済的に困っている人の支援	8.9	-0.3	-4.2	4.0	0.0	-2.5	-0.3	-1.5	1.7	2.5	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.4	2.2	-2.9	-1.5	0.1	0.6	-0.1	0.4	2.2	0.1	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	7.8	2.8	3.1	-1.8	4.4	-0.1	0.5	-2.7	-0.7	-3.1	
障害者福祉	7.1	4.4	-0.8	-0.2	0.6	-0.7	0.0	1.7	-2.4	-1.2	
地域活動支援	4.3	-0.4	-1.1	-0.8	-0.2	-1.7	-0.9	-2.0	1.6	2.9	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.7	-0.8	-0.6	-0.3	0.3	-3.7	1.6	0.9	-0.8	0.1	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	2.5	1.3	-1.0	0.1	0.7	-2.5	-0.6	0.3	-0.2	0.0	

(4) 区役所が取り組む課題

問 14-2 ①~⑫の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。(該当する項目の番号を5つまで記入)(複数回答)

重要度が高いとされる上位5項目は、「災害対策」(43.8%)、「防犯対策」(31.9%)、「高齢者福祉」(31.4%)、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」(22.8%)、「身近な住民窓口サービス」(22.2%)

- ・ 最も多かったのは「災害対策」で43.8%。次いで「防犯対策」が31.9%と、安全・安心に関する項目が続く。
- ・ 前回調査と比較すると、「感染症・生活習慣病など保健推進」で15.6ポイント増加している。



■ 性年代別 区役所が取り組む課題

- ・ 性年代別では、「災害対策」は、男性の 50～60 代で全体より高い。
- ・ 「防犯対策」は、「男性 30 代」で全体より高い。
- ・ 「高齢者福祉」は、「女性 50 代」で全体より高く、男性、女性ともに 30 代以下で全体より低い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
災害対策	43.8	-9.9	-5.2	-7.3	12.7	13.3	-0.4	-6.9	1.0	-6.3	5.9	7.6	-5.2
防犯対策	31.9	-6.9	10.2	0.3	6.4	9.3	-4.3	9.2	5.5	0.9	3.4	-2.2	-7.8
高齢者福祉	31.4	-22.5	-26.1	-9.9	6.0	4.7	2.4	-10.9	-14.9	-2.5	10.8	6.3	7.2
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	22.8	-3.2	0.0	-2.4	-1.1	1.6	2.2	-0.9	-8.5	-4.1	1.5	5.5	1.7
身近な住民窓口サービス	22.2	-0.8	-2.9	-0.7	-1.4	3.0	-2.1	1.1	-4.7	-0.4	9.6	0.2	-1.7
感染症・生活習慣病など保健推進	20.7	4.3	0.3	-5.7	5.4	0.3	0.8	1.2	3.4	-2.8	5.9	-6.2	-3.0
経済的に困っている人の支援	20.5	2.7	-3.0	-4.4	2.9	-6.3	-6.5	16.4	-4.1	9.9	6.6	-0.3	-0.7
子育て支援や青少年の健全育成	19.8	-0.1	11.8	7.1	-5.9	-1.3	-6.2	15.8	19.8	10.7	-2.4	-2.4	-8.1
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	19.2	-1.3	22.9	9.9	0.0	-4.9	-2.5	1.4	5.0	3.5	2.8	1.0	-7.5
障害者福祉	16.9	-4.4	-16.9	-2.9	4.8	-5.1	-6.4	0.9	1.8	2.6	8.5	8.5	0.5
バスの便などの地域交通	16.8	6.4	13.0	0.4	5.8	-5.1	-1.9	2.3	-3.6	-0.4	9.8	-9.6	-2.6
公園の管理、整備	16.5	3.2	9.9	5.0	-0.8	2.0	3.3	-4.1	5.5	1.5	6.1	0.2	-4.8
商店街の振興	14.0	-3.3	3.5	17.2	4.3	7.0	-0.8	1.1	-1.9	1.6	-4.8	-3.1	-3.7
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	13.9	-5.0	-3.4	5.5	-5.2	-6.3	0.6	8.0	-5.1	-3.7	0.6	2.8	4.6
緑の保全と緑化の推進	12.9	-3.9	-4.1	5.4	6.3	4.8	4.7	-4.7	-5.2	-5.1	-5.9	3.8	0.2
地球温暖化への対策	11.4	-6.0	-6.1	-3.8	-2.7	-0.4	0.0	-0.4	-1.5	-1.2	-2.7	1.7	7.1
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	10.2	7.7	10.9	6.0	-0.6	3.3	1.7	0.8	-4.7	-3.9	-3.8	-0.8	-2.4
地域活動支援	8.0	-2.6	-4.5	-3.7	1.6	3.8	0.8	1.6	-3.6	2.2	-0.5	0.0	0.5
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.0	-2.6	0.8	4.9	0.7	-0.4	0.4	-5.2	1.9	2.2	-1.6	2.9	-2.3
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	7.7	-2.4	-4.2	-1.3	-2.5	3.2	1.9	0.5	-5.5	-0.7	1.4	6.0	0.1
食品衛生・環境衛生の監視・指導	7.2	0.0	1.6	-0.7	-3.7	2.1	2.0	-0.3	-3.9	-2.5	-2.5	0.8	3.1
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	6.3	-6.3	7.8	6.6	1.5	3.0	0.3	-4.9	1.4	0.0	-4.0	1.0	-1.0

■ 地区別 区役所が取り組む課題

- 「バスの便などの地域交通」、「商店街の振興」が、「汐見台地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	地区									
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台	
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236	
災害対策	43.8	-4.4	3.8	-5.9	1.1	2.3	0.9	0.6	4.4	-1.5	
防犯対策	31.9	5.6	2.5	-9.5	-2.4	4.0	-1.8	4.7	-0.1	1.1	
高齢者福祉	31.4	-6.4	1.4	-1.2	3.0	-4.5	1.7	0.1	1.5	-0.1	
ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	22.8	-1.6	6.1	-3.0	-2.6	-2.3	0.1	1.7	6.0	-2.5	
身近な住民窓口サービス	22.2	6.6	-6.6	-5.0	-0.8	-3.0	7.5	-0.5	-2.8	-0.2	
感染症・生活習慣病など保健推進	20.7	1.4	-5.1	-2.6	-0.9	1.1	-1.2	0.6	9.3	-1.7	
経済的に困っている人の支援	20.5	-1.3	-3.4	1.0	-0.3	-7.7	1.6	-1.1	1.2	5.7	
子育て支援や青少年の健全育成	19.8	-2.5	-4.9	-2.5	-4.4	0.7	2.4	-3.6	3.2	9.0	
通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	19.2	0.1	-1.2	-0.2	0.3	0.1	1.9	3.5	2.0	-5.2	
障害者福祉	16.9	1.4	4.2	-3.1	-0.7	-2.8	2.3	-0.7	-1.6	0.9	
バスの便などの地域交通	16.8	-3.4	-0.4	8.2	-1.9	16.5	-6.3	1.2	9.6	-5.8	
公園の管理、整備	16.5	6.6	-5.5	-4.4	-1.9	9.2	-0.7	0.2	1.8	1.8	
商店街の振興	14.0	-1.5	0.8	-2.8	0.6	11.6	-2.0	2.7	-2.2	0.4	
誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	13.9	2.5	2.5	-1.8	1.5	-6.2	3.4	-0.9	-6.2	0.9	
緑の保全と緑化の推進	12.9	-0.4	4.3	-2.5	1.3	-0.1	-1.6	-0.4	0.1	1.1	
地球温暖化への対策	11.4	-6.6	1.1	1.6	2.8	-1.1	-2.7	0.7	2.2	0.5	
放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	10.2	2.3	1.5	-2.4	1.2	-5.0	-2.3	2.8	1.0	-0.4	
地域活動支援	8.0	-3.2	-0.2	-1.1	-0.7	-4.1	-0.1	1.3	0.8	3.5	
地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.0	4.5	-0.9	-1.9	4.2	-1.6	0.3	-2.0	1.4	-2.9	
広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	7.7	1.9	-0.7	0.0	0.4	-5.2	2.4	-2.2	-2.4	2.0	
食品衛生・環境衛生の監視・指導	7.2	-1.4	3.0	-0.3	-1.9	-4.6	1.5	1.2	-2.5	2.6	
区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	6.3	10.1	-0.8	-0.2	1.0	0.1	-1.0	1.1	-2.8	-2.0	

(5) 生活環境の満足度×以前との比較

22 の生活環境評価項目及び「お住まいの周辺の総合的な環境」について、満足度と以前との比較をそれぞれ得点化し(注)、比較を行った。

注) 満足度については、回答に「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を、以前との比較については、回答に「よくなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点を加算し、加重平均した。「分からない」、「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」か、「よくなった」か「悪くなった」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

また、22 の生活環境評価項目を次の7分野に区分し、分野ごとのまとめりでも評価結果を考察した。

◆ 道路・交通 (ハード整備)

「バスの便などの地域交通」

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」

「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」

□ 商業・経済

「商店街の振興」

● 環境配慮 (緑化・水辺環境・ごみ分別)

「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」

「公園の管理、整備」

「緑の保全と緑化の推進」

「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」

「地球温暖化への対策」

▲ 安全(防災・防犯)

「災害対策」

「防犯対策」

△ 保健・衛生

「食品衛生・環境衛生の監視・指導」

「感染症・生活習慣病など保健推進」

◇ 福祉

「子育て支援や青少年の健全育成」

「高齢者福祉」

「障害者福祉」

「経済的に困っている人の支援」

「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」

■ 区民サービス

「地域活動支援」

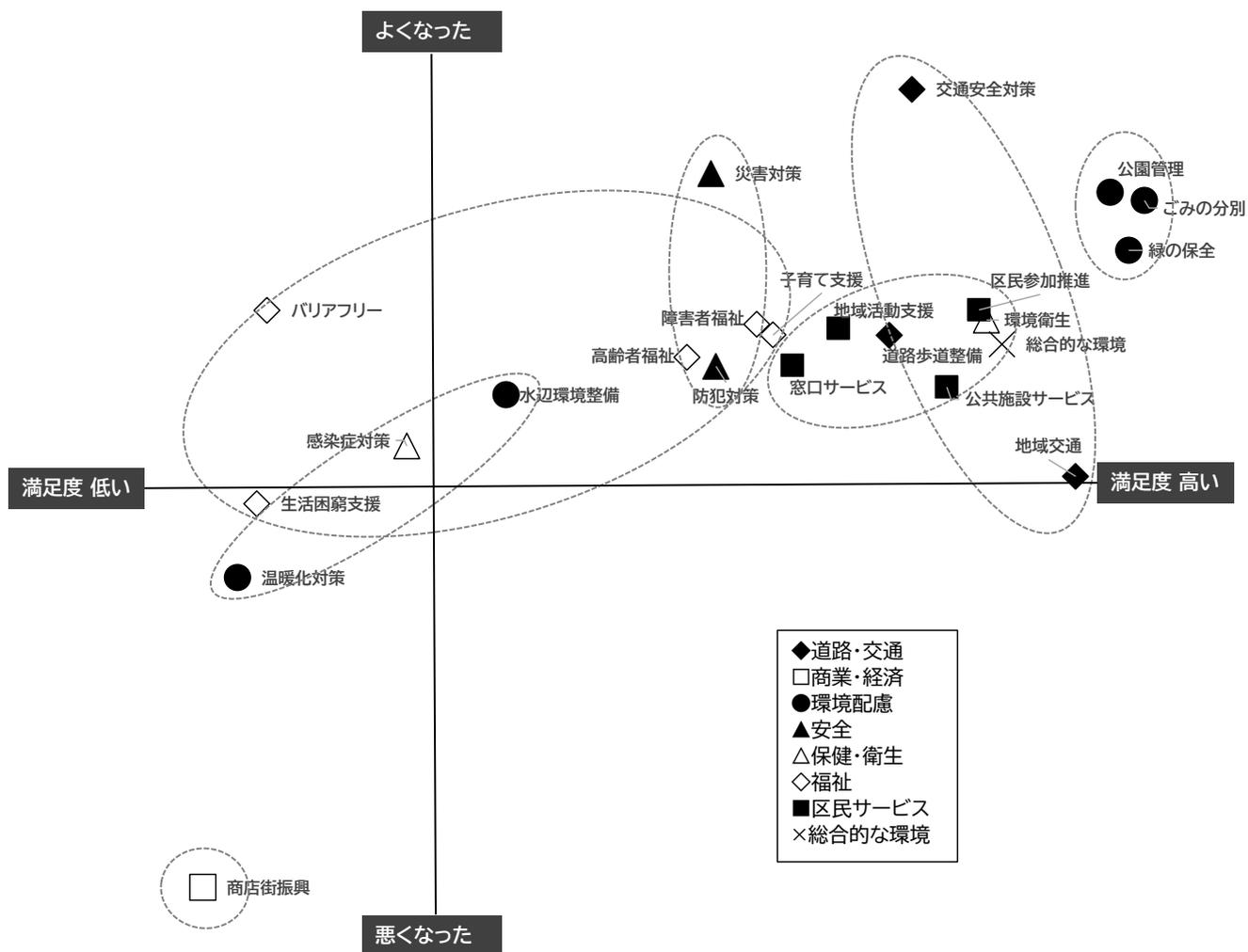
「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」

「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」

「身近な住民窓口サービス」

× 総合的な環境(総合評価)

「お住まいの周辺の総合的な環境」

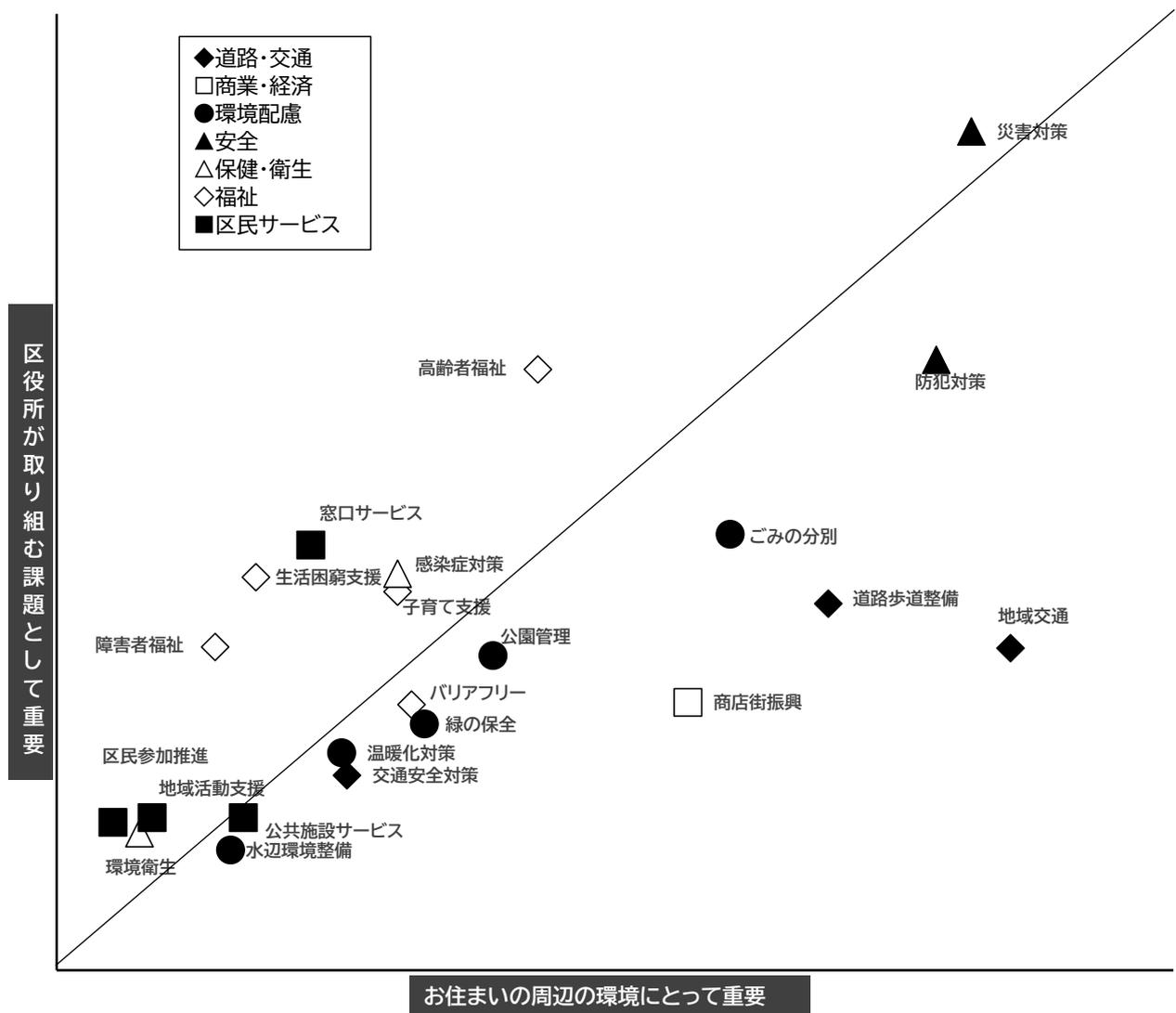


上図に示されるように、第一象限(満足度が高く、以前に比べて良くなった)から第三象限(満足度が低く、以前に比べて悪くなった)までに区分される。

- 多くの項目が第一象限(満足度が高く、以前に比べて良くなった)に位置しており、「お住まいの周辺の総合的な環境」も第一象限に位置している。「お住まいの周辺の総合的な環境」以上に評価が高かったのは、「公園の管理、整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「緑の保全と緑化の推進」、「放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策」、「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」である。
- 第二象限(以前に比べると良くなってはいるが、満足度はまだ低い)に属しているのは、「誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー」、「感染症・生活習慣病など保健推進」である。
- 第三象限(満足度が低く、以前に比べて悪くなった)に属する項目は、「経済的に困っている人の支援」、「地球温暖化への対策」、「商店街の振興」である。
- 分野別では、「環境配慮」の一部、「道路・交通」、「区民サービス」の評価が高く、「環境配慮」の一部及び「商業・経済」の評価が低いという結果となっている。

(7) 生活環境の重要度×区役所への期待

22 の生活環境評価項目について、住まいの周辺の環境にとっての重要度と、区役所が取り組む課題としての重要度をプロットした。



- ・ お住まいの周辺の環境にとっての重要度が高く、かつ、区役所が取り組む課題としても重要度が高かったのは「災害対策」、「防犯対策」、「高齢者福祉」、「ごみの分別」である。
- ・ 「地域交通」、「道路歩道整備」、「商店街振興」などは住まいの周辺の環境にとっての重要度は高いが、区役所が取り組む課題としては重要度が下がっている。

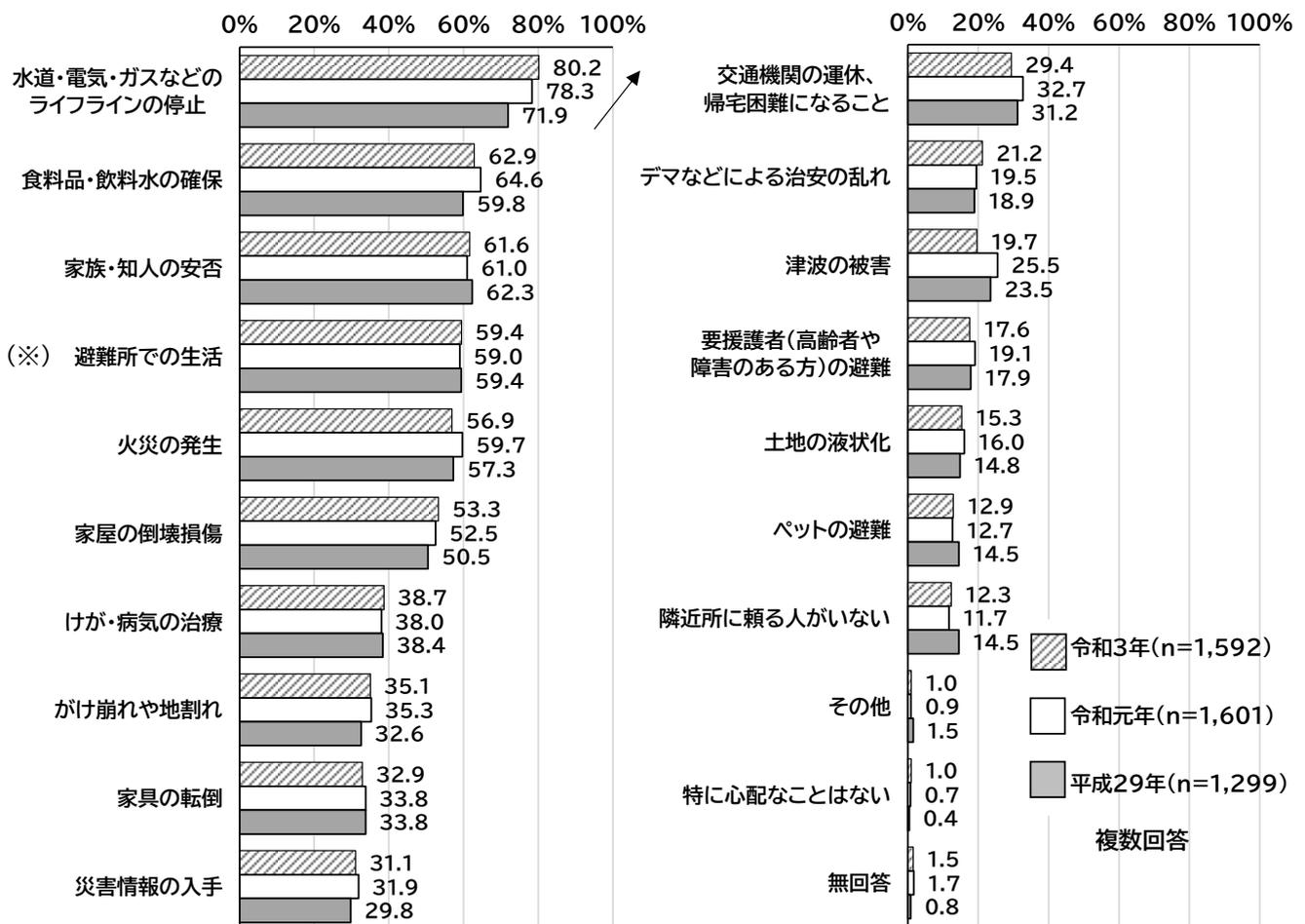
4. 災害対策について

(1) 大地震時に心配なこと

問 15 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことは何ですか。(複数回答)

「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」が80.2%で最も多い

- 「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」が80.2%で最も多く、次いで「食料品・飲料水の確保」(62.9%)、「家族・知人の安否」(61.6%)、「避難所での生活」(59.4%)、「火災の発生」(56.9%)の順となっている。
- 一方、「特に心配なことはない」は1.0%であり、ほとんどの方は大地震が起きたときに何かしらの心配がある。
- 経年で比較すると、「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」が増加傾向となっている。



(※) 平成29年・令和元年調査では『避難所』は『避難場所』

■ 性年代別 大地震時に心配なこと（複数回答）

- ・ 性年代別では、「家族・知人の安否」は、女性の40代以下で全体より高い。
- ・ 「避難所での生活」は、女性の20代以下と40代で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

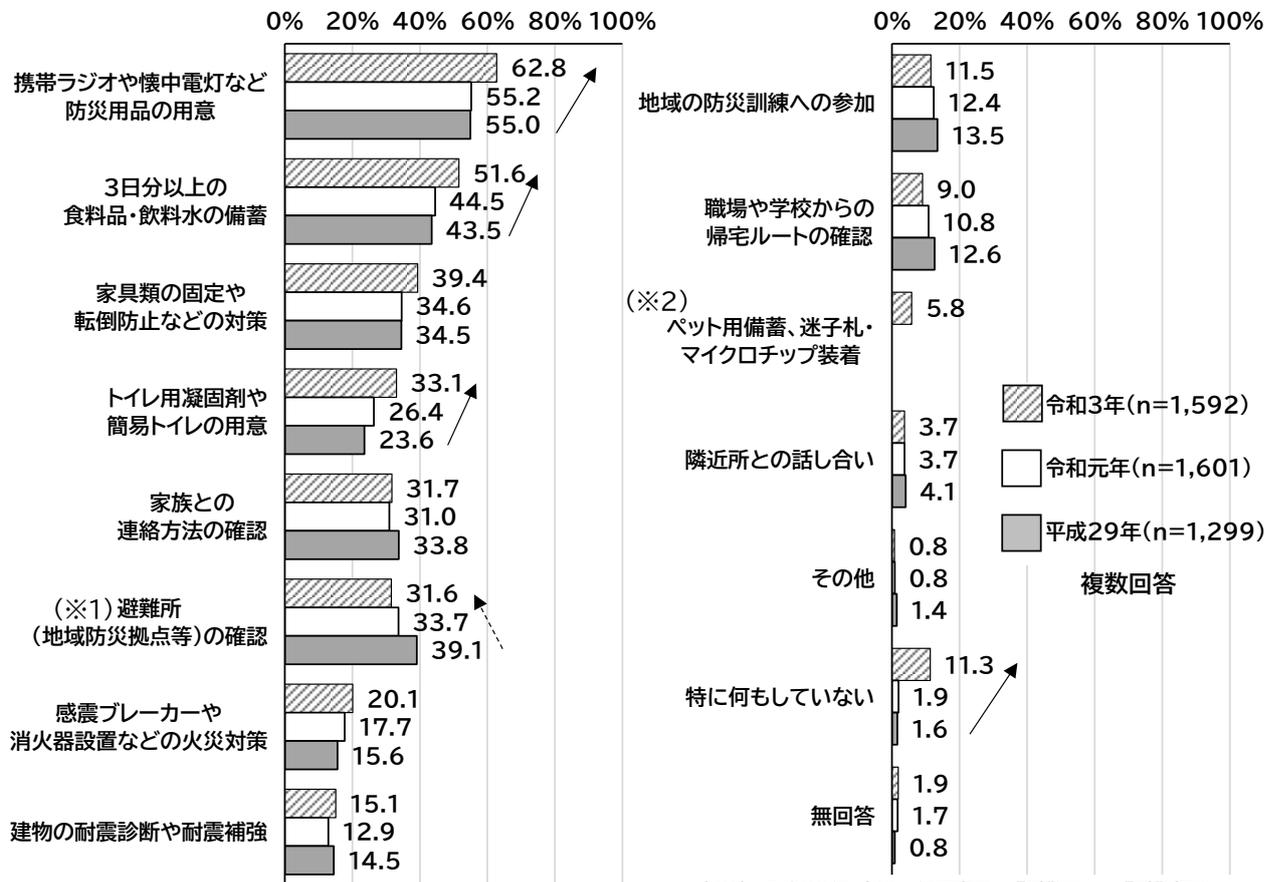
	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
水道・電気・ガスなどのライフラインの停止	80.2	-6.9	-11.7	-6.0	-3.6	6.4	4.9	-4.8	-12.0	-2.8	6.0	6.1	2.1
食料品・飲料水の確保	62.9	-0.4	-1.5	3.8	6.7	1.8	-0.2	5.6	-0.2	-3.5	3.6	-1.3	-3.7
家族・知人の安否	61.6	-9.8	-3.7	4.0	1.9	-0.3	-16.0	15.1	13.6	12.6	4.3	5.0	-4.5
避難所での生活	59.4	-0.5	-13.8	-10.0	-6.4	-9.0	-5.5	13.7	3.2	11.7	3.2	0.7	2.6
火災の発生	56.9	-3.7	-9.5	-3.1	1.4	3.6	3.4	-10.3	-3.6	-19.4	0.9	5.4	4.8
家屋の倒壊損傷	53.3	0.3	-2.4	-0.6	3.3	-2.0	1.6	0.2	-3.2	0.6	3.4	9.1	-1.8
けが・病気の治療	38.7	-3.3	-5.4	-5.4	6.5	-3.4	6.0	-1.7	-7.9	-1.2	-2.3	3.3	4.6
がけ崩れや地割れ	35.1	6.0	-1.7	9.0	13.6	-0.6	-7.9	14.3	5.6	4.0	3.1	1.2	-10.9
家具の転倒	32.9	2.8	-3.1	-11.4	2.7	1.5	0.9	5.4	-5.4	-11.0	0.6	4.0	4.3
災害情報の入手	31.1	-11.5	-4.8	-4.2	2.0	-0.8	-2.1	-2.3	3.0	0.2	3.6	5.1	1.5
交通機関の運休、帰宅困難になること	29.4	3.1	-1.3	-2.5	3.9	-3.3	-13.6	21.3	13.5	3.1	9.9	-1.9	-9.5
デマなどによる治安の乱れ	21.2	0.3	-3.6	3.6	3.2	0.7	-1.9	-3.4	-1.4	5.4	-2.7	-1.6	1.9
津波の被害	19.7	3.9	13.7	-1.4	3.8	-1.2	-5.2	17.3	1.2	3.8	-1.2	3.5	-6.5
要援護者(高齢者や障害のある方)の避難	17.6	-14.0	-15.8	-6.8	-2.8	-2.5	5.2	-6.6	-7.7	-7.4	1.5	-0.2	12.9
土地の液状化	15.3	11.5	16.3	1.9	9.0	-9.4	-6.1	12.1	2.3	2.6	-0.3	-2.3	-4.0
ペットの避難	12.9	6.7	-0.7	-3.3	6.2	-5.4	-3.6	0.8	3.5	3.2	11.3	2.3	-5.5
隣近所に頼る人がいない	12.3	-3.4	0.0	-0.5	-0.1	-6.4	-0.5	2.8	3.1	-1.4	2.1	-3.6	2.2
特に心配なことはない	1.0	-1.0	2.5	0.1	0.7	-1.0	1.2	-1.0	0.1	-1.0	-1.0	-0.3	0.1
その他	1.0	0.8	-1.0	0.1	-0.1	0.7	-0.6	-1.0	1.2	-1.0	0.2	-1.0	0.8

(2) 大地震に対する準備

問 16 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(複数回答)

「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」が62.8%で最も多い

- ・ 「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」が62.8%で最も多く、次いで「3日以上の食料品・飲料水の備蓄」(51.6%)、「家具類の固定や転倒防止などの対策」(39.4%)、「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」(33.1%)、「家族との連絡方法の確認」(31.7%)、「避難所(地域防災拠点等)の確認」(31.6%)の順となっている。
- ・ 一方、「特に何もしていない」は11.3%となっている。
- ・ 経年で比較すると、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」、「3日以上の食料品・飲料水の備蓄」、「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」、「特に何もしていない」で増加傾向となっており、「避難所(地域防災拠点等)の確認」で減少傾向となっている。



(※1) 平成29年・令和元年調査では『避難所』は『避難場所』

(※2) 平成29年・令和元年調査では選択肢「ペット用備蓄、迷子札・マイクロチップ装着」はない

■ 性年代別 大地震に対する準備（複数回答）

- ・ 性年代別では、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」は、女性の30代以下で全体より低い。一方、「女性60代」で全体より高い。
- ・ 「家具類の固定や転倒防止などの対策」は、「男性30代」で全体より低い。
- ・ 「トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意」は、女性より男性のほうが低い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

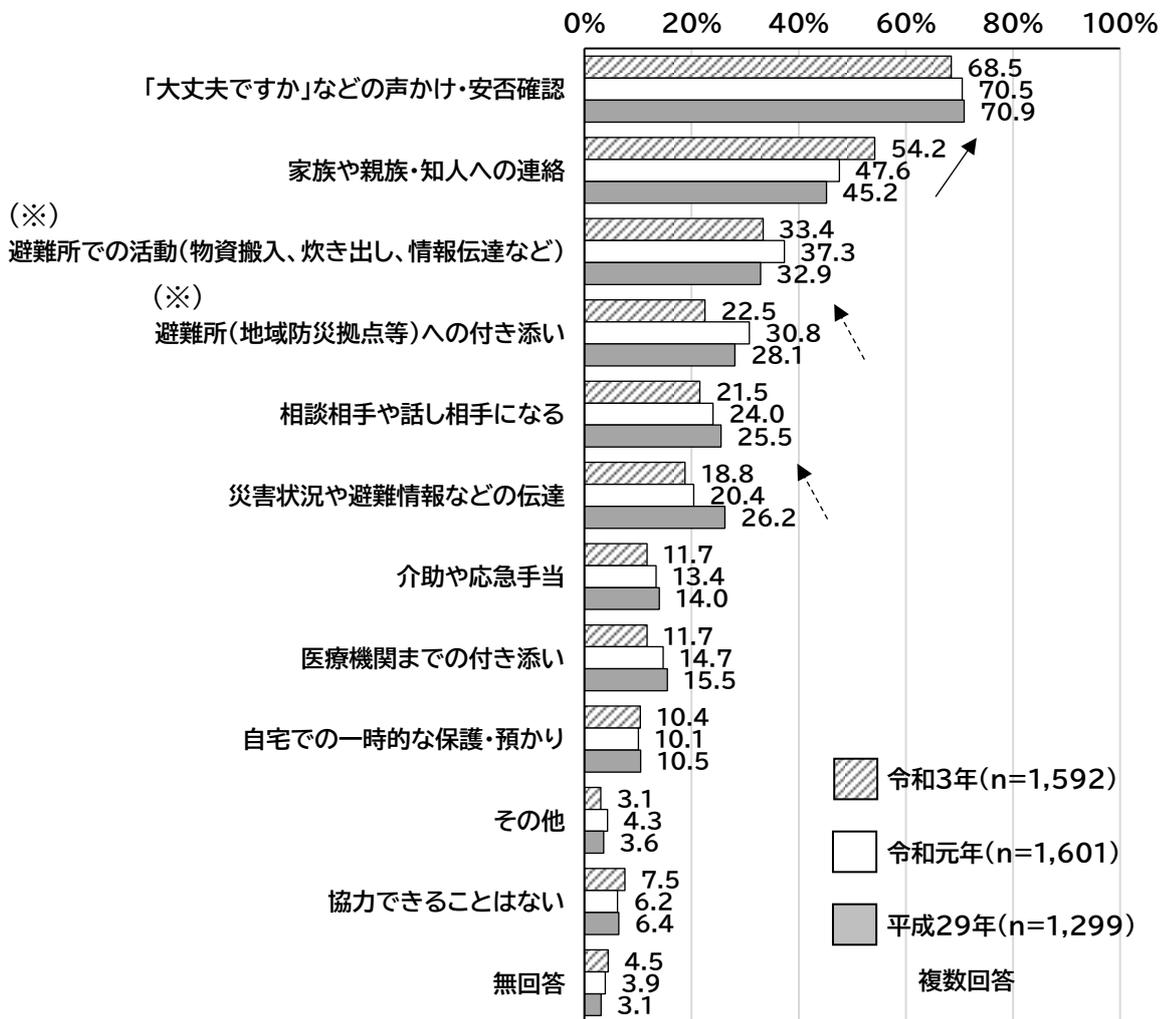
	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意	62.8	-7.4	-6.6	-3.6	-7.1	-3.9	-7.0	-10.7	-12.2	-1.0	-1.4	13.3	3.9
3日分以上の食料品・飲料水の備蓄	51.6	-6.9	-9.5	3.3	-1.1	1.4	-0.7	0.5	0.1	-1.6	-0.7	2.8	4.5
家具類の固定や転倒防止などの対策	39.4	-9.0	-13.1	-0.7	-2.9	3.5	6.2	4.5	-7.5	-4.2	4.0	1.2	0.7
トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意	33.1	-11.7	-12.1	-5.1	-4.4	-12.1	-8.5	-0.2	5.4	13.0	3.9	14.7	4.5
家族との連絡方法の確認	31.7	-4.9	-0.1	-2.7	2.2	6.1	-1.9	-4.3	3.1	-4.4	5.3	4.5	-0.5
避難所(地域防災拠点等)の確認	31.6	0.5	-5.3	-1.5	-2.9	0.3	-6.2	2.7	9.1	5.1	-7.7	7.5	-4.3
感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策	20.1	-2.2	-11.3	-4.0	-3.6	3.4	7.1	-7.8	-11.3	-8.4	-3.9	5.3	9.0
建物の耐震診断や耐震補強	15.1	4.6	-8.1	0.0	-1.2	0.9	1.2	2.7	1.9	0.5	-2.4	0.6	1.9
地域の防災訓練への参加	11.5	-7.9	-9.7	-5.0	-3.7	1.4	4.3	-6.0	7.1	-2.1	-3.4	0.8	9.1
職場や学校からの帰宅ルートの確認	9.0	-3.7	-8.5	12.5	1.4	-4.8	-6.4	-6.0	4.1	7.4	4.8	-4.0	5.5
ペット用備蓄、迷子札・マイクロチップ装着	5.8	-4.1	1.2	-3.7	2.0	-2.5	-1.5	-3.1	2.9	2.8	6.3	2.1	-2.7
隣近所との話し合い	3.7	-0.1	-2.0	-1.6	-0.2	-0.3	1.6	-2.3	1.5	2.1	-2.0	0.6	3.4
特に何もしていない	11.3	-6.6	18.5	4.8	3.5	-1.2	0.1	6.5	0.8	-1.9	-4.4	-7.0	-2.4
その他	0.8	1.0	1.0	-0.8	-0.8	0.9	0.6	-0.8	-0.8	0.8	-0.8	-0.8	0.3

(3) 災害時の避難支援

問 17 実際に震災が起こった際に、あなたは、こうした要援護者の避難支援に関してどのような協力ができるのだと思いますか。(複数回答)

「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認」が68.5%で最も多い

- 「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認」が68.5%で最も多く、次いで「家族や親族・知人への連絡」(54.2%)、「避難所での活動(物資搬入、炊き出し、情報伝達など)」(33.4%)、「避難所(地域防災拠点等)への付き添い」(22.5%)、「相談相手や話し相手になる」(21.5%)の順となっている。
- 一方、「協力できることはない」は7.5%。
- 経年で比較すると、「家族や親族・知人への連絡」で増加傾向となっており、「避難所(地域防災拠点等)への付き添い」、「災害状況や避難情報などの伝達」で減少傾向となっている。



(※) 平成29年・令和元年調査では『避難所』は『避難場所』

■ 性年代別 災害時の避難支援（複数回答）

- ・ 性年代別では、「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認は、女性の20代以下と50代で全体より高く、70代以上で全体より低い。
- ・ 「避難所での活動(物資搬入、炊き出し、情報伝達など)」は、男性の40代と60代で全体より高く、男性、女性ともに70代以上で全体より低い。
- ・ 「避難所(地域防災拠点等)への付き添い」は、「男性60代」、「女性20代以下」で全体より高い。
- ・ 「相談相手や話し相手になる」は、「女性40代」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認	68.5	-7.8	-1.8	6.8	4.6	6.3	-7.1	11.0	9.6	8.1	11.3	5.4	-14.6
家族や親族・知人への連絡	54.2	6.5	3.7	-3.7	2.3	1.3	-5.1	0.6	7.3	5.2	0.1	2.3	-2.4
避難所での活動(物資搬入、炊き出し、 情報伝達など)	33.4	4.1	7.0	14.0	5.8	17.9	-11.4	7.7	7.3	4.9	6.5	5.8	-19.2
避難所(地域防災拠点等)への付き添い	22.5	0.7	-4.9	7.6	9.7	12.8	-7.1	11.8	1.7	-2.2	4.1	1.4	-8.7
相談相手や話し相手になる	21.5	3.5	1.3	2.1	-1.5	-8.1	-8.8	5.9	4.8	13.6	1.0	5.3	-0.6
災害状況や避難情報などの伝達	18.8	-0.9	0.5	15.6	7.3	5.6	-3.4	7.2	2.1	4.7	-0.9	-0.7	-9.9
介助や応急手当	11.7	2.6	2.4	-2.0	4.0	3.4	0.2	3.4	-2.9	8.6	-0.1	-2.3	-5.7
医療機関までの付き添い	11.7	2.6	7.6	6.6	4.8	2.6	-2.9	3.4	-0.7	6.3	-0.1	-4.4	-5.3
自宅での一時的な保護・預かり	10.4	0.3	-5.2	2.5	2.6	3.0	-1.2	-2.2	2.8	5.2	-1.8	-3.2	-0.9
協力できることはない	7.5	5.0	-0.5	-4.3	-1.5	-2.5	2.6	-0.7	-2.0	-2.1	-3.5	-2.5	4.9
その他	3.1	-3.1	-3.1	-2.0	-2.2	-1.4	2.6	-0.3	-3.1	-1.5	1.0	-0.2	1.9

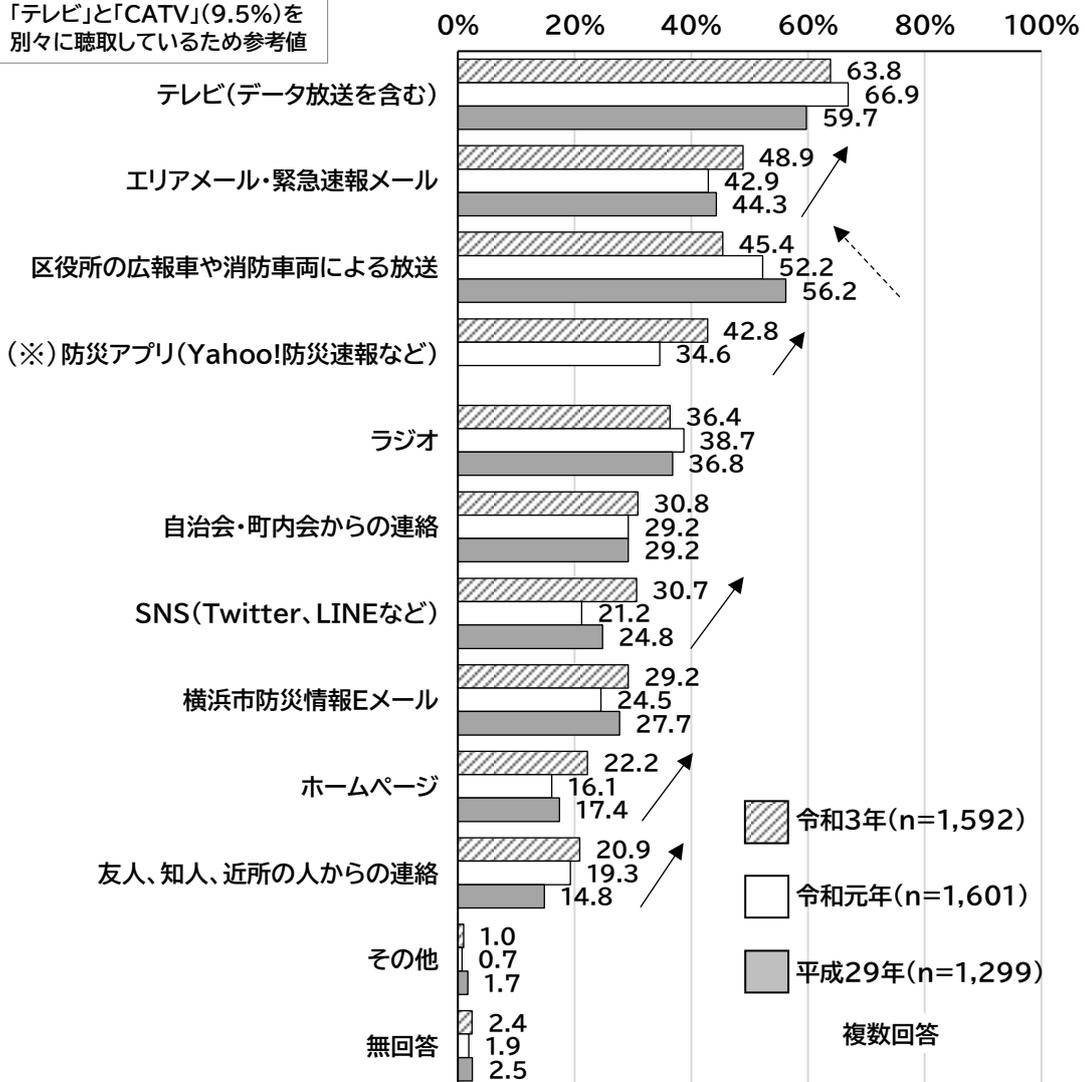
(4) 災害時の避難情報

問 18 あなたは、豪雨や台風が発生している場合の避難に関する情報(「高齢者等避難」、「避難指示」など)について、どのような手段で入手できるとよいと思いますか。(複数回答)

「テレビ(データ放送を含む)」が63.8%で最も多い

- ・ 「テレビ(データ放送を含む)」が63.8%で最も多く、次いで「エリアメール・緊急速報メール」(48.9%)、「区役所の広報車や消防車両による放送」(45.4%)、「防災アプリ(Yahoo!防災速報など)」(42.8%)、「ラジオ」(36.4%)の順となっている。
- ・ 経年で比較すると、「エリアメール・緊急速報メール」、「防災アプリ(Yahoo!防災速報など)」、「SNS(Twitter、LINE など)」、「ホームページ」、「友人、知人、近所の人からの連絡」で増加傾向となっており、「区役所の広報車や消防車両による放送」で減少傾向となっている。

※平成29年では、「テレビ」と「CATV」(9.5%)を別々に聴取しているため参考値



(※) 平成29年では選択肢「防災アプリ(Yahoo!防災速報など)」はない

■ 性年代別 災害時の避難情報（複数回答）

- ・ 性年代別では、「テレビ(データ放送を含む)」は、「女性 30代」で全体より低い。
- ・ 「エリアメール・緊急速報メール」では、男性の 40～50 代、女性の 30～60 代で全体より高く、男性、女性ともに 70 代以上で全体より低い。
- ・ 「防災アプリ(Yahoo!防災速報など)」は、男性、女性ともに 40～50 代で全体より高く、70 代以上で全体より低い。
- ・ 「自治会・町内会からの連絡」は、男性、女性ともに 70 代以上で全体より高く、男性の 30～60 代で全体より低い。
- ・ 「SNS(Twitter、LINE など)」は、男性、女性ともに 50 代以下で全体より高く、70 代以上で全体より低い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

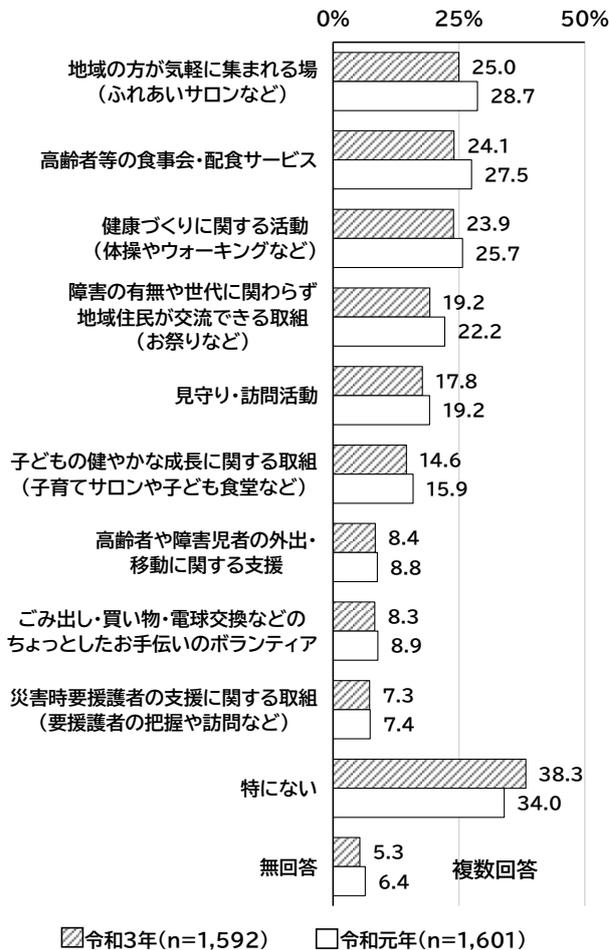
	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
テレビ(データ放送を含む)	63.8	-8.5	-5.9	-4.7	6.6	6.8	6.8	-9.0	-13.3	-4.4	-1.4	8.6	0.0
エリアメール・緊急速報メール	48.9	4.7	7.3	7.8	13.7	4.1	-21.7	1.8	10.5	16.8	20.5	10.6	-24.0
区役所の広報車や消防車両による放送	45.4	-9.7	-1.6	-8.9	-4.5	3.4	1.1	-4.3	5.1	-1.7	0.3	2.4	8.5
防災アプリ(Yahoo!防災速報など)	42.8	5.4	2.8	20.7	18.1	8.5	-19.5	9.3	7.8	15.0	11.6	6.5	-23.6
ラジオ	36.4	-6.0	-10.1	-6.3	10.6	2.3	8.4	-11.7	-13.3	-2.8	-5.7	7.8	1.6
自治会・町内会からの連絡	30.8	-4.1	-15.1	-11.5	-12.6	-12.4	11.7	-8.9	-7.8	-4.3	-5.4	-3.3	21.3
SNS(Twitter、LINEなど)	30.7	24.7	27.2	14.5	5.9	8.0	-20.6	33.7	15.5	16.2	12.7	4.6	-21.8
横浜市防災情報Eメール	29.2	-7.8	0.6	-0.2	9.9	7.8	-6.8	-3.2	-8.3	9.9	10.1	2.7	-7.6
ホームページ	22.2	1.0	18.2	15.5	15.2	-0.3	-12.5	18.9	9.7	12.2	4.4	4.8	-18.3
友人、知人、近所の人からの連絡	20.9	5.9	0.2	-10.1	-6.1	-9.1	1.1	2.4	3.3	3.4	0.0	7.8	9.3
その他	1.0	0.8	0.7	-1.0	-0.1	0.7	-0.1	0.4	0.1	-0.2	-0.4	0.4	0.1

5. 地域福祉保健について

(1) 福祉保健に関する取組

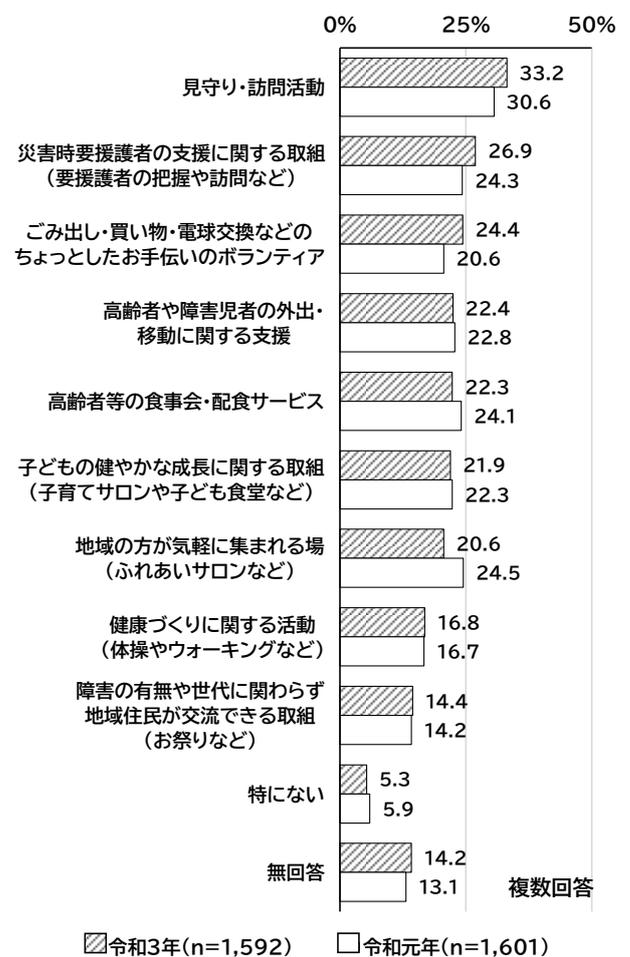
問 19 あなたのお住まいの地域で行われている福祉保健に関する取組について知っているものを教えてください。(複数回答)

「地域の方が気軽に集まれる場」が(25.0%)が最も多い。



問 19-1 上記1~10の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選びご記入ください。

「見守り・訪問活動」(33.2%)が最も多い。



(地域で行われている福祉保健に関する取組で知っている取組について)

- 「地域の方が気軽に集まれる場(ふれあいサロンなど)」が25.0%で最も多く、次いで「高齢者等の食事会・配食サービス」(24.1%)、「健康づくりに関する活動(体操やウォーキングなど)」(23.9%)の順となっている。
- 前回調査と比較すると、全ての項目でほぼ同じ又は減少している。特に上位に挙げられている「地域の方が気軽に集まれる場(ふれあいサロンなど)」、「高齢者等の食事会・配食サービス」、「障害の有無や世代に関わらず地域住民が交流できる取組(お祭りなど)」で3ポイント以上減少している。

(地域で充実していくと良いと思う取組について)

- 「見守り・訪問活動」が33.2%で最も多く、次いで「災害時要援護者の支援に関する取組(要援護者の把握や訪問など)」(26.9%)、「ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア」(24.4%)の順となっている。
- 前回調査と比較すると、「ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア」で3.8ポイント増加し、「地域の方が気軽に集まれる場(ふれあいサロンなど)」で3.9ポイント減少している。

■ 性年代別 地域で行われている福祉保健に関する取組の認知度(複数回答)

- ・ 性年代別では、全体的に、男性より女性の認知度が高い傾向にある。
- ・ 「高齢者等の食事会・配食サービス」は、女性の60代以上で全体より高く、男性、女性ともに30代以下で全体より低い。
- ・ 「健康づくりに関する活動(体操やウォーキングなど)」、「障害の有無や世代に関わらず地域住民が交流できる取組(お祭りなど)」は、「女性60代」で全体より高い。
- ・ 「子どもの健やかな成長に関する取組(子育てサロンや子ども食堂など)」は、女性の30～40代で全体より高い。
- ・ 「特にない」は男性の50代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
地域の方が気軽に集まれる場(ふれあいサロンなど)	25.0	-7.1	-14.5	-7.8	-9.3	-2.3	-3.9	-3.1	0.3	8.6	3.3	7.6	7.3
高齢者等の食事会・配食サービス	24.1	-11.6	-10.0	-7.9	-6.7	-8.1	-3.4	-15.8	-13.1	-4.5	2.5	22.3	15.3
健康づくりに関する活動(体操やウォーキングなど)	23.9	-11.4	-11.7	-10.0	0.4	-2.9	-5.5	0.7	-5.3	0.3	6.7	11.6	5.5
障害の有無や世代に関わらず地域住民が交流できる取組(お祭りなど)	19.2	-1.4	-10.4	-9.5	-7.9	-5.8	1.0	2.7	-1.6	0.3	3.9	11.2	3.8
見守り・訪問活動	17.8	-5.3	-3.7	-5.9	-5.6	-1.8	0.6	1.4	-3.5	1.8	-1.6	0.3	7.0
子どもの健やかな成長に関する取組(子育てサロンや子ども食堂など)	14.6	-9.2	3.0	-0.6	-6.7	-8.7	-9.3	3.2	18.4	19.0	6.8	7.2	-6.8
高齢者や障害児者の外出・移動に関する支援	8.4	-4.8	-6.7	0.2	2.9	-4.2	-2.7	-5.7	0.4	2.5	4.3	3.9	1.5
ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア	8.3	2.4	-6.5	-5.1	-1.3	-1.6	-0.8	-2.8	-7.2	-2.0	-0.2	2.6	7.0
災害時要援護者の支援に関する取組(要援護者の把握や訪問など)	7.3	-7.3	-7.3	-4.1	-0.3	3.6	1.0	-3.2	-5.1	-1.8	1.4	2.1	3.7
特にない	38.3	22.4	17.8	23.0	11.2	4.5	-2.4	5.5	2.3	-2.4	1.0	-8.6	-16.3

■ 性年代別 地域で充実していくと良いと思う福祉保健に関する取組(最大3つまで)

- ・ 性年代別では、「ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア」は、女性の 50～60 代で全体より高い。
- ・ 「高齢者等の食事会・配食サービス」は、「女性 50 代」で全体より高い。
- ・ 「子どもの健やかな成長に関する取組(子育てサロンや子ども食堂など)」は、男性、女性ともに 40 代以下で全体より高い。

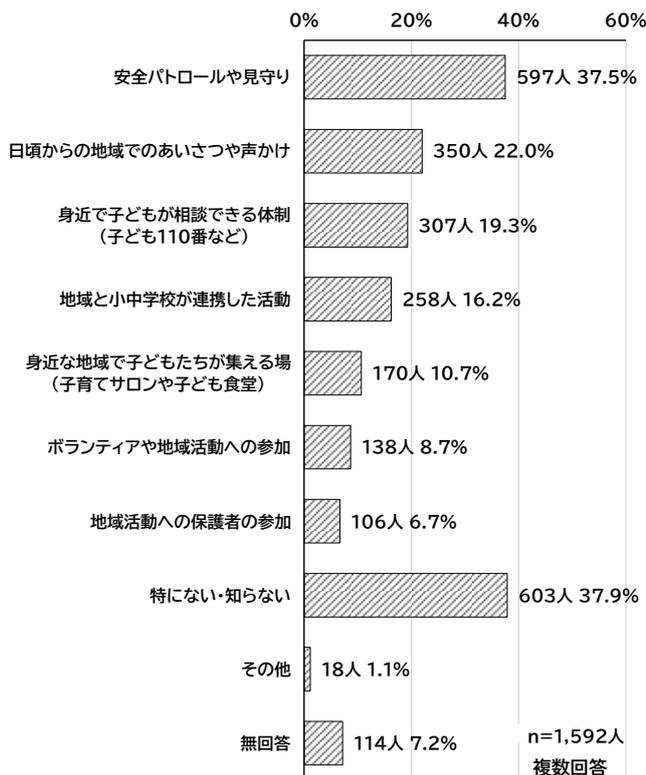
※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
見守り・訪問活動	33.2	-11.7	-8.6	-5.2	-6.0	-4.6	-0.7	-5.2	-4.6	-5.9	-5.6	-0.2	-2.3
災害時要援護者の支援に関する取組 (要援護者の把握や訪問など)	26.9	-7.0	-2.3	-1.1	-1.8	-9.3	-1.2	-2.2	-1.7	-1.9	-0.3	-3.6	-4.2
ごみ出し・買い物・電球交換などの ちょっとしたお手伝いのボランティア	24.4	-2.9	-3.3	-13.6	-2.6	-5.0	-6.0	-1.7	-3.5	-3.0	-10.9	-11.9	-1.5
高齢者や障害児者の外出・移動に関する 支援	22.4	-11.7	-6.6	-0.9	-2.8	-2.8	-0.5	-0.5	-0.4	-2.6	-4.2	-7.3	-4.7
高齢者等の食事会・配食サービス	22.3	-13.4	-8.3	-1.9	-3.8	-3.8	-0.5	-4.5	-9.1	-5.1	-10.1	-4.5	-3.2
子どもの健やかな成長に関する取組 (子育てサロンや子ども食堂など)	21.9	-8.4	-8.4	-20.0	-1.9	-4.3	-11.0	-2.3	-22.0	-9.5	-2.8	-2.4	-14.5
地域の方が気軽に集まれる場(ふれあい サロンなど)	20.6	-0.8	-1.3	-9.9	-3.2	-3.8	-0.0	-0.1	-5.2	-6.5	-2.1	-6.9	-7.8
健康づくりに関する活動(体操やウォー キングなど)	16.8	-6.1	-6.3	-0.4	-1.4	-5.9	-0.6	-5.1	-0.4	-5.9	-2.4	-1.6	-3.0
障害の有無や世代に関わらず地域住民 が交流できる取組(お祭りなど)	14.4	-7.0	-4.9	-1.4	-4.9	-7.7	-0.4	-2.0	-8.6	-1.2	-5.8	-0.0	-0.6
特になし	5.3	-9.0	-12.3	-9.8	-0.8	-1.1	-2.6	-2.9	-2.4	-2.5	-3.5	-3.1	-3.9

(2) 子どもたちに対する取組

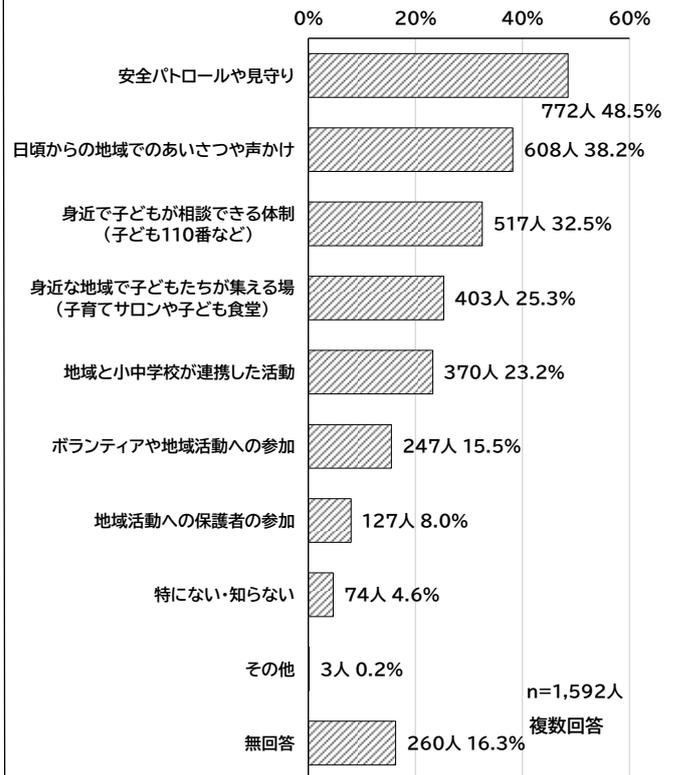
問 20 子どもたちが地域で安心して過ごし、健やかに成長するために、様々な取り組みが行われていますが、あなたのお住まいの地域で行われている取組を教えてください。
(複数回答)

「安全パトロールや見守り」(37.5%)
が最も多い。



問 20-1 上記1~9の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選びご記入ください。

「安全パトロールや見守り」(48.5%)
が最も多い。



(地域で行われている子どもたちに対する取組について)

- ・ 「安全パトロールや見守り」が37.5%で最も多く、次いで「日頃からの地域でのあいさつや声かけ」(22.0%)、「身近で子どもが相談できる体制 (子ども110番など)」(19.3%)の順となっている。
- ・ 一方、「特にない・知らない」が37.9%

(地域で充実していくと良いと思う子どもたちに対する取組について)

- ・ 「安全パトロールや見守り」が48.5%で最も多く、次いで「日頃からの地域でのあいさつや声かけ」(38.2%)、「身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)」(32.5%)の順となっている。

■ 性年代別 地域で行われている子どもたちに対する取組の認知度(複数回答)

- ・ 性年代別では、全体的に、男性よりも女性の認知度が高い傾向がある。
- ・ 「安全パトロールや見守り」は、女性の 20 代以下と 40 代で全体より高い。
- ・ 「日頃からの地域でのあいさつや声かけ」は、「女性 20 代以下」で全体より高い。
- ・ 「身近で子どもが相談できる体制(子ども 110 番など)」は、女性の 20 代以下と 40～50 代で全体より高い。
- ・ 「地域と小中学校が連携した活動」、「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」は、「女性 40 代」で全体より高い。
- ・ 「特にない・知らない」は、男性の 30 代と 70 代以上で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
安全パトロールや見守り	37.5	5.4	9.4	4.2	5.1	2.0	-1.2	14.6	-0.1	13.3	8.2	7.4	-5.9
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	22.0	0.6	6.2	9.2	0.6	4.3	7.9	16.4	3.3	3.8	2.3	3.9	5.0
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	19.3	9.3	3.5	-1.0	-2.8	-6.7	9.2	12.2	-3.9	13.5	13.7	4.6	-6.9
地域と小中学校が連携した活動	16.2	-0.1	0.4	4.2	0.3	-2.8	-5.7	3.0	1.4	18.2	5.8	2.4	-6.6
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	10.7	1.8	3.4	-2.1	-3.7	-1.4	5.4	5.8	2.5	14.3	0.9	2.4	-3.2
ボランティアや地域活動への参加	8.7	0.3	-1.7	-3.3	-2.6	0.6	2.5	5.0	-3.2	1.5	3.5	0.8	1.6
地域活動への保護者の参加	6.7	-1.3	0.4	-3.4	2.0	0.1	2.7	-1.2	-2.3	7.4	2.0	0.6	-1.0
特にない・知らない	37.9	6.8	16.5	3.0	1.3	6.7	10.8	-9.1	3.9	-10.5	-6.1	5.3	-3.5
その他	1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-0.3	0.6	-1.1	-1.1	1.2	0.0	0.3	0.3

■ 家族構成別 地域で行われている子どもたちに対する取組の認知度(複数回答)

- ・ 家族構成別では、「安全パトロールや見守り」、「身近で子どもが相談できる体制(子ども 110 番など)」、「地域と小中学校が連携した活動」は、「子と同居(第一子在学中)」で全体より高い。
- ・ 「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」は、「子と同居(第一子未就学)」で全体より高い。
- ・ 「特にない・知らない」は、「ひとり暮らし(70代未満)」で全体より高い。

※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	ひとり暮らし		夫婦のみ		子と同居			親と同居	三世帯世帯
		70代 未満	70代 以上	70代 未満	70代 以上	第一子 未就学	第一子 在学中	第一子 学校教育 終了		
n=	1,592	109	116	225	184	53	218	289	148	64
安全パトロールや見守り	37.5	15.5	17.7	-4.6	-7.6	-9.2	21.2	6.8	3.7	12.5
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	22.0	11.9	-4.7	-4.7	3.6	0.7	9.2	-1.9	1.0	14.0
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	19.3	11.9	-8.9	2.9	-9.5	-6.1	10.5	4.2	6.4	2.6
地域と小中学校が連携した活動	16.2	11.6	12.8	-4.7	-4.2	-6.8	24.2	2.5	-2.0	11.9
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	10.7	-4.3	-6.4	1.3	-4.7	17.6	8.6	-0.3	0.1	0.3
ボランティアや地域活動への参加	8.7	-5.9	0.0	-1.6	0.6	-6.8	2.3	1.0	4.2	0.7
地域活動への保護者の参加	6.7	-3.9	-4.1	-3.1	-1.8	-6.7	6.6	2.7	0.8	2.7
特にない・知らない	37.9	23.6	7.8	6.1	3.4	5.5	-19.1	-3.6	6.0	-19.1
その他	1.1	0.7	1.5	-0.2	0.5	0.8	-0.2	-0.4	-1.1	-1.1

■ 性年代別 地域で充実していくと良いと思う子どもたちに対する取組(最大3つまで)

- ・ 性年代別では、「安全パトロールや見守り」は、「女性 60代」で全体より高い。
- ・ 「身近で子どもが相談できる体制(子ども 110番など)」は、「男性 30代」、「女性 20代以下」で全体より高い。
- ・ 「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」は、「女性 20代以下」で全体より高い。
- ・ 「地域と小中学校が連携した活動」は、女性の 30～40代で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
安全パトロールや見守り	48.5	-3.8	7.6	-3.3	9.8	0.2	-5.9	9.0	5.4	3.9	5.3	10.2	-10.9
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	38.2	-2.5	-3.1	2.7	-4.3	-4.6	-6.6	5.6	-3.0	0.9	2.8	3.8	6.8
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	32.5	3.2	13.1	3.0	0.6	-3.9	-9.2	15.5	4.9	5.0	8.0	7.4	-10.1
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	25.3	-0.3	1.0	4.8	-0.1	3.3	-0.8	14.4	7.7	4.4	-3.3	3.7	-8.3
地域と小中学校が連携した活動	23.2	1.8	6.6	5.8	3.9	-2.2	-7.9	-4.1	10.8	12.7	2.2	3.6	-9.8
ボランティアや地域活動への参加	15.5	-8.4	-6.7	-1.5	-2.5	9.7	2.5	2.3	-8.9	-2.2	1.2	-1.0	2.9
地域活動への保護者の参加	8.0	-2.6	-1.0	3.9	-2.8	1.3	-1.4	1.6	-4.7	3.7	-2.8	0.7	2.0
特にない・知らない	4.6	7.9	7.6	7.2	4.9	0.4	-3.3	1.9	3.0	0.0	-2.9	-0.3	-2.9
その他	0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	0.7	0.3	-0.2	-0.2	0.6	-0.2	-0.2	-0.2

■ 家族構成別 地域で充実していくと良いと思う子どもたちに対する取組(最大3つまで)

- ・ 家族構成別では、「安全パトロールや見守り」は、「夫婦のみ(70代未満)」、「子と同居(第一子在学中)」、「親と同居」で全体より高い。
- ・ 「身近で子どもが相談できる体制(子ども 110番など)」は、「夫婦のみ(70代未満)」、「子と同居(第一子未就学)」、「親と同居」で全体より高い。
- ・ 「身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)」、「地域と小中学校が連携した活動」は、「夫婦のみ(70代未満)」、「子と同居(第一子未就学)」で全体より高い。

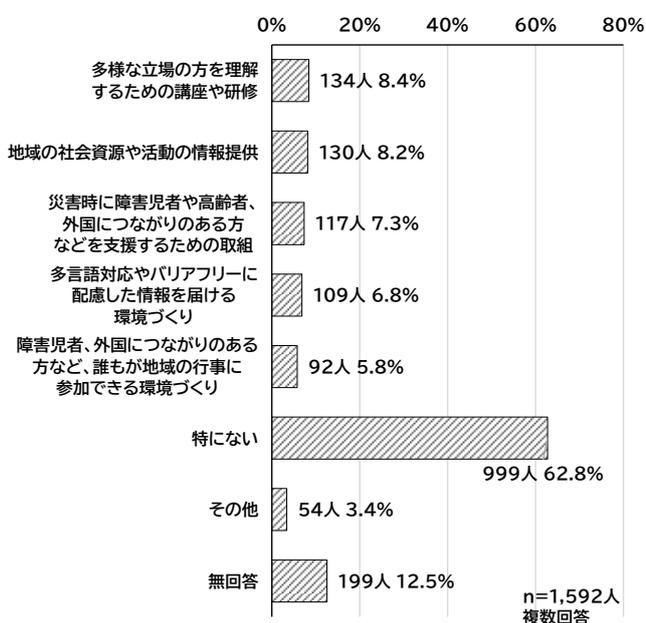
※全体は回答の%、家族構成別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	ひとり暮らし		夫婦のみ		子と同居			親と同居	三世帯世帯
		70代未満	70代以上	70代未満	70代以上	第一子未就学	第一子在学中	第一子学校教育終了		
n=	1,592	109	116	225	184	53	218	289	148	64
安全パトロールや見守り	48.5	2.9	-14.3	13.6	-6.1	-1.2	14.4	11.4	12.4	-5.7
日頃からの地域でのあいさつや声かけ	38.2	-7.9	7.7	0.7	5.4	-19.5	14.5	1.5	0.1	12.6
身近で子どもが相談できる体制(子ども110番など)	32.5	7.0	-23.1	23.6	-10.1	15.4	-14.5	-4.1	17.3	-0.2
身近な地域で子どもたちが集える場(子育てサロンや子ども食堂)	25.3	-3.3	-4.8	14.3	-10.4	26.0	-16.9	-7.1	4.5	-2.7
地域と小中学校が連携した活動	23.2	0.6	-14.4	15.0	-7.1	14.7	7.4	-18.3	1.9	2.0
ボランティアや地域活動への参加	15.5	-5.4	8.0	-0.3	2.9	-11.2	8.9	-4.2	-4.7	12.4
地域活動への保護者の参加	8.0	-1.6	-2.1	1.5	5.1	-9.0	8.7	-1.2	-2.6	8.9
特にない・知らない	4.6	7.3	-7.6	2.8	-6.6	8.9	-4.4	-1.9	2.3	-5.4
その他	0.2	-0.2	0.0	0.0	0.5	-0.5	0.5	-0.5	0.0	0.0

(3) 誰もがいきいきと暮らすための取組

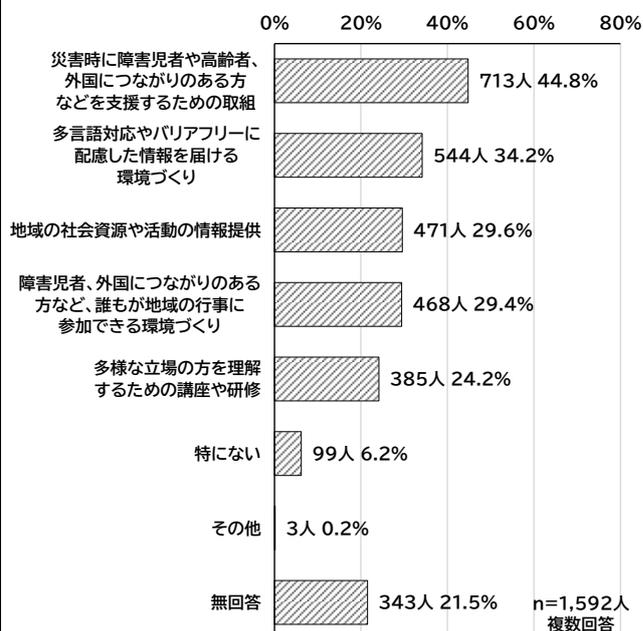
問 21 年齢、性別、国籍、病気や障害の有無などに関わらず、誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らすための取組が地域で行われています。あなたのお住まいの地域で行われている取組で、知っているものを教えてください。(複数回答)

「多様な立場の方を理解するための講座や研修」(8.4%)が最も多いが、どの取組も認知度は1割未満



問 21-1 上記1~7の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選びご記入ください。

「災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組」(44.8%)が最も多い



(誰もがいきいきと暮らすために地域で行われている取組で知っている取組について)

- ・ どの取組も認知度は1割に満たない。
- ・ 一方、「特にない」は62.8%となっている。

(誰もがいきいきと暮らすために地域で充実していくと良いと思う取組について)

- ・ 「災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組」が44.8%で最も多く、次いで「多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり」(34.2%)、「地域の社会資源や活動の情報提供」(29.6%)の順となっている。

■ 性年代別 誰もがいきいきと暮らすために地域で行われている取組の認知度(複数回答)

- ・ 性年代別では、「特にない」が、男性の50代以下で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
多様な立場の方を理解するための講座や研修	8.4	-6.6	-3.2	4.5	-1.5	5.9	-0.1	1.2	0.4	-2.2	1.4	-2.6	0.4
地域の社会資源や活動の情報提供	8.2	0.8	-2.9	4.7	-2.1	-3.1	0.6	1.4	1.7	2.0	-1.2	0.5	-0.4
災害時に障害児者や高齢者、外国につながる のある方などを支援するための取組	7.3	-2.0	-2.1	1.3	-2.1	0.2	0.1	-1.9	1.4	-4.2	-2.1	1.3	2.9
多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届 ける環境づくり	6.8	7.4	7.2	1.8	0.1	-0.1	-1.1	5.5	4.1	0.2	-2.2	-3.9	-1.9
障害児者、外国につながるのある方など、誰も が地域の行事に参加できる環境づくり	5.8	4.9	1.2	0.7	0.3	-1.6	-2.3	-1.7	3.0	1.3	-1.2	-0.7	1.7
特にない	62.8	10.5	9.2	11.4	14.6	3.6	0.0	1.6	2.1	9.1	3.7	3.2	-21.6
その他	3.4	-3.4	-1.6	-3.4	-0.8	-0.9	0.6	-2.0	-0.1	-1.0	1.2	1.7	1.6

■ 性年代別 誰もがいきいきと暮らすために地域で充実していくと良いと思う取組(最大3つまで)

- ・ 性年代別では、「多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり」は、男性、女性ともに20代以下で全体より高い。
- ・ 「障害児者、外国につながるのある方など、誰もが地域の行事に参加できる環境づくり」は、「男性20代以下」、「女性30代」で全体より高い。
- ・ 「多様な立場の方を理解するための講座や研修」は、「女性20代以下」で全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上	20代 以下	30代	40代	50代	60代	70代 以上
n=	1,592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
災害時に障害児者や高齢者、外国につながる のある方などを支援するための取組	44.8	0.1	-7.9	0.4	-5.7	0.6	0.8	5.9	1.4	4.4	7.2	6.7	-6.1
多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届 ける環境づくり	34.2	12.3	9.7	1.3	3.2	-3.1	-9.6	23.4	1.0	8.8	8.0	4.2	-11.1
地域の社会資源や活動の情報提供	29.6	-2.8	0.2	3.7	5.2	4.0	-3.3	0.6	0.1	0.1	-0.1	5.9	-3.0
障害児者、外国につながるのある方など、誰も が地域の行事に参加できる環境づくり	29.4	13.5	2.2	6.1	7.1	0.9	2.6	3.5	12.4	8.1	0.1	-5.5	-10.2
多様な立場の方を理解するための講座や研修	24.2	9.9	0.4	8.1	1.9	1.0	-1.4	12.8	-4.4	1.5	7.0	-1.7	-3.3
特にない	6.2	6.3	11.3	4.5	6.8	-0.3	-2.7	-3.5	2.6	2.4	-3.3	1.1	-3.4
その他	0.2	-0.2	1.6	-0.2	-0.2	0.7	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	0.2

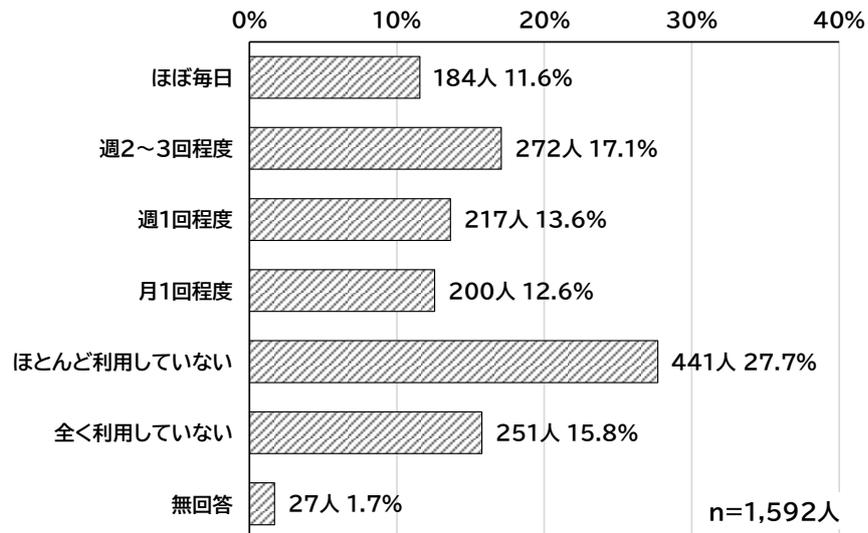
6. バスについて

(1) バス利用の頻度

問 22 日ごろ、あなたはバスをどれくらい使っていますか。(〇は1つ)

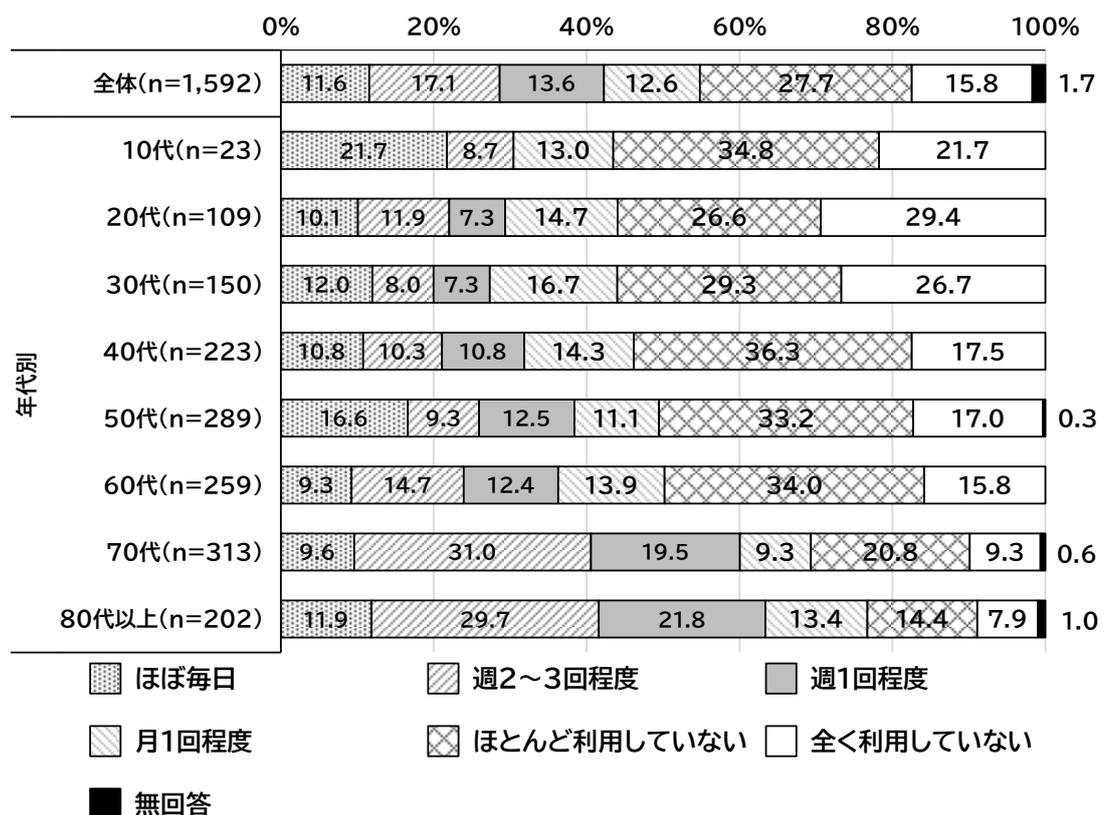
「ほとんど利用していない」が27.7%で最も多い

- ・ 月1回程度以上利用している中では、「週2～3回程度」(17.1%)、「週1回程度」(13.6%)、「月1回程度」(12.6%)、「ほぼ毎日」(11.6%)の順となっている。
- ・ 一方、「ほとんど利用していない」が27.7%で、「全く利用していない」は15.8%となっている。



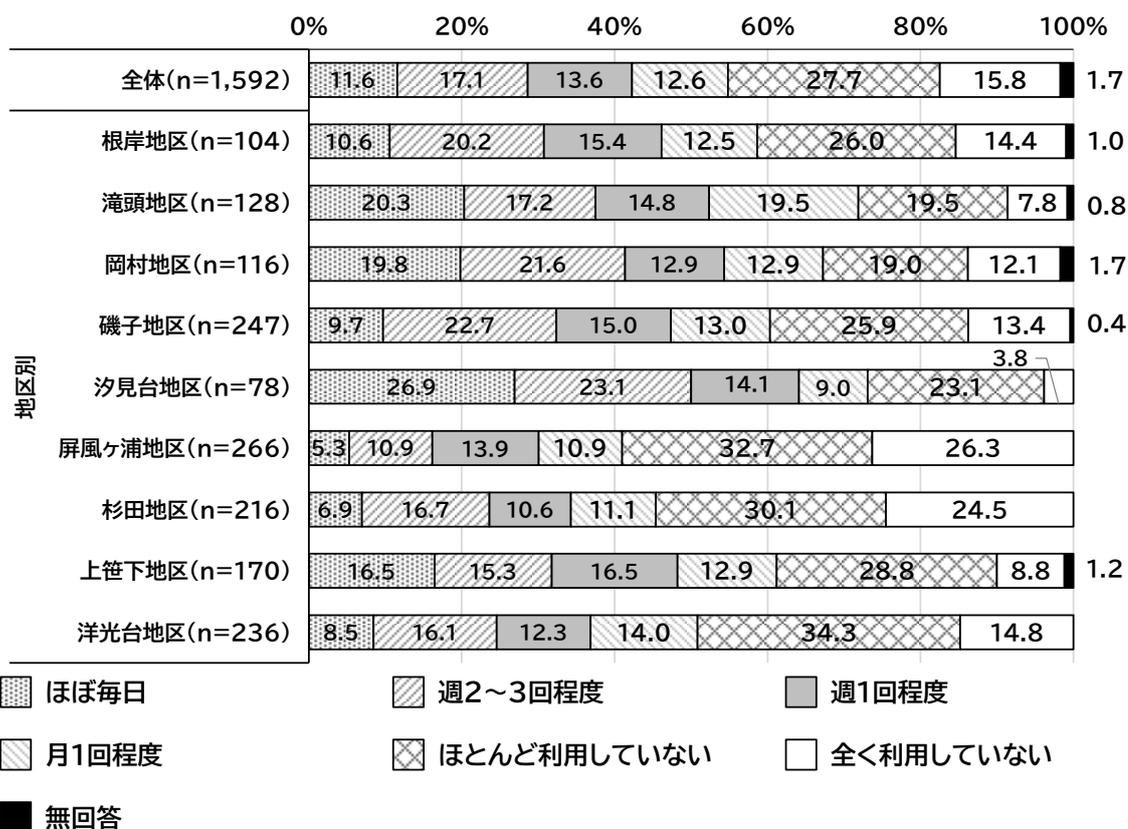
■ 年代別 バス利用の頻度

- ・ 年代別では、「70代」、「80代以上」の高齢者のバスの利用が多く、利用頻度は週2～3回が多い。



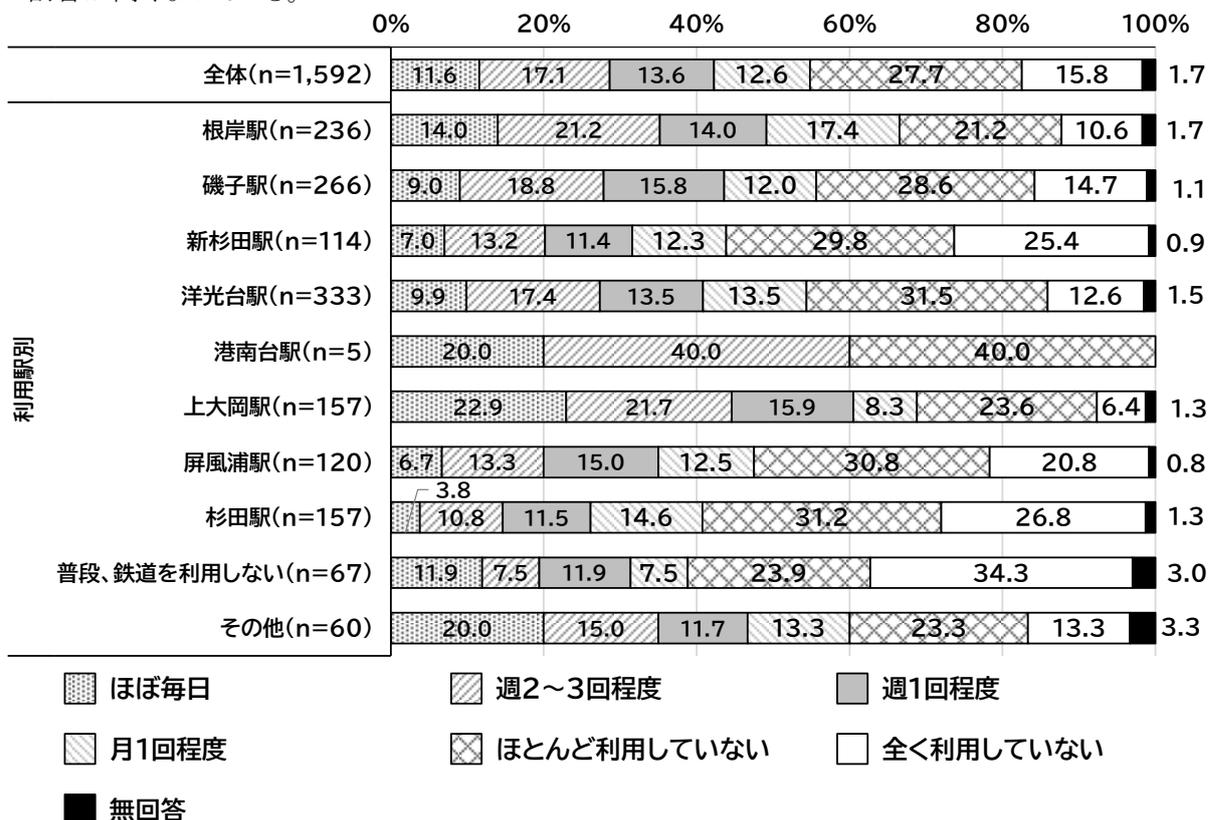
■ 地区別 バス利用の頻度

- 地区別では、「汐見台地区」、「滝頭地区」、「岡村地区」のバスの利用割合が他の地区に比べて多い。



■ 利用駅別 バス利用の頻度

- 利用駅別では、「上大岡駅」、「根岸駅」、「港南台駅」利用者のバスの利用が他の駅の利用者に比べて割合が高くなっている。

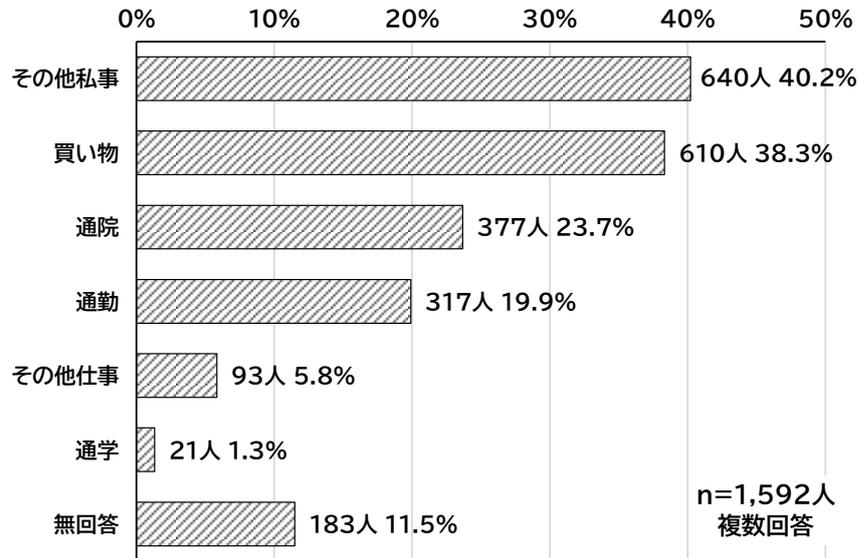


(2) バス利用の目的

問 23 あなたがバスを使う目的は何ですか。(複数回答)

「その他私事」が 40.2%で最も多い

- ・ 「その他私事」が 40.2%で最も多く、次いで「買い物」(38.3%)、「通院」(23.7%)、「通勤」(19.9%)、「その他仕事」(5.8%)、「通学」(1.3%)の順となっている。



■ 性年代別 バスを使う目的

- ・ 性年代別では、男性、女性ともに 70 代以上で「買い物」、「通院」のバス利用の割合が全体より高い。
- ・ 男性、女性ともに 50 代以下で「通勤」での利用の割合が全体より高い。

※全体は回答の%、性年代別は全体との差を表す(■:全体より高い/■:全体より低い)

	全体 (%)	男性						女性					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
n=	1592	56	57	93	115	119	228	73	91	128	173	138	282
その他私事	40.2	-0.9	-3.4	7.1	2.4	6.9	2.3	-3.2	3.8	9.0	-2.6	1.1	-6.9
買い物	38.3	-15.1	3.8	-20.0	-13.1	-14.8	9.9	-15.0	-3.6	-11.0	-0.7	1.5	25.9
通院	23.7	-21.9	-18.4	-15.1	-15.9	-11.1	19.3	-15.5	-17.1	-12.7	-6.3	0.2	29.5
通勤	19.9	1.5	11.7	17.7	14.9	1.1	-16.0	10.2	6.5	3.2	13.0	1.8	-17.4
その他仕事	5.8	1.3	4.7	2.8	1.1	-1.6	-1.5	-4.5	4.0	-0.4	1.1	0.0	-1.2
通学	1.3	11.2	-1.3	-1.3	-1.3	-1.3	-1.3	15.1	-1.3	0.2	-1.3	-1.3	-1.3

■ 地区別 バスを使う目的

- ・ 地区別では、「通勤」は、「汐見台地区」、「岡村地区」で全体より高い。
- ・ 「買い物」は、「上笹下地区」で全体より高い。
- ・ 「通院」は、「滝頭地区」で全体より高い。

※全体は回答の%、地区別は全体との差を表す(■:全体より高い/□:全体より低い)

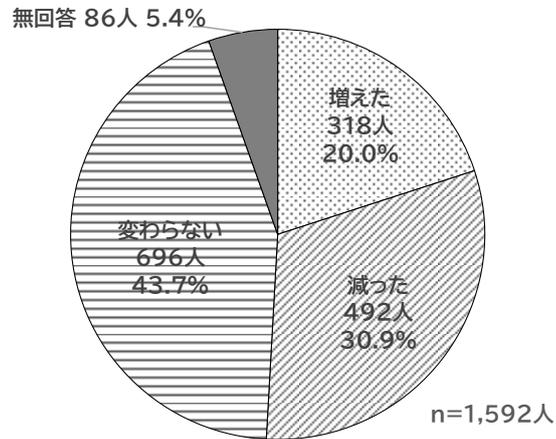
	全体 (%)	地区								
		根岸	滝頭	岡村	磯子	汐見台	屏風ヶ浦	杉田	上笹下	洋光台
n=	1,592	104	128	116	247	78	266	216	170	236
その他私事	40.2	-1.7	0.4	-8.3	2.7	-5.6	5.7	1.9	-3.1	0.9
買い物	38.3	-1.8	-2.4	3.9	6.6	7.8	-9.4	-5.4	11.7	1.1
通院	23.7	1.3	12.3	4.8	5.9	-3.2	-6.4	-3.3	4.6	-5.5
通勤	19.9	1.2	8.2	12.0	-0.5	26.2	-9.4	-1.9	1.3	-5.1
その他仕事	5.8	3.8	-1.2	-3.3	-2.6	-0.7	-0.2	0.6	0.6	3.1
通学	1.3	-0.4	0.2	0.4	-0.5	2.5	-0.9	-0.9	-0.1	1.6

(3) バスの利用頻度の変化

問 24 以前(4~5年前)に比べてバスの利用は増えていますか。それとも減っていますか。(○は1つ)

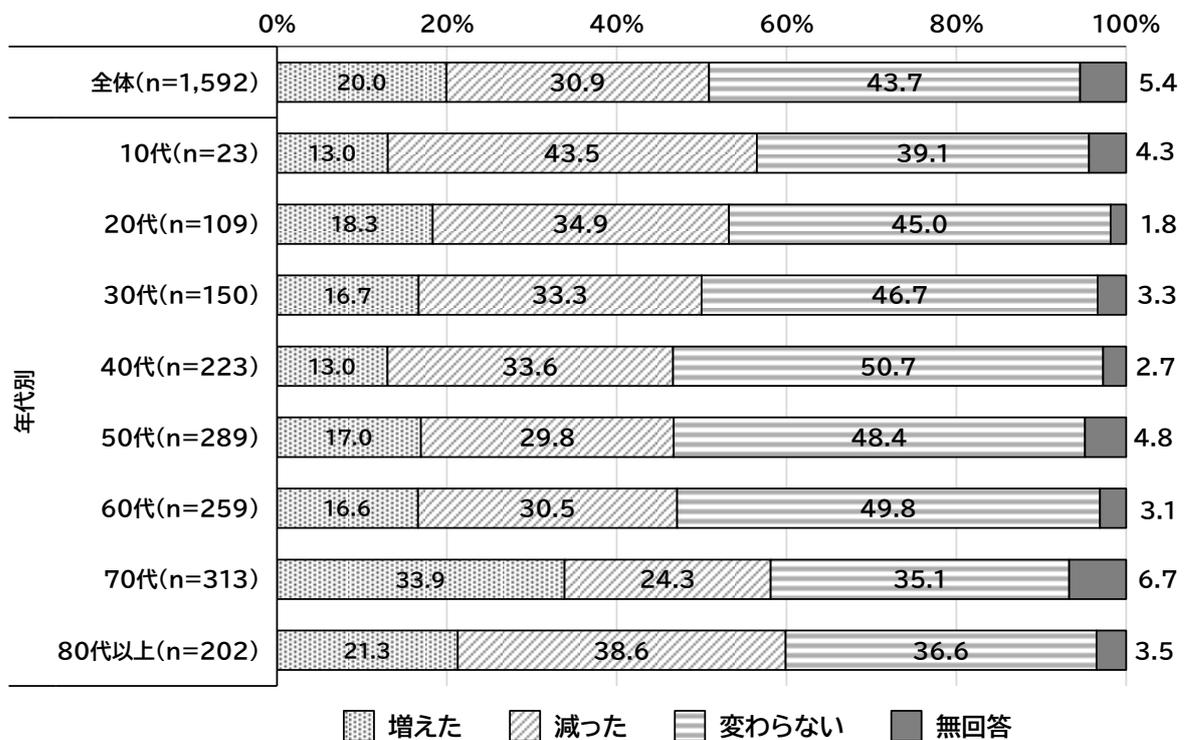
「変わらない」が43.7%で最も多い

- ・ 「変わらない」が43.7%で最も多く、次いで「減った」(30.9%)、「増えた」(20.0%)の順となっている。



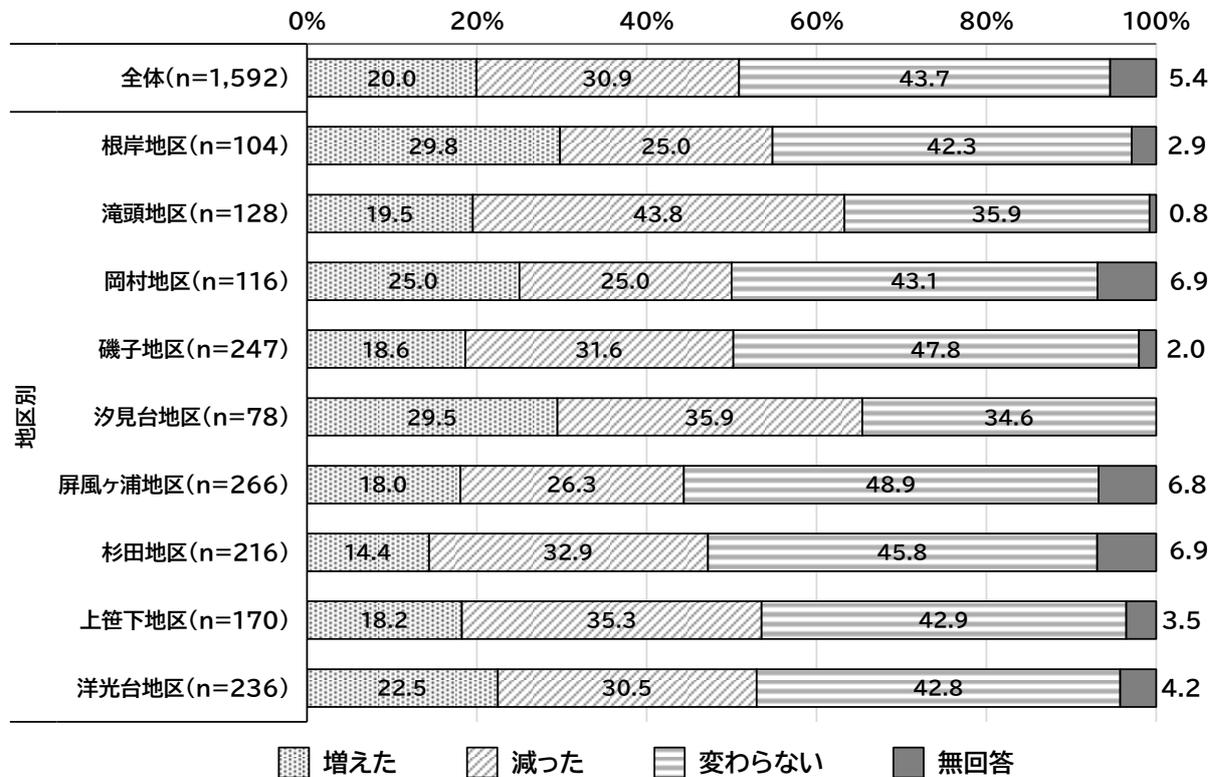
■ 年代別 バスの利用頻度の変化

- ・ 年代別では、バスの利用が「増えた」とする割合が最も高いのが「70代」で33.9%。
- ・ バスの利用が「減った」とする割合が最も高いのが「10代」で43.5%。
- ・ バスの利用が「変わらない」とする割合が最も高いのが「40代」で50.7%。



■ 地区別 バスの利用頻度の変化

- ・ 地区別ではバスの利用が「増えた」とする割合が最も高いのが、「根岸地区」で 29.8%、次いで「汐見台地区」で 29.5%。
- ・ バスの利用が「減った」とする割合が最も高いのが、「滝頭地区」で 43.8%。
- ・ バスの利用が「変わらない」とする割合が最も高いのが、「屏風ヶ浦地区」で 48.9%。



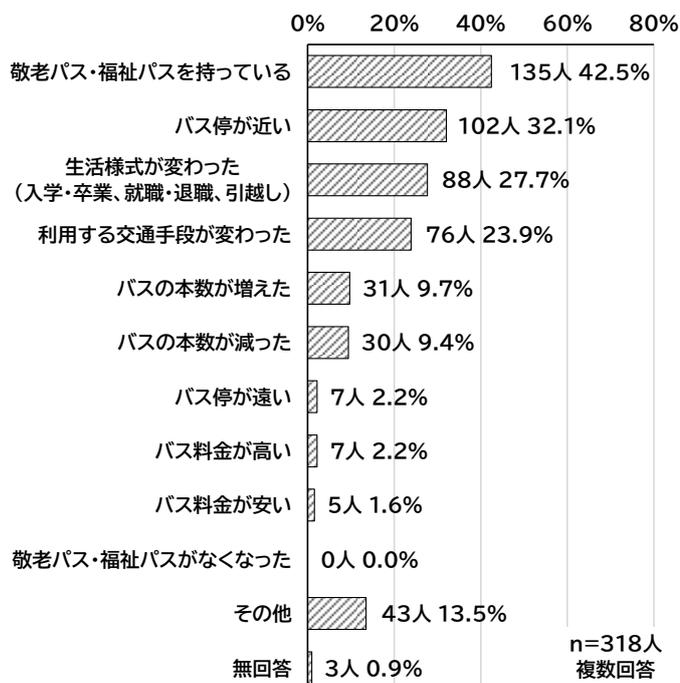
問 25 問 24 でバスの利用が増えた、または減った理由を教えてください。(複数回答)

以前(4~5年前)に比べて

バスの利用が増えた理由

増えた理由で最も多いのは「敬老パス・福祉パスを持っている」(42.5%)

増えた理由

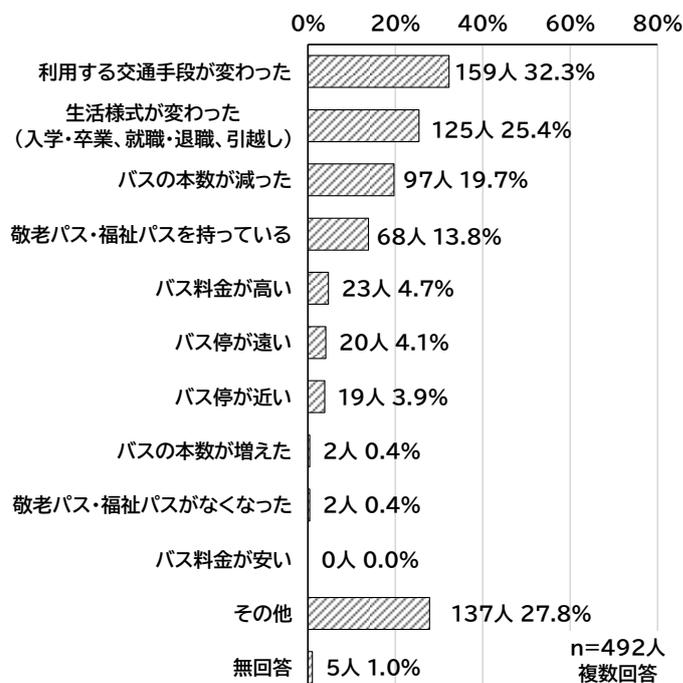


以前(4~5年前)に比べて

バスの利用が減った理由

減った理由で最も多いのは「利用する交通手段が変わった」(32.3%)

減った理由



(バスの利用が増えた理由)

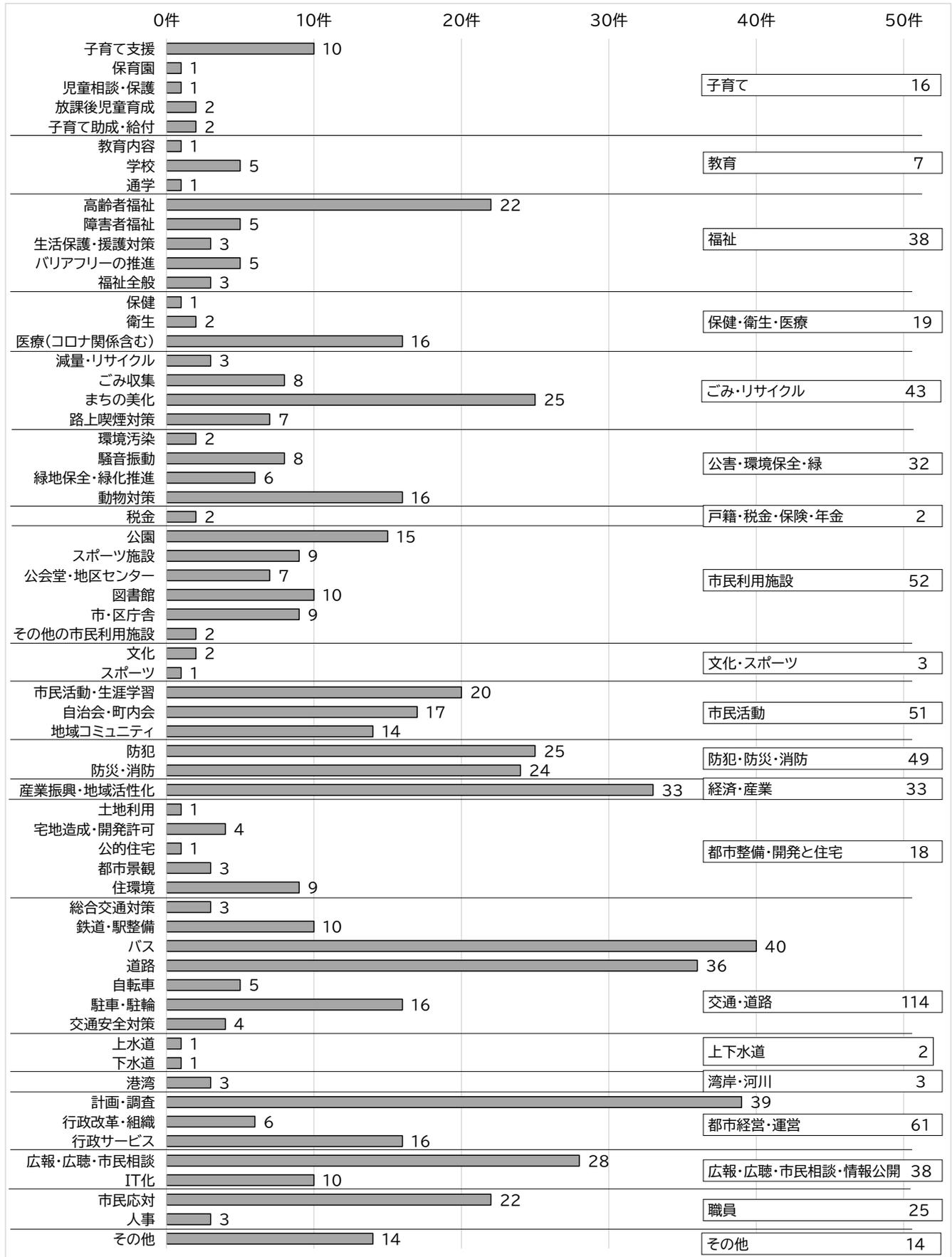
- ・ 「敬老パス・福祉パスを持っている」が 42.5%で最も多く、次いで「バス停が近い」(32.1%)、「生活様式が変わった(入学・卒業、就職・退職、引越し)」(27.7%)の順となっている。

(バスの利用が減った理由)

- ・ 「利用する交通手段が変わった」が 32.3%で最も多く、次いで「生活様式が変わった(入学・卒業、就職・退職、引越し)」(25.4%)、「バスの本数が減った」(19.7%)の順となっている。

7. 区政運営や住まいの地域を良くするための意見・提案(自由記述)

「交通・道路」に関するご意見・ご提案が多い



(自由回答) 回答者数:415名、意見総数:620件

問6 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(○は1つ)

1 加入している

2 加入していない

3 分からない

問6で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問6-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 自治会・町内会の存在を知らないから | 5 近所づきあいがわずらわしいから |
| 2 加入のメリットが分からないから | 6 役員への就任などが重荷だから |
| 3 加入するきっかけや誘いがないから | 7 特にない |
| 4 管理組合があるから | 8 その他 () |

問6で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。

問6-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1 近隣の人と親しくなれた、顔見知りになれたこと | 5 楽しいイベント等に参加できること |
| 2 地域の情報が得られること | 6 特にない |
| 3 災害が起きた時に安心、頼りになること | 7 その他 |
| 4 困ったときに助け合うことができること | () |

問7 横浜市では行政サービスの提供にあたって、利便性の向上のためにスマートフォン・タブレットやパソコンの活用を進めています。あなたは、スマートフォン・タブレットやパソコンをお持ちですか。(○は1つ)

1 はい

2 いいえ

問7-1 問7で「2 いいえ」と答えた方にお伺いします。

問7-1-1 持っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|--------------------|-----------|
| 1 必要性がない | 4 費用がかかる | 7 その他 () |
| 2 操作が難しそう | 5 犯罪などに巻き込まれる不安がある | |
| 3 文字が見えづらい | 6 操作を教えてくれる人がいない | |

問7-1-2 どうすれば持ちたい・使いたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 1 色々なサービスや手続きが新たにできるようになる | 5 費用負担の軽減 |
| 2 身近な場所でスマートフォン(パソコン)講座が受けられる | 6 端末自体が使いやすくなる |
| 3 マニュアルが分かりやすい | 7 その他 () |
| 4 個別のレクチャーが受けられる | |

問7-1-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、手続きを行いたいと思いますか。(○は1つ)

1 はい

2 いいえ

--> 問7-2 問7で「1 はい」と答えた方にお伺いします。

問7-2-1 日ごろスマートフォン・タブレットやパソコンで行っていることは何ですか。
(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|---------------------|-----------|
| 1 通話 | 3 LINE等によるメッセージの送受信 | 5 動画の閲覧 |
| 2 電子メール | 4 インターネット検索・閲覧 | 6 その他 () |

問7-2-2 問7-2-1で利用していないサービスや用途があるのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|----------------|-----------|
| 1 操作が難しい | 4 用語や名称がわかりにくい | 7 その他 () |
| 2 機能を知らない | 5 利用料・費用がかかる | |
| 3 利用する必要がない | 6 他の代替手段で対応できる | |

問7-2-3 今後スマートフォン、パソコンなどの情報処理端末を活用して、行政サービスを調べたり、手続きを行いたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問7-2-4 スマートフォン・タブレット、パソコンなどの使い方はどのように学びましたか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 家族や身近な人に教えてもらった | 3 自分で公式HPやWeb検索をしながら学んだ |
| 2 スマートフォン(パソコン)講座 | 4 その他 () |

地域への愛着や、地域での活動についてお伺いします。

問8 あなたは、「横浜」や「磯子区」、「お住まいの地域」に対して、愛着や誇りを感じていますか。

(○はそれぞれ1つ)

問8-1 横浜に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 4 まったく感じていない |

問8-2 磯子区に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 4 まったく感じていない |

問8-3 お住まいの地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 4 まったく感じていない |

問9 磯子区の魅力は何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 自然が豊かであること | 12 景色・眺望が良いこと |
| 2 商店街・商業施設 | 13 生活に便利であること |
| 3 教養・文化施設 | 14 治安が良いこと |
| 4 地域活動が活発であること | 15 公共施設(図書館、地区センター等) |
| 5 子育てや教育に適した環境 | 16 歴史があること |
| 6 有名人の出身地であること | 17 活気があること |
| 7 スポーツ施設 | 18 庶民的であること |
| 8 都会的であること | 19 将来性があること |
| 9 物価が安いこと | 20 特にない |
| 10 温かみがあること | 21 その他() |
| 11 住環境が落ち着いていること | |

問10 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| 1 住み続ける | 3 たぶん転居する | 5 分からない |
| 2 たぶん住み続ける | 4 転居する | |

問 11 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動
- 2 身近な道路や公園などの清掃活動
- 3 文化・芸術活動への参加や振興
- 4 祭りや盆踊り、運動会などのイベント
- 5 資源回収やごみの分別、リサイクル活動
- 6 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）などの自然環境の保全
- 7 在日外国人や海外との交流・支援などの活動
- 8 自治会・町内会の活動
- 9 子ども会、婦人会、老人クラブの活動
- 10 P T A活動や学校行事の手伝い・ボランティアなど
- 11 保育ボランティアなどの子育て支援
- 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動
- 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり
- 14 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興
- 15 その他の社会奉仕などボランティア活動（具体的に)
- 16 参加している活動はない

問 11-1 問 11 で「16 参加している活動はない」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-1-1 あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 忙しくて時間がない | 6 近所づきあいが面倒 |
| 2 体力的に自信がない | 7 地域でどんな活動をしているか分からない |
| 3 一人で参加する勇気がない | 8 他の世代と交流することに不安がある |
| 4 自分がやりたい活動がない | 9 その他 () |
| 5 関心がない | |

問 11-2 問 11 で「1」～「15」に○印を付けた方にお伺いします。

問 11-2-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 活動に参加したいという意欲があったから | 5 趣味や特技を生かしたかったから |
| 2 友人や近所の人に勧められたから | 6 持ち回り当番などやむを得なかったから |
| 3 時間に余裕があったから | 7 その他 () |
| 4 家族が参加していたから | |

問 11-2-2 活動に参加する楽しみは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 社会貢献ができる | 7 人から感謝される |
| 2 充実感が得られる | 8 仲間や友人が作れる |
| 3 友人や近所の人と交流ができる | 9 知識や教養が身につけられる |
| 4 家族とのふれあいの時間が持てる | 10 気分転換になり、リフレッシュできる |
| 5 趣味や特技を生かせる | 11 参加する楽しみはない |
| 6 活躍の場が得られる | 12 その他 () |

生活環境全般に対する満足度・重要度についてお伺いします。

問 14 現在のお住まいの周辺の環境にどの程度満足していますか。また、以前(4～5年前)と比べてどのように変わったと思いますか。(「満足度」「以前と比べて」のそれぞれの項目ごとに○はひとつ)

記入例	満足度					以前と比べて			
	満足度					以前と比べて			
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない
① バスの便などの地域交通	1	2	3	4	5	1	2	3	4
② 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
③ 放置自転車の防止、駐輪場整備、交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
④ 区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑤ 商店街の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑥ 公園の管理、整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑦ 緑の保全と緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑨ 地球温暖化への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑩ 災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑪ 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑫ 食品衛生・環境衛生の監視・指導	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑬ 子育て支援や青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑭ 感染症・生活習慣病など保健推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑮ 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑯ 障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑰ 経済的に困っている人の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑱ 地域活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑲ 地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
⑳ 広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
㉑ 身近な住民窓口サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4
㉒ 誰もが歩きやすい段差解消などのバリアフリー	1	2	3	4	5	1	2	3	4
○ お住まいの周辺の総合的な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4

問 14-1 上記①～㉒の質問項目のうち、お住まいの周辺の環境にとって、どれが特に重要だと思いますか。
(該当する項目の番号を5つまで記入)

--	--	--	--	--

問 14-2 上記①～㉒の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。
(該当する項目の番号を5つまで記入)

--	--	--	--	--

災害対策についてお伺いします。

問 15 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 家屋の倒壊損傷 | 11 避難所での生活 |
| 2 家具の転倒 | 12 けが・病気の治療 |
| 3 火災の発生 | 13 要援護者（高齢者や障害のある方）の避難 |
| 4 津波の被害 | 14 隣近所に頼る人がいない |
| 5 土地の液状化 | 15 交通機関の運休、帰宅困難になること |
| 6 がけ崩れや地割れ | 16 デマなどによる治安の乱れ |
| 7 災害情報の入手 | 17 ペットの避難 |
| 8 家族・知人の安否 | 18 特に心配なことはない |
| 9 水道・電気・ガスなどのライフラインの停止 | 19 その他（) |
| 10 食料品・飲料水の確保 | |

問 16 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 建物の耐震診断や耐震補強 | 8 3日分以上の食料品・飲料水の備蓄 |
| 2 家具類の固定や転倒防止などの対策 | 9 地域の防災訓練への参加 |
| 3 感震ブレーカーや消火器設置などの火災対策 | 10 隣近所との話し合い |
| 4 家族との連絡方法の確認 | 11 職場や学校からの帰宅ルートの確認 |
| 5 避難所（地域防災拠点等）の確認 | 12 ペット用備蓄、迷子札・マイクロチップ装着 |
| 6 携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意 | 13 特に何もしていない |
| 7 トイレ用凝固剤や簡易トイレの用意 | 14 その他（) |

問 17 実際に震災が起こった際に、あなたは、こうした要援護者の避難支援に関してどのような協力ができそうだと思いますか。(○はいくつでも)

≪区役所では、震災等の災害発生を想定して、自治会町内会において要援護者（高齢者・障害者など、避難に支援を必要とする方）の情報を把握することや、具体的な支援体制が整備されることを目指して取組を進めています。≫

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1 「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認 | 7 避難所での活動
(物資搬入、炊き出し、情報伝達など) |
| 2 家族や親族・知人への連絡 | 8 災害状況や避難情報などの伝達 |
| 3 自宅での一時的な保護・預かり | 9 相談相手や話し相手になる |
| 4 避難所（地域防災拠点等）への付き添い | 10 協力できることはない |
| 5 介助や応急手当 | 11 その他（) |
| 6 医療機関までの付き添い | |

問 18 あなたは、豪雨や台風が発生している場合の避難に関する情報（「高齢者等避難」「避難指示」など）について、どのような手段で入手できるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 区役所の広報車や消防車両による放送 | 7 ホームページ |
| 2 自治会・町内会からの連絡 | 8 横浜市防災情報 E メール |
| 3 友人、知人、近所の人からの連絡 | 9 エリアメール・緊急速報メール |
| 4 防災アプリ (Yahoo!防災速報など) | 10 SNS (Twitter、LINE など) |
| 5 テレビ(データ放送を含む) | 11 その他 (具体的に：) |
| 6 ラジオ | |

地域福祉保健についてお伺いします。

問 19 あなたのお住まいの地域で行われている福祉保健に関する取組について知っているものを教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 高齢者等の食事会・配食サービス
- 2 地域の方が気軽に集まれる場（ふれあいサロンなど）
- 3 見守り・訪問活動
- 4 ごみ出し・買い物・電球交換などのちょっとしたお手伝いのボランティア
- 5 高齢者や障害児者の外出・移動に関する支援
- 6 健康づくりに関する活動（体操やウォーキングなど）
- 7 災害時要援護者の支援に関する取組（要援護者の把握や訪問など）
- 8 子どもの健やかな成長に関する取組（子育てサロンや子ども食堂など）
- 9 障害の有無や世代に関わらず地域住民が交流できる取組（お祭りなど）
- 10 特にない

問 19-1 上記 1～10 の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選び、下の四角の中に数字をご記入ください。

--	--	--

問 20 子どもたちが地域で安心して過ごし、健やかに成長するために、様々な取り組みが行われていますが、あなたのお住まいの地域で行われている取組を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 日頃からの地域でのあいさつや声かけ | 6 地域と小中学校が連携した活動 |
| 2 安全パトロールや見守り | 7 身近で子どもが相談できる体制
(子ども 110 番など) |
| 3 身近な地域で子どもたちが集える場
(子育てサロンや子ども食堂) | 8 特にない・知らない |
| 4 ボランティアや地域活動への参加 | 9 その他 () |
| 5 地域活動への保護者の参加 | |

問 20-1 上記 1～9 の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選び、下の四角の中に数字をご記入ください。

--	--	--

問 21 年齢、性別、国籍、病気や障害の有無などに関わらず、誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らすための取組が地域で行われています。あなたのお住まいの地域で行われている取組で、知っているものを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1 多様な立場の方を理解するための講座や研修 | |
| 2 災害時に障害児者や高齢者、外国につながる方などを支援するための取組 | |
| 3 障害児者、外国につながる方など、誰もが地域の行事に参加できる環境づくり | |
| 4 多言語対応やバリアフリーに配慮した情報を届ける環境づくり | |
| 5 地域の社会資源や活動の情報提供 | |
| 6 特にない 7 その他 () | |

問 21-1 上記 1～7 の項目のうち、あなたのお住まいの地域で充実していくと良いと思う取組を最大3つまで選び、下の四角の中に数字をご記入ください。

--	--	--

バスについてお伺いします。

問 22 日ごろ、あなたはバスをどれくらい使っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|---------|---------------|
| 1 ほぼ毎日 | 3 週1回程度 | 5 ほとんど利用していない |
| 2 週2～3回程度 | 4 月1回程度 | 6 全く利用していない |

問 23 あなたがバスを使う目的は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 通勤 | 3 買い物 | 5 その他仕事 |
| 2 通学 | 4 通院 | 6 その他私事 |

問 24 以前(4～5年前)に比べてバスの利用は増えていますか。それとも減っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1 増えた | 2 減った | 3 変わらない |
|-------|-------|---------|

問 25 問 24 でバスの利用が増えた、または減った理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1 バスの本数が増えた | 7 敬老パス・福祉パスを持っている |
| 2 バスの本数が減った | 8 敬老パス・福祉パスがなくなった |
| 3 バス停が近い | 9 生活様式が変わった(入学・卒業、就職・退職、引越し) |
| 4 バス停が遠い | 10 利用する交通手段が変わった |
| 5 バス料金が安い | 11 その他() |
| 6 バス料が高い | |

あなたご自身やご家族のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)(※選択することに違和感のある場合は回答不要です)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1 10代 | 4 40代 | 7 70代 |
| 2 20代 | 5 50代 | 8 80代以上 |
| 3 30代 | 6 60代 | |

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------|------|
| 1 既婚(配偶者あり) | 2 既婚(離死別) | 3 未婚 |
|-------------|-----------|------|

→ F 3 で「1 既婚(配偶者あり)」と答えた方にお伺いします。

F 3-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 フルタイム共働き |
| 2 パートタイム共働き(夫婦の各一人、または両方がパートタイム) |
| 3 していない |

F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 小学校入学前 | 7 学校教育終了—未婚—同居 |
| 2 小学校在学中 | 8 学校教育終了—未婚—別居 |
| 3 中学校在学中 | 9 学校教育終了—既婚—同居 |
| 4 高校在学中 | 10 学校教育終了—既婚—別居 |
| 5 各種学校、専修・専門学校在学中 | 11 子どもはいない |
| 6 短大・大学・大学院在学中 | 12 その他 () |

F 5 あなたのご家族（同居されている方）の構成をお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------------|-------|
| 1 ひとり暮らし | 3 親と子（2世代） | 5 その他 |
| 2 夫婦のみ | 4 祖父母と親と子（3世代） | () |

F 6 あなたのご職業をお選びください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 自営業・自由業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者） |
| 2 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など） |
| 3 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など） |
| 4 事務職（事務職、営業職、教員など） |
| 5 現業職（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者） |
| 6 学生 |
| 7 専業主婦・主夫 |
| 8 無職 |

F 6で「1」～「6」に○印を付けた方にお伺いします。

F 6-1 あなたの勤務地や通学している場所はどこですか。複数ある場合は、主な場所をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 磯子区 | 4 東京都内 |
| 2 横浜市内の他の区 | 5 その他 () |
| 3 神奈川県内の他市町村 | |

F 7 あなたの住んでいる町名をお選びください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|-------------|
| 1 磯子一～八丁目 | 10 汐見台一～三丁目 | 19 田中一・二丁目 | 28 広地町 |
| 2 磯子台 | 11 下町 | 20 中浜町 | 29 丸山一・二丁目 |
| 3 鳳町 | 12 新磯子町 | 21 中原一～四丁目 | 30 峰町 |
| 4 岡村一丁目 | 13 新杉田町 | 22 西町 | 31 森一～六丁目 |
| 5 岡村二～八丁目 | 14 新中原町 | 23 馬場町 | 32 森が丘一・二丁目 |
| 6 上町 | 15 新森町 | 24 原町 | 33 洋光台一～六丁目 |
| 7 上中里町 | 16 杉田一～九丁目 | 25 東町 | |
| 8 栗木一～三丁目 | 17 杉田坪呑 | 26 久木町 | |
| 9 坂下町 | 18 滝頭一～三丁目 | 27 氷取沢町 | |

令和4年1月発行

横浜市磯子区役所 総務部 区政推進課
〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-5-1
TEL 045(750)2331
FAX 045(750)2533
mail is-kusei@city.yokohama.jp